

河合町一般廃棄物(ごみ)処理基本計画

令和 8 年 3 月

河 合 町

目 次

第1章 基本的事項	1
1. 計画策定の背景と目的	1
2. 本計画の位置付け	2
3. 対象地域	3
4. 計画期間	3
5. 適用範囲	3
6. 持続可能な開発目標（SDGs）との関係	4
7. 関連計画	5
第2章 地域の概況	12
1. 位置及び地勢	12
2. 気象	14
3. 人口動態	15
4. 産業の動向	17
5. 土地利用	19
第3章 ごみ処理の状況	20
1. ごみ処理の現状	20
2. ごみ排出量・処理量の実績	25
3. 前計画の目標値の達成状況	35
4. ごみ処理システムの評価	44
5. 課題の抽出	48
第4章 ごみ処理基本計画	49
1. 計画人口	49
2. 将来のごみ排出量・処理量（現状のまま推移した場合）	50
3. ごみ処理の基本理念・基本方針	56
4. 数値目標	57
5. 将来のごみ排出量・処理量（数値目標を達成した場合）	59
6. 将来のごみ処理体制	65
7. ごみ処理計画	67
8. 災害廃棄物処理基本方針	79
資料編 ごみ排出量、処理量の予測結果	
1. ごみ排出量、処理量の予測方法	資-1
2. 1人1日平均ごみ排出量の予測結果	資-2
3. ごみ排出量の予測結果（現状のまま推移した場合）	資-21
4. 処理・資源化量、最終処分量の予測結果（現状まま推移した場合）	資-23
5. ごみ排出量の予測結果（数値目標を達成した場合）	資-24
6. 処理・資源化量、最終処分量の予測結果（数値目標を達成した場合） ...	資-26

第Ⅰ章 基本的事項

Ⅰ.計画策定の背景と目的

循環型社会の形成をめぐる社会情勢は大きく変化しており、国においては、循環型社会元年と位置付けられた平成 12 年度に、「循環型社会形成推進基本法」（平成 12 年法律第 110 号）をはじめとする各種リサイクル法が制定され、その後も、循環型社会形成のための法改正が継続的に行われています。

令和元年 10 月には食品ロスに対する国際的な問題意識の高まり等を背景に「食品ロスの削減の推進に関する法律」（令和元年法律第 19 号）が施行され、令和 4 年 4 月にはプラスチック製品の設計からプラスチック廃棄物の処理までに関わるあらゆる主体におけるプラスチック資源循環等の取組（3R+Renewable）を促進するために「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」（令和 3 年法律第 60 号）が施行されました。

こういった社会的背景の変化への対応を盛り込み、今後、ごみの減量と分別・リサイクルをさらに推進するため、現計画の前期目標の達成状況を検証し、河合町（以下「本町」という。）が抱える課題の対応に向け、「河合町一般廃棄物（ごみ）処理基本計画（以下、「本計画」という。）」を改定することとしました。本町では、平成 7 年度から平成 21 年度の 15 年間を計画期間とする一般廃棄物処理基本計画を、平成 6 年度に策定しました。その後、1 期見直しを平成 14 年度に、2 期見直しを平成 24 年度に、3 期見直しを平成 30 年度に行い、本計画は 4 期見直しとなります。

本計画では、山辺・県北西部広域環境衛生組合（以下「広域組合」という。）の一般廃棄物処理基本計画及び国の方針を踏まえて、本町の今後のごみ処理について、長期的・総合的視点から廃棄物政策に係る基本方針を定めます。

なお、廃棄物の処理及び清掃に関する法律（以下、「廃棄物処理法」という。）第 6 条第 1 項において、市町村は当該市町村区域内の一般廃棄物の処理に関する計画を定めなければならない、一般廃棄物処理基本計画では次に掲げる事項を定めることとされています。

1. 一般廃棄物の発生量及び処理量の見込み
2. 一般廃棄物の排出の抑制のための方策に関する事項
3. 分別して収集するものとした一般廃棄物の種類及び分別の区分
4. 一般廃棄物の適正な処理及びこれを実施する者に関する基本事項
5. 一般廃棄物の処理施設の整備に関する事項

2.本計画の位置付け

廃棄物・リサイクル関連の法体系の中での本計画の位置付けを図1-2-1に示します。

「一般廃棄物処理基本計画」は、国の「循環型社会形成推進基本計画」や県の「廃棄物処理計画」等に基づき策定するものであり、本町における廃棄物処理に関する計画において最上位に位置付けられます。

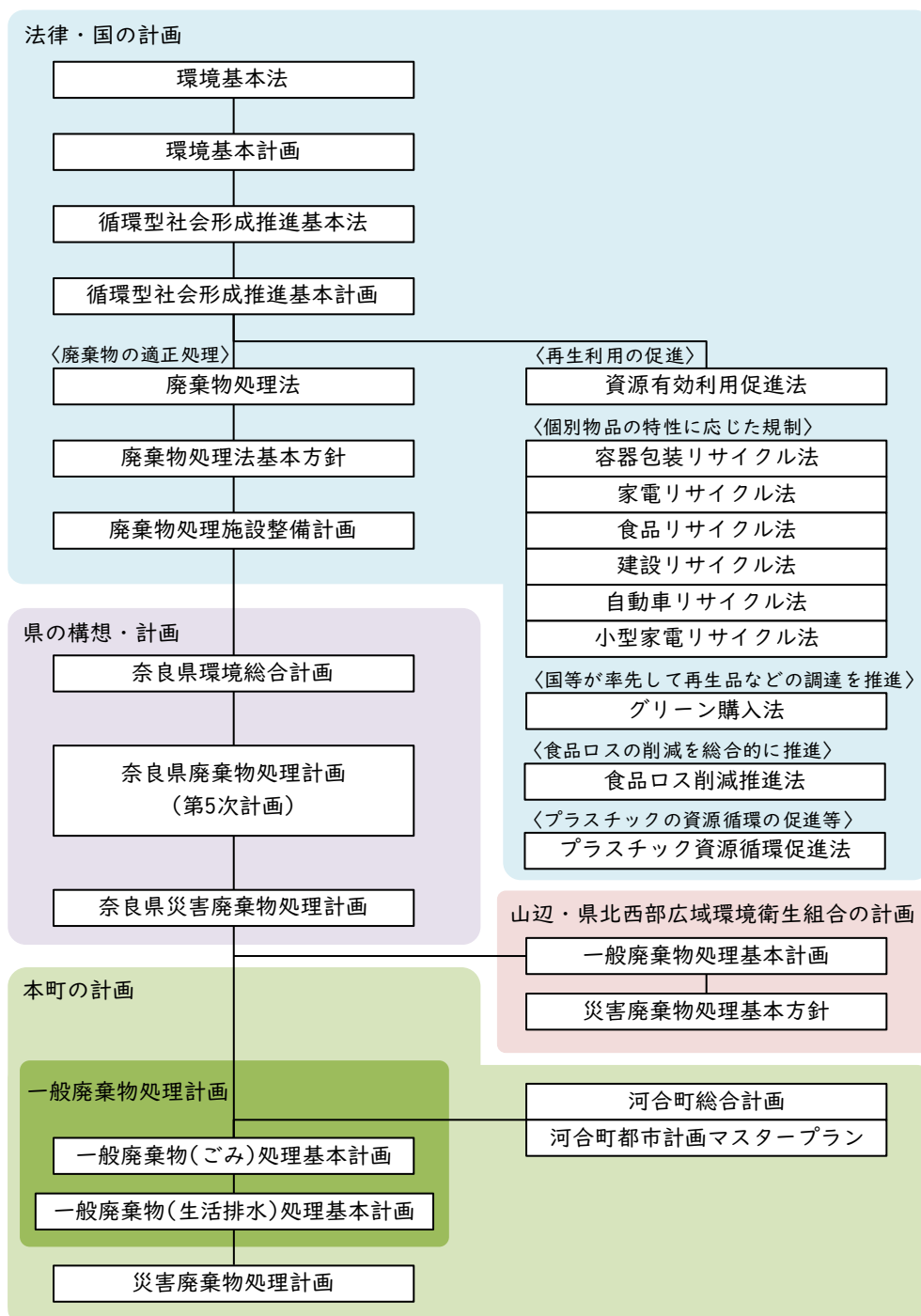


図 1-2-1 本計画の位置付け

3.対象地域

対象地域は河合町全域とします。

4.計画期間

本計画の計画期間を図1-4-1に示します。

「ごみ処理基本計画策定指針」には、計画期間について、目標年次を概ね10年から15年先におくこととあります。また、概ね5年ごとに改定するほか、計画策定の前提となっている諸条件に大きな変動があった場合には見直しを行うことが適切であると示されています。本計画においては、計画の最終年度を現時点の令和7年から15年先の令和22年と設定することとします。ごみの排出量の将来予測等は、令和6年度までの実績データに基づき、令和22年まで行います。

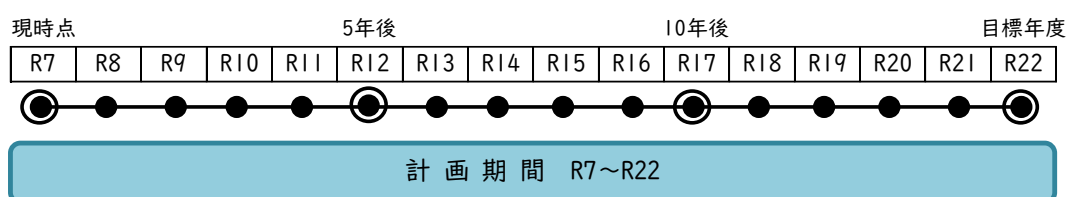


図1-4-1 計画期間

5.適用範囲

本計画の適用範囲を図1-5-1に示します。

本計画の適用範囲は「その他の一般廃棄物」を対象とします。ごみについては、住民の生活活動に伴って発生する「家庭系ごみ」と生産・流通・販売等の事業活動に伴って発生する「事業系ごみ」に分けられます。家庭系ごみについては、一般家庭から収集される「収集ごみ」、直接施設に持ち込まれる「直接搬入ごみ」、住民、団体によって回収される「集団資源回収」を対象とします。事業系ごみについても、各事業所から収集される「収集ごみ」及び直接施設に持ち込まれる「直接搬入ごみ」を対象とします。住民・事業者が自らリサイクルする「自家・自社処理ごみ」は本計画の適用範囲外となります。

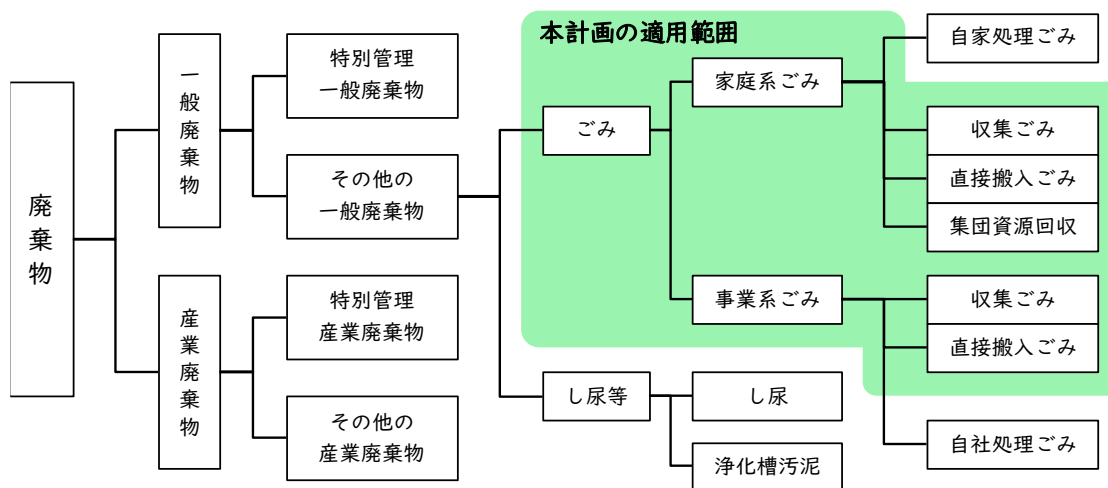


図1-5-1 計画の適用範囲

6.持続可能な開発目標（SDG s）との関係

6－1.「SDG s」の概要

持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals）とは、平成 27 年 9 月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」に記載された、令和 12 年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際指標のことです。

社会、経済、環境の 3 側面からとらえることができる 17 のゴール・169 のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない」社会の実現を目指し、開発途上国のみならず、先進国も含めたすべての国が取り組むべき普遍的な目標です。

6－2.本計画との関係

SDG s の持続可能という考えは、循環型社会形成を目指す施策展開の観点からも重要です。このことから本町は、SDG s の推進を住民や事業者等と連携して取り組むにあたっての共通理念としています。

本町では「河合町総合計画」における「循環型社会の構築」の分野で、以下の 3 つを目指すべき SDG s のゴールとしています。廃棄物分野と関連の深いものとしては「ゴール 15 陸の豊かさを守ろう」があげられ、ごみの減量化や資源ごみの再生の推進等が掲げられています。

主に廃棄物分野と関わりが深い項目として以下の 3 つがあげられますが、それぞれのターゲットを通じて相互に関係しており、全体を俯瞰する視点を持って達成を目指すことが求められています。



7.関連計画

7-1.国の関連計画

廃棄物・リサイクルに関連する国の計画、方針は以下のとおりです。

①第五次循環型社会形成推進基本計画（令和6年8月閣議決定）

「循環型社会形成推進基本計画」は、循環型社会形成推進基本法に基づき、循環型社会の形成に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るために定めるものです。第五次計画では、循環経済への移行を前面に打ち出し、気候変動や生物多様性保全といった環境面に加え、産業競争力強化・経済安全保障・地方創生・質の高い暮らしの実現にも貢献するものとして、将来世代の未来につなげる国家戦略として策定しています。

重点分野として以下の5つの柱が示されています。

1. 循環型社会形成に向けた循環経済への移行による持続可能な地域と社会づくり
2. 資源循環のための事業者間連携によるライフサイクル全体での徹底的な資源循環
3. 多種多様な地域の循環システムの構築と地方創生の実現
4. 資源循環・廃棄物管理基盤の強靱化と着実な適正処理・環境再生の実行
5. 適正な国際資源循環体制の構築と循環産業の海外展開の推進

②廃棄物処理法基本方針（令和5年6月変更）

「廃棄物処理法基本方針」は、廃棄物処理法律第5条に基づき、廃棄物の減量その他その適正な処理に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るために環境大臣により定められるもので、定期的に改訂されており、最近では令和5年6月に変更されました。2050年カーボンニュートラルに向けた脱炭素化の推進、地域循環共生圏の構築推進、ライフサイクル全体での徹底した資源循環の促進等、廃棄物処理を取り巻く情勢が変化していることを踏まえ、以下の項目について変更を行いました。

1. 廃棄物分野における脱炭素化の推進
2. 循環経済への移行に向けた取組の推進
3. 廃棄物処理施設整備の広域化・集約
4. デジタル技術の活用等による動静脈連携

③廃棄物処理施設整備計画（令和5年6月閣議決定）

「廃棄物処理施設整備計画」は、廃棄物処理法第5条の3に基づき、廃棄物処理施設整備事業を計画的に実施するため、廃棄物処理法基本方針に即して定められるものです。基本的理念として、以下の3つを掲げています。

1. 基本原則に基づいた3Rの推進と循環型社会の実現に向けた資源循環の強化
2. 災害時も含めた持続可能な適正処理の確保
3. 脱炭素化の推進と地域循環共生圏の構築に向けた取組

7—2.県の関連計画

奈良県の関連計画は以下のとおりです。

①奈良県環境総合計画（令和3年3月策定）

「奈良県環境総合計画」は、奈良県環境基本条例第10条に基づき策定されたものです。地域が一体となって持続可能な地域づくりをより一層進めるための中長期的な指針を示したもので、「奈良県廃棄物処理計画」の上位計画に位置付けられています。

主な施策を8つ掲げており、そのうちの「循環型社会の構築」のなかで、施策達成のための指標として、1人1日あたりのごみの排出量やリサイクル率等の目標値が設定されています。

計画期間：令和3年度～令和7年度

基本理念：豊かな自然と歴史との共生、美しい景観と持続可能なくらしの創生

施策体系：森林の維持向上、健全な水循環の構築、景観の保全と創造、

（8本柱）脱炭素社会の構築、循環型社会の構築、安全な生活環境の確保、
生物多様性の保全、人づくり・地域づくりの推進

②奈良県廃棄物処理計画（第5次計画）（令和5年3月策定）

「奈良県廃棄物処理計画」は、廃棄物の処理を通して、県民の生活環境の保全、県内産業の健全な発展に資することを目的とし、3Rをはじめ循環型社会形成を推進するため、県民、NPO、事業者、行政等の各主体が中長期的に取り組む基本的な方向を示したものです。

数値目標として、最終処分量、再生利用量、排出量に関する目標値が設定されています。

計画期間：令和5年度～令和9年度

基本目標：未来に生きる「ごみゼロ奈良県」の実現

施策・事業：廃棄物の排出抑制の促進、廃棄物の循環的利用の促進、
廃棄物の適正処理の促進、廃棄物の不法投棄・不適正処理の撲滅、
災害廃棄物処理対策の推進、県・市町村の連携・協働の推進

③奈良県災害廃棄物処理計画（平成 28 年 3 月策定）

「奈良県災害廃棄物処理計画」は、大規模災害時に発生する災害廃棄物をできる限り円滑かつ計画的に処理するための基本的な方針を示したものです。各主体の対応能力の向上、広域的な相互支援体制の整備等を促進するとともに、市町村における災害廃棄物処理計画策定に資することを目的としています。

計画の基本的事項

1. 想定する最大規模の災害

最も被害の大きい災害とされている奈良盆地東縁断層帯地震を想定する。

災害名	地震規模	災害廃棄物発生量	地震発生確率
奈良盆地東縁断層帯地震	最大深度：7 M7.5	最大約 1,700 万ト（県内） ※建物倒壊数：最大	0～5% （30 年以内）
南海トラフ地震	最大震度：7 M9.1	最大約 500 万ト（県内） ※全国で約 2.5 億ト～3.5 億ト	70%程度※ （30 年以内）

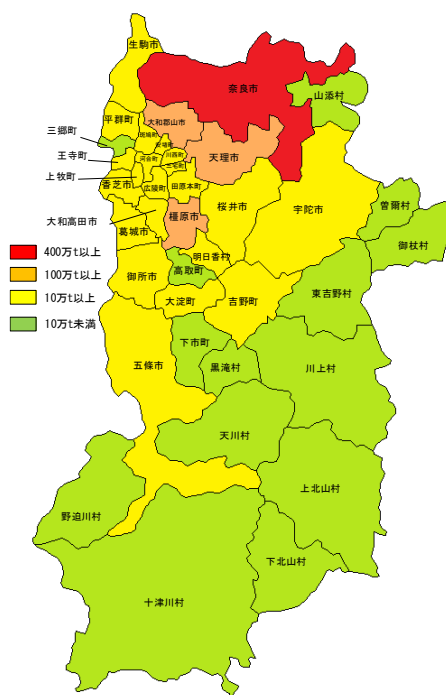
※令和 7 年 1 月に、政府の地震調査委員会は、30 年以内の発生確率をこれまでの「70～80%」から「80%程度」に引き上げたを発表した。

2. 処理期間

最大でも 3 年以内の処理完了を目指す。

3. 処理方針

被災した市町村等では行政機能やごみの処理力が低下すること考えられることから、通常時とは異なる緊急かつ広域の体制を構築し、処理を行う必要がある。



大規模な災害に備えた取組：

1. 「奈良県災害廃棄物対策連絡会」の設置・運営
2. 教育・訓練の実施
3. 災害廃棄物の仮置場の確保対策
4. 広域相互支援協定締結の促進

7-3.山辺・県北西部広域環境衛生組合の関連計画

①山辺・県北西部広域環境衛生組合一般廃棄物(ごみ)処理基本計画(平成28年12月策定)

「山辺・県北西部広域環境衛生組合一般廃棄物(ごみ)処理基本計画」は、国の「第三次循環型社会形成推進基本計画(平成25年5月)」や各種リサイクル法、県の循環型社会構築構想や廃棄物処理計画、災害廃棄物処理計画を参考に、構成市町村の一般廃棄物処理基本計画等の関連する計画に基づき策定するもので、組合におけるごみ処理に関する最上位計画と位置付けられます。

数値目標として、ごみ総排出量原単位、ごみ総排出量、資源化率、最終処分量の目標値が設定されています。

計画期間：平成29年度～令和13年度

基本理念：排出抑制を最優先にした循環型社会の形成

基本方針：1. 排出抑制を最優先にした、ごみの減量・資源化の促進

2. ごみ処理サービスの向上

3. 計画的な施設整備の推進

4. 安心・安全・安定な廃棄物処理の仕組みの構築

7-4.河合町の関連計画

①河合町都市計画マスタープラン(令和8年1月 第3次改定)

「河合町都市計画マスタープラン」は、町のまちづくりのあり方を整理し、今後も持続可能なまちづくりを計画的に進めるため、町の都市計画に関する基本的な方針として改定しました。

まちづくりの将来像は、「河合町総合計画」に掲げる将来像「みんなが輝く活力あふれる河合町～豊かさと幸せを実感できるまちづくり～」とし、以下の基本方針を踏まえ町民・議会・行政が協力、連携してまちづくりを進めていきます。

1. いつまでも健康で生き生きと暮らせて魅力あふれる居住環境づくり

2. 豊かな自然と共生し安全で安心して暮らせる循環型のまちづくり

3. 郷土愛にあふれ心豊かに生涯活躍できるひとづくり

4. 賑わいと歴史文化がとけ合うふるさとの魅力づくり

5. 多様な産業の育成と地域ブランド化の推進による活力づくり

6. 町民協働と健全な行財政運営

②河合町総合計画（令和 7 年 3 月策定）

「河合町総合計画」は、「河合町まちづくり自治基本条例」第 26 条に基づき、今後目指すべき本町の将来像とその実現のための施策を取りまとめたものであり、まちづくりの「羅針盤」として、本町の最上位計画と位置づけ、まちづくりを総合的かつ計画的に展開するものです。

計画期間：令和 7 年度～令和 16 年度

- 基本理念：1. 町民一人ひとりの基本的人権が守られ、多様性を認め合いながら、子どもから高齢者まで、性別、国籍、民族、障がいの有無その他の属性にかかわらず、安全で安心して暮らすことができる持続可能なまちをつくります。
2. 町民及び町が、それぞれの役割を担いながら連携し、協働して、公正で自立した町民主体の町政を行うまちをつくります。
3. 町民及び町は、先人が築き、継承してきた歴史、文化及び自然環境を守り伝え、次世代を担う子どもたちに誇ることができる持続可能なまちをつくります。
4. まちづくりに当たっては、地域の特性と自主性を尊重した民主的に運営される住民自治を基本とします。

将来像：みんなが輝く活力あふれる河合町

～豊かさと幸せを実感できるまちづくり～

- 基本方針：1. いつまでも健康で生き生きと暮らせて魅力あふれる居住環境づくり
2. 豊かな自然と共生し安全で安心して暮らせる循環型のまちづくり
3. 郷土愛にあふれ心豊かに生涯活躍できるひとづくり
4. 賑わいと歴史文化がとけ合うふるさとの魅力づくり
5. 多様な産業の育成と地域ブランド化の推進による活力づくり
6. 町民協働と健全な行財政運営

7-5. 関連計画等における目標値

国の計画・方針における目標値を表 1-7-1 に、県・組合の計画における目標値を表 1-7-2 に示します。

表 1-7-1 国の計画・方針における目標値

名 称	廃棄物処理法に基づく 基本方針 (令和 7 年 2 月)	第五次循環型社会形成 推進基本計画 (令和 6 年 8 月閣議決定)	廃棄物処理設備整備計画 (令和 5 年 6 月閣議決定)
目標年度	令和 12 年度	令和 12 年度	令和 9 年度
家庭系ごみ 原単位	478g/人・日		—
資源化率 (再生利用量)	26%	—	28%
焼却量 原単位	580g/人・日	580g/人・日	
最終処分量	約 5%削減 (令和 4 年度比)	1,100 万 t/年	—
総ごみ排出量	約 9%削減 (令和 4 年度比)		—

表 1-7-2 県・組合の計画における目標値

名 称	奈良県廃棄物処理計画 (令和 5 年 3 月)	山辺・県北西部広域 環境衛生組合 一般廃棄物処理基本計画
目標年度	令和 9 年度	令和 13 年度
家庭系ごみ 原単位	—	—
資源化率 (再生利用量)	19.3% (75 千 t/年)	18.5%
焼却量 原単位	—	—
最終処分量 (最終処分率)	43 千 t/年 (11%)	6,668t/年
総ごみ排出量 (原単位)	391 千 t/年 (821g/人・日)	901g/人・日

7－6.関連法令の整理

以下に、ごみ処理についての関連法令を整理します。

- 1) 奈良県の廃棄物関係条例等
 - ・ 奈良県環境基本条例
 - ・ 奈良県生活環境保全条例
 - ・ 奈良県環境影響評価条例
 - ・ 奈良県公害紛争処理条例
 - ・ 奈良県自然環境保全条例
 - ・ 奈良県廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行細則
- 2) 本町における廃棄物関係条例等
 - ・ 河合町廃棄物の処理及び清掃に関する条例

第2章 地域の概況

1. 位置及び地勢

1-1. 位置

本町の位置を図2-1-1に示します。

本町は、奈良県の北西部、大和盆地中西部に位置しており、王寺町、広陵町、上牧町とともに北葛城郡を構成しています。

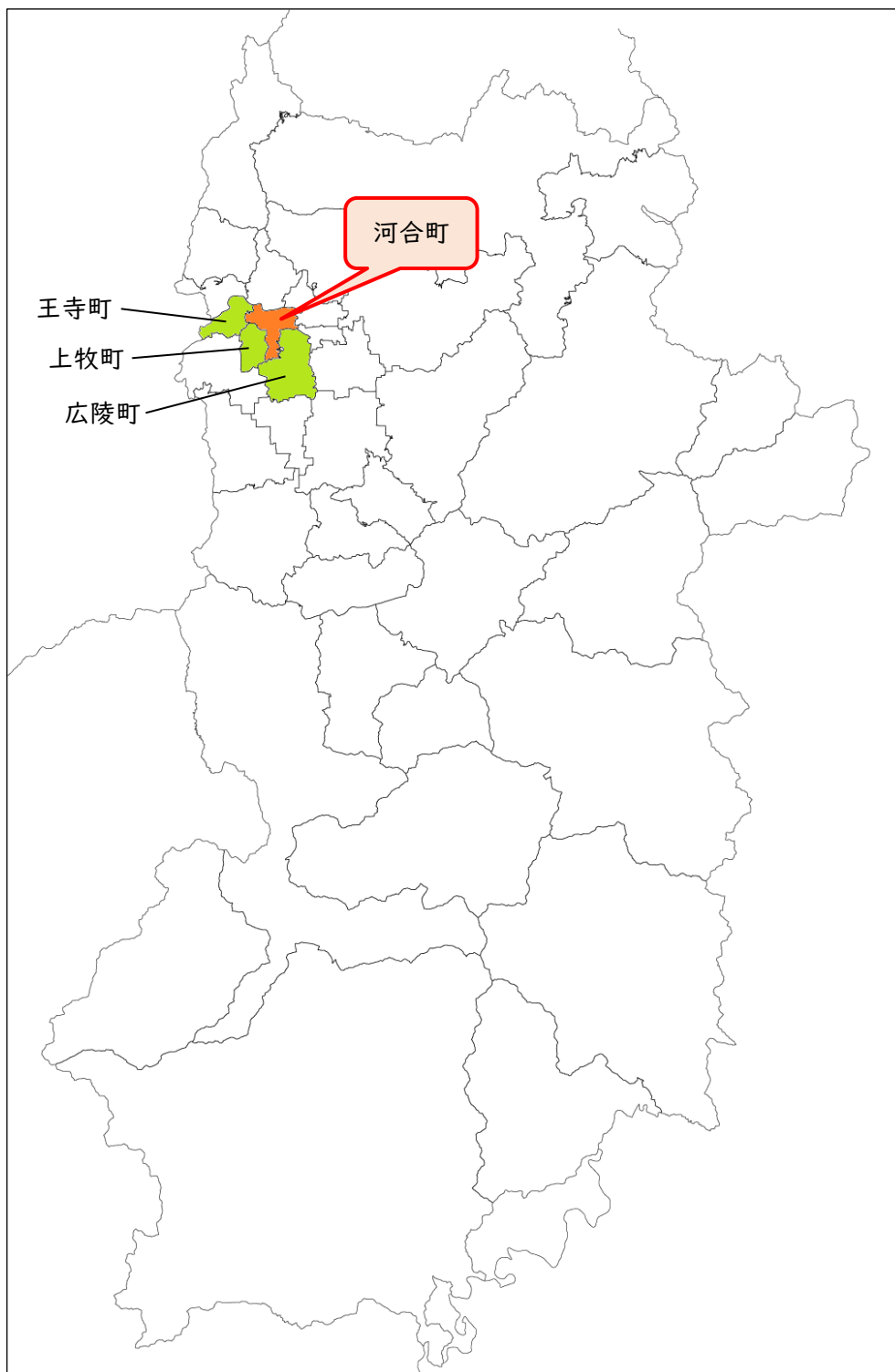


図2-1-1 本町の位置

1-2.地勢

本町の周辺図を図 2-1-2 に示します。

本町は、東経 135 度 44 分、北緯 34 度 34 分に位置し、面積は 8.23km² を有しています。馬見丘陵を主体とした穏やかな丘陵部と河川沿いに開けた平坦地により構成されており、丘陵部には溜池も多く見られます。

県政の中心である奈良市より約 15km、大阪の都心部より約 25km の位置にあり、また、JR 関西本線、近鉄田原本線が敷設され、近鉄大輪田駅、佐味田川駅、池部駅の 3 駅があり、天王寺（大阪）、奈良まで約 30～40 分と都心へのアクセスが容易です。

道路交通面では、町域内を県道大和高田・斑鳩線、河合・大和高田線等が通過し、西名阪自動車道、近郊の国道 25 号及び 165 号等の広域幹線道路に連絡しています。

河合町清掃工場は、町の西部に位置しています。

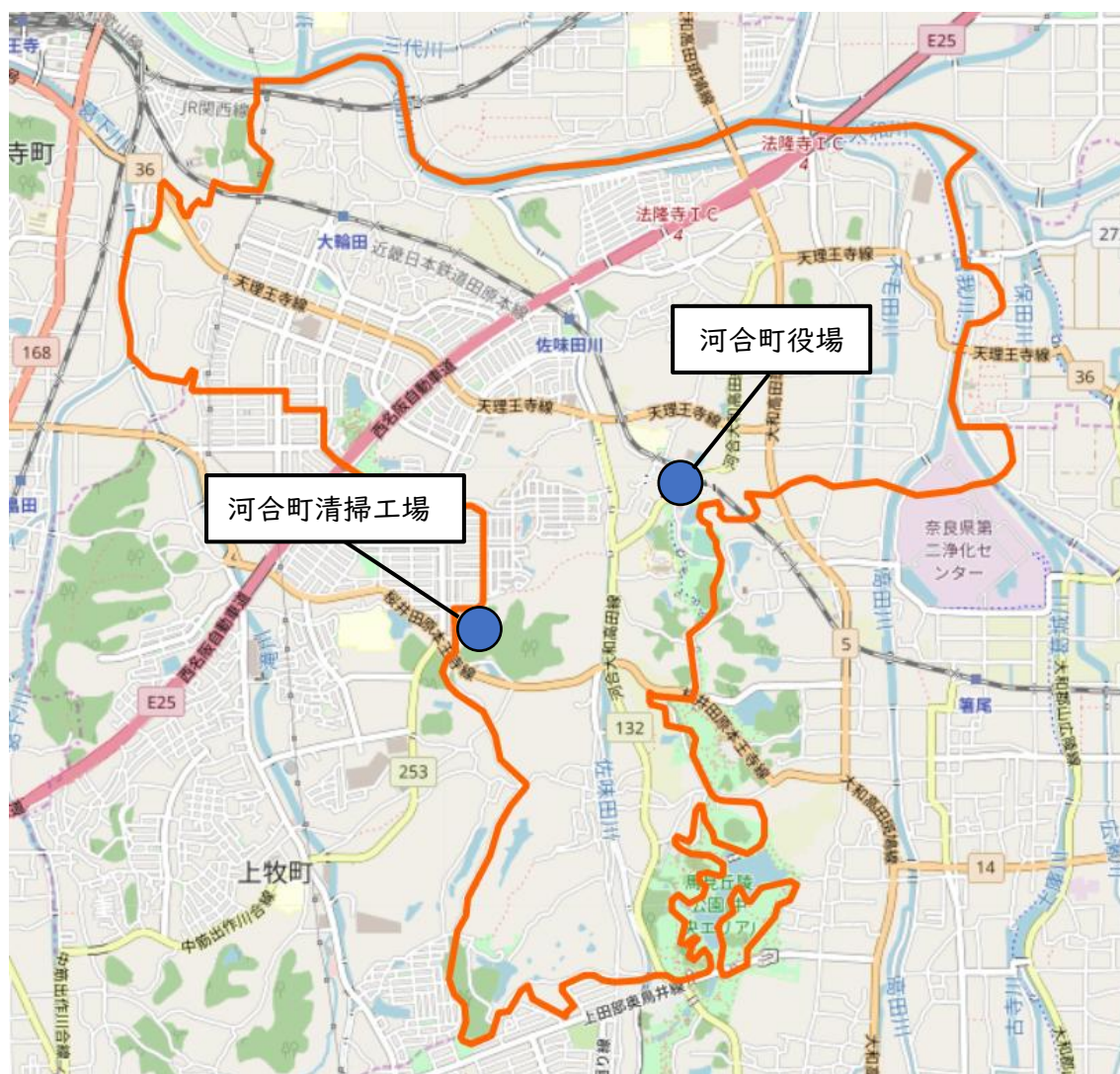


図 2-1-2 本町の周辺図

2.気象

過去 20 年間の気象概況を表 2-2-1 に、年降水量と日平均気温の平均値を図 2-2-1 にそれぞれ示します。

年によって変動はあるものの、日平均気温は若干高く、年降水量は若干増加の傾向にあります。

表 2-2-1 気象概況（平成 17 年～令和 6 年）

年度	年降水量 (mm)	平均			平均風速 (m/s)	最大風速 (m/s)	年間 日照時間 (h)
		日平均気温 (℃)	日最高気温 (℃)	日最低気温 (℃)			
H17	911	14.9	20.4	10.3	1.4	9.5	1,800
H18	1,364	14.9	20.3	10.4	1.4	10.2	1,661
H19	1,110	15.3	21.0	10.5	1.4	7.7	1,900
H20	1,301	14.9	20.6	10.3	1.4	7.6	1,778
H21	1,287	15.1	20.8	10.3	1.4	9.1	1,803
H22	1,588	15.4	20.9	10.8	1.4	9.0	1,782
H23	1,473	15.0	20.6	10.4	1.4	8.0	1,848
H24	1,578	14.7	20.0	10.3	1.4	8.3	1,756
H25	1,506	15.3	21.0	10.5	1.4	8.9	2,004
H26	1,321	14.9	20.6	10.3	1.4	9.3	1,854
H27	1,512	15.5	21.0	11.0	1.4	8.1	1,739
H28	1,494	16.0	21.6	11.2	1.3	7.8	1,887
H29	1,291	15.4	20.6	11.1	2.0	15.9	1,891
H30	1,647	16.2	21.5	11.9	2.1	19.7	2,065
R1	1,483	16.3	21.5	11.9	2.1	13.7	1,887
R2	1,629	16.3	21.6	12.1	2.1	14.2	1,882
R3	1,642	16.3	21.7	12.0	2.2	11.7	1,936
R4	1,216	16.2	21.6	11.8	2.1	10.3	2,043
R5	1,358	16.6	22.3	12.1	2.0	15.3	2,095
R6	1,684	17.2	22.4	13.0	2.1	12.5	1,930

出典：奈良地方気象台 過去の観測データより

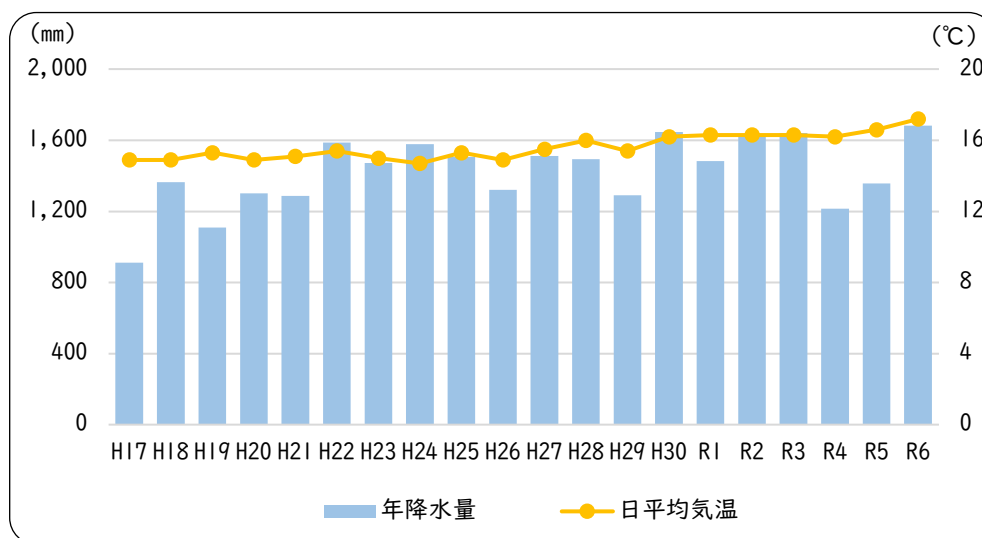


図 2-2-1 年降水量と日平均気温の平均値（平成 17 年～令和 6 年）

3.人口動態

3-1.人口及び世帯数

過去10年間の人口及び世帯数の推移を表2-3-1及び図2-3-1に示します。

令和6年度における本町の人口は16,497人、世帯数は7,932世帯となっています。

人口は減少しながら推移しており10年間で1,826人減少しています。世帯数は増加しながら推移しており10年間で153世帯増加しています。世帯人員は減少しながら推移しており10年間で0.28人/世帯減少しています。

表2-3-1 人口及び世帯数の推移

年度	河合町 人口（人）					世帯数 （世帯）	世帯人員 （人/世帯）
		男性	女性	男性/女性			
H27	18,323	8,614	9,709	0.47	0.53	7,779	2.36
H28	18,118	8,497	9,621	0.47	0.53	7,790	2.33
H29	17,846	8,345	9,501	0.47	0.53	7,751	2.30
H30	17,735	8,268	9,467	0.46	0.53	7,810	2.27
R1	17,536	8,168	9,368	0.46	0.52	7,840	2.24
R2	17,372	8,082	9,290	0.45	0.52	7,910	2.20
R3	17,192	7,999	9,193	0.45	0.52	7,930	2.17
R4	16,986	7,911	9,075	0.44	0.51	7,957	2.13
R5	16,750	7,787	8,963	0.44	0.50	7,956	2.11
R6	16,497	7,688	8,809	0.43	0.49	7,932	2.08

出典：河合町ホームページ「人口統計（各年度3月末のデータ）」

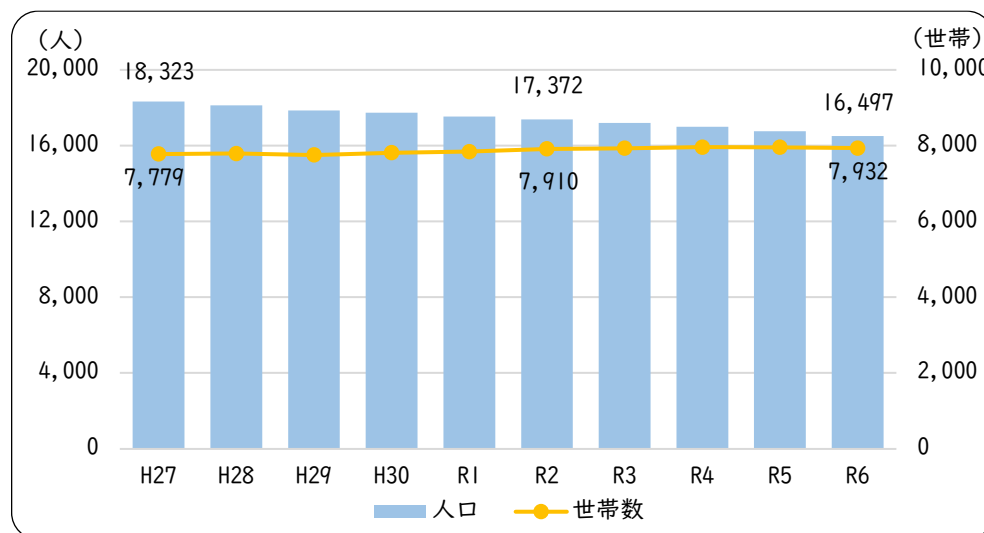


図2-3-1 人口及び世帯数の推移

3-2.年齢5歳階級別人口

令和2年度の年齢5歳階級別人口を表2-3-2及び表2-3-2に示します。

割合では、年少人口が10.1%、生産年齢人口が51.1%、老年人口が38.8%となっています。内閣府の「高齢社会白書」では、令和2年度における日本の総人口のうち、年少人口が12.0%、生産年齢人口が59.3%、老年人口が28.8%となっているため、全国平均より少子高齢化が顕著であると言えます。

表2-3-2 年齢5歳階級別人口（令和2年度）

単位：人

項目		総数		男	女
年少人口	0～4	410	2.4%	199	211
	5～9	542	3.2%	272	270
	10～14	762	4.5%	432	330
	小計	1,714	10.1%	903	811
生産年齢人口	15～19	789	4.6%	432	357
	20～24	685	4.0%	334	351
	25～29	492	2.9%	235	257
	30～34	590	3.5%	269	321
	35～39	728	4.3%	337	391
	40～44	936	5.5%	442	494
	45～49	1,179	6.9%	564	615
	50～54	1,158	6.8%	529	629
	55～59	1,097	6.4%	529	568
	60～64	1,045	6.1%	499	546
	小計	8,699	51.1%	4,170	4,529
老年人口	65～69	1,284	7.5%	555	729
	70～74	1,778	10.4%	785	993
	75～79	1,502	8.8%	712	790
	80～84	1,015	6.0%	476	539
	85～89	643	3.8%	219	424
	90～94	290	1.7%	80	210
	95～	93	0.5%	18	75
	小計	6,605	38.8%	2,845	3,760
総数		17,018	100.0%	7,918	9,100

出典：国勢調査（令和2年10月1日現在）

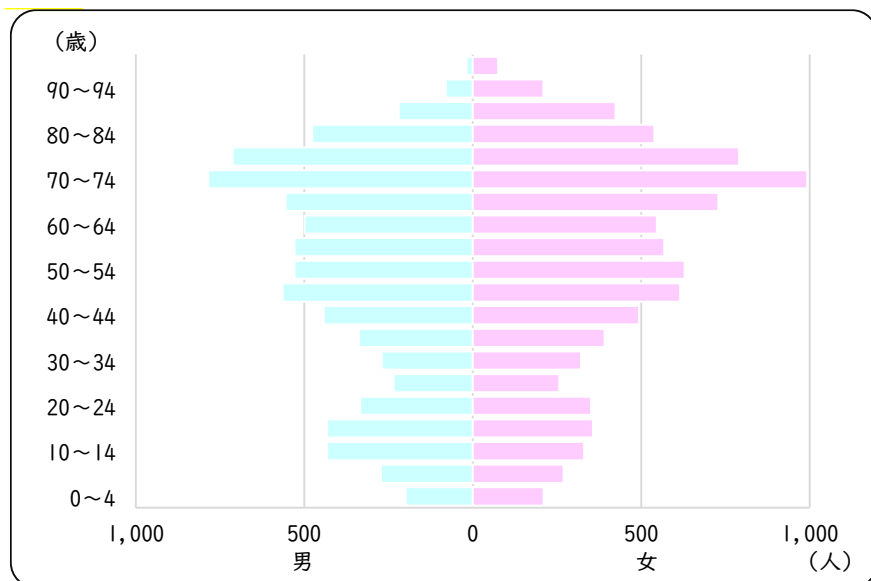


図2-3-2 年齢5歳階級別人口（令和2年）

4.産業の動向

産業別民営事業所数及び従業者数の推移を表 2-4-1 に、令和 3 年度の産業別民営事業所数を図 2-4-1 に、産業別従業者数を図 2-4-2 にそれぞれ示します。

従業者数・事業所数ともに、第 2 次産業、第 3 次産業のいずれについても減少傾向にあります。

表 2-4-1 産業別民営事業所数及び従業者数の推移

産業分類	事業所数（事業所）			従業者数（人）		
	H24	H28	R3	H24	H28	R3
第一次産業	0	0	0	0	0	0
農林漁業	-	-	-	-	-	-
第二次産業	85	73	68	865	908	904
鉱業、採石業、砂利採取業	-	-	-	-	-	-
建設業	36	28	20	201	191	114
製造業	49	45	48	664	717	790
第三次産業	399	379	356	3,945	3,294	3,083
電気・ガス・熱供給・水道業	-	-	-	-	-	-
情報通信業	5	5	4	15	11	8
運輸業、郵便業	9	10	6	390	337	314
卸売業、小売業	132	119	96	1,233	1,086	1,001
金融業、保険業	6	5	2	32	40	24
不動産業、物品賃貸業	28	21	28	77	74	126
学術研究、専門・技術サービス業	7	8	9	26	29	22
宿泊業、飲食サービス業	49	52	45	406	518	471
生活関連サービス業、娯楽業	54	46	46	388	309	196
教育、学習支援業	17	17	17	177	191	174
医療、福祉	50	54	54	832	551	553
複合サービス事業	5	5	5	19	18	20
サービス業（他に分類されないもの）	37	37	44	350	130	174
総数	484	452	424	4,810	4,202	3,987

出典：経済センサス－活動調査結果

産業全体でみると、事業所数では卸売業・小売業が最も多く、医療・福祉、製造業、生活関連サービス業・娯楽業、宿泊業・飲食サービス業の順となっています。従業者数では卸売業・小売業が最も多く、製造業、医療・福祉、宿泊業・飲食サービス業の順となっています。

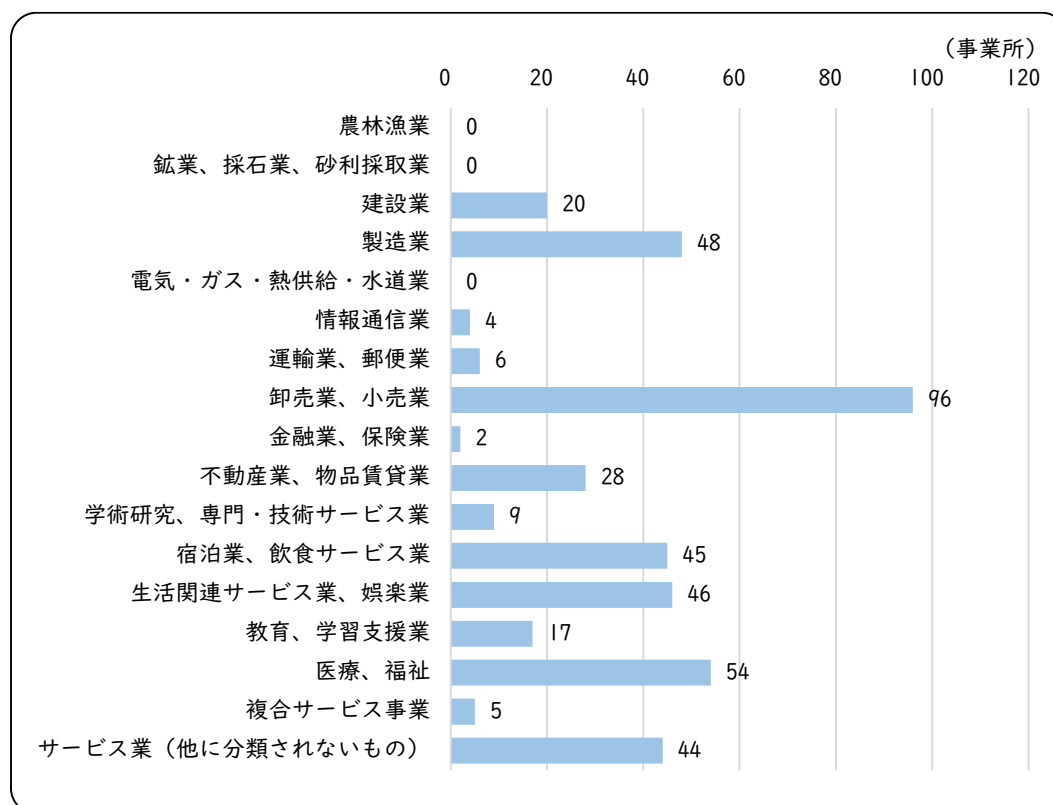


図 2-4-1 産業別民営事業所数（令和3年度）

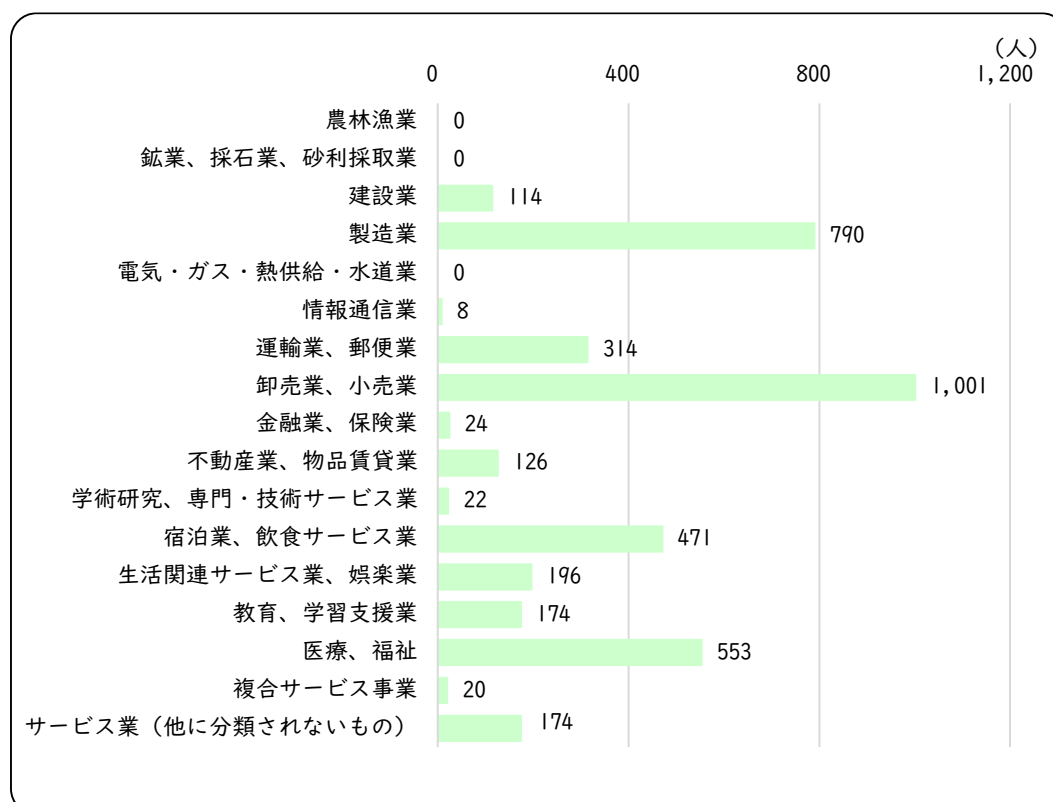


図 2-4-2 産業別従業者数（令和3年度）

5.土地利用

5-1.用途地域

令和5年度の都市計画区域面積と用途地域別面積を表2-5-1に示します。

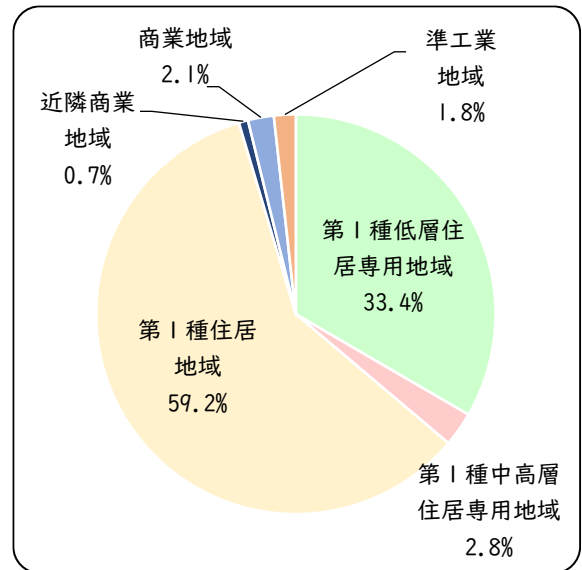
都市計画区域のうち、市街化区域は40.7%、市街化調整区域は59.3%を占めています。

用途地域については、第1種住居地域が59.2%、第1種低層住居専用地域が33.4%、第1種中高層住居専用地域が2.8%、商業地域が2.1%、準工業地域が1.8%、近隣商業地域が0.7%を占めています。

表 2-5-1 都市計画区域面積と用途地域別面積

区分	面積 (ha)	
	数値	構成比
都市計画区域	823.0	100.0%
市街化区域	334.6	40.7%
市街化調整区域	488.4	59.3%
用途地域	334.6	100.0%
第1種低層住居専用地域	111.7	33.4%
第1種中高層住居専用地域	9.3	2.8%
第1種住居地域	198.2	59.2%
近隣商業地域	2.5	0.7%
商業地域	7.0	2.1%
準工業地域	5.9	1.8%

出典：奈良県統計年鑑（令和5年度）



5-2.土地利用状況

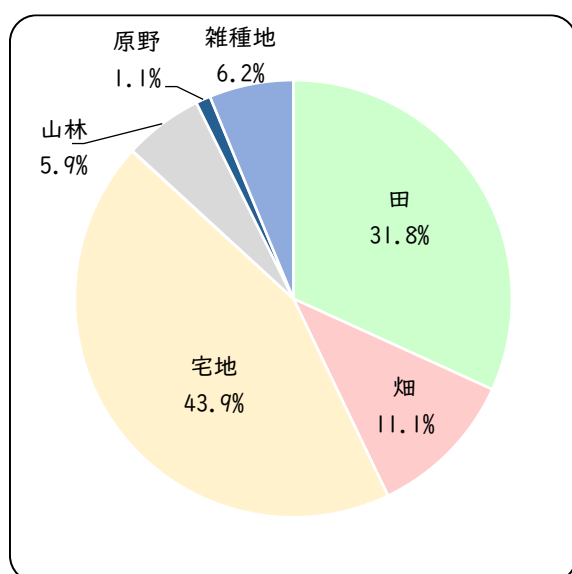
令和5年度の土地利用状況を表2-5-2に示します。

宅地が最も多く43.9%の面積を占めており、次いで田が31.8%、畑が11.1%、山林が5.8%と続きます。

表 2-5-2 土地利用状況

	面積 (㎡)	割合
田	1,495	31.8%
畑	520	11.1%
宅地	2,064	43.9%
池沼	2	0.0%
山林	275	5.8%
原野	51	1.1%
雑種地	293	6.2%
合計	4,701	100.0%

出典：奈良県統計年鑑（令和5年度）



第3章 ごみ処理の状況

1. ごみ処理の現状

1-1. 分別区分

本町のごみの分別区分を表 3-1-1 に、分別区分ごとの排出方法等を表 3-1-2 に示します。令和 7 年 10 月から広域組合の焼却施設で処理されることに伴い、分別区分が一部変更になっています。

表 3-1-1 分別区分

品目		ごみの例
収集・自己搬入	もやすごみ	生ごみ（野菜・魚・肉等の調理くず、茶殻等）、紙くず（雑がみ、ティッシュペーパー、紙おむつ等）、木くず（落ち葉、木片、草、剪定枝等）、布くず（布きれ、靴下等）、ふとん類（ふとん、毛布、ざぶとん等）、汚れているプラスチック製容器包装・ペットボトル（調味料のチューブ、お菓子の袋、惣菜等のトレイ、ソースのペットボトル等）、プラスチック使用製品（プラ製文房具、プラ製のおもちゃ、プラ製のハンガー等）
	もやさないごみ	汚れていないプラスチック製容器包装（プラマークのついているプラスチック容器・トレイ）、ガラス・瀬戸物類（陶器・ガラスコップ等）、金属類（鍋、フライパン、スプーン、刃物類）、小型電化製品（指定袋に入る大きさの家電製品）
	粗大ごみ	大型家電製品（指定袋に入らない家電製品）、家具類（たんす、机、ベッド等）、建具類（ふすま、障子等）
	ペットボトル	飲料用、酒類、調味料用のペットボトル
	びん	びん（飲み物等のびん）
	かん	かん（スチール缶、アルミ缶）
	有害ごみ	蛍光管、電池（乾電池・ボタン電池）水銀計（水銀体温計・水銀温度計）
拠点	使用済み小型家電	携帯電話・PHS・パソコン・タブレット、電話機（ファクシミリ含む）、携帯型ラジオ、デジタルカメラ・ビデオカメラ・フィルムカメラ、映像用機器（DVDビデオ・HDDレコーダー・BDレコーダー/プレイヤー・ビデオテープレコーダー・チューナ・STB）、音響機器（MDプレイヤー・携帯音楽プレイヤー（フラッシュメモリ）（HDD）・CDプレイヤー・テープレコーダー・ヘッドホン及びイヤホン・ICレコーダー・補聴器）、補助記憶装置（ハードディスク・USBメモリ・メモリカード）、電子書籍端末、電子辞書・電卓、電子血圧計・電子体温計、理容用機器（ヘアドライヤー・電子かみそり等）、懐中電灯、時計、ゲーム機（据置型ゲーム機・携帯型ゲーム機・ミニ電子ゲーム・ハイテク系トレンドトイ）、カー用品（カーナビ・VICSユニット・ETC車載ユニット等）、その他の付属品（リモコン・ACアダプター・ケーブル・充電器等）
	廃食用油	液体の植物油
集団資源回収		新聞紙、雑誌・本、ダンボール、紙パック、布類（古布・古着）

表 3-1-2 分別区分ごとの排出方法等

品目		排出方法	収集回数	収集体制
収集・自己搬入	もやすごみ	指定袋に入れる	週 2 回	ステーション
	もやさないごみ	指定袋に入れる	週 1 回	ステーション
	粗大ごみ	粗大ごみシールを貼って出す	週 1 回	ステーション
	ペットボトル	指定袋に入れる	月 2 回	ステーション
	びん	指定袋に入れる	月 2 回	ステーション
	かん	指定袋に入れる	月 2 回	ステーション
	有害ごみ	分別し、適宜汎用の袋に入れる	年 4 回	ステーション
拠点	使用済み小型家電	専用回収ボックス	—	—
	廃食用油	専用回収ボックス	—	—
集団資源回収		—	—	—

本町では収集、処理できないごみを表 3-1-3 に示します。

表 3-1-3 本町では収集、処理できないごみ

種 類		ごみの例
建築業や事業者から出るごみ (産業廃棄物に類する物)		製造工程から出るごみ、建築廃材や産業廃棄物、農機具等
爆発性・引火性のあるごみ		プロパンガス等のガスボンベ類、ガソリン、シンナー、ペンキ、花火、オイル等の油類
危険性のあるもの		農薬、殺虫剤等の薬品類、消火器、車両用バッテリー等
処理できないもの		農機具、農業用資材、浴槽、大型設備器具、バイク、タイヤ、ピアノ、据え置き型金庫、医療廃棄物、薬品等が付着している容器、ドラム缶、仏壇、石、ブロック、煉瓦、屋根ソーラー、自動車・単車の部品、土砂、瓦等
リサイクル家電	家電リサイクル法対象品	エアコン(セパレートタイプ(壁掛け型、床置き型)、ウィンドタイプ)、テレビ(ブラウン管式、液晶・有機EL・プラズマ式)、冷蔵庫・冷凍庫、洗濯機・衣類乾燥機
	パソコンリサイクル法対象品	パソコン (専用回収ボックスに入らないもの)

1-2.処理主体

本町のごみの処理主体を表 3-1-4 に示します。

表 3-1-4 処理主体

品目		収集・運搬	中間処理	最終処分
家庭系	もやすごみ	委託/自己搬入	委託	委託
	もやさないごみ	委託/自己搬入	委託	委託
	粗大ごみ	委託/自己搬入	委託	委託
	ペットボトル	委託/自己搬入	委託	資源化
	びん	委託/自己搬入	委託	資源化
	かん	委託/自己搬入	委託	資源化
	有害ごみ	委託/自己搬入	委託	委託
	使用済小型家電	拠点	委託	資源化
	廃食用油	拠点	委託	資源化
事業系	もやすごみ	許可業者/自己搬入	委託	委託
	有害ごみ	許可業者/自己搬入	委託	委託
	可燃性粗大ごみ	許可業者/自己搬入	委託	委託

1-3.手数料

本町のごみ処理手数料を表 3-1-5 に示します。

表 3-1-5 ごみ処理手数料

対象ごみの種類			手数料
収集	家庭系ごみ	もやすごみ	45L ごみ袋(大) 10枚入り 400 円 30L ごみ袋(中) 10枚入り 300 円 20L ごみ袋(小) 10枚入り 200 円 8L ごみ袋(ダストシュート用) 10枚入り 100 円
		もやさないごみ	45L ごみ袋(大) 10枚入り 400 円 30L ごみ袋(中) 10枚入り 300 円 20L ごみ袋(小) 10枚入り 200 円
	事業系ごみ	—	—
引取	家庭系ごみ	もやすごみ・もやさないごみ・ 資源ごみ・粗大ごみ・有害ごみ	100 円/10kg 引取車両手配料 1,000 円/台
	特定家電	エアコン、テレビ、 冷蔵庫・冷凍庫、洗濯機、衣類乾燥機	3,000 円/個
自己搬入	家庭系ごみ	もやすごみ・もやさないごみ・ 資源ごみ	100 円/10kg または指定ごみ袋
		粗大ごみ	100 円/10kg
		有害ごみ	無料
	事業系ごみ	もやすごみ	150 円/10kg

1-4.処理フロー

本町のごみ処理フローを図3-1-1に示します。

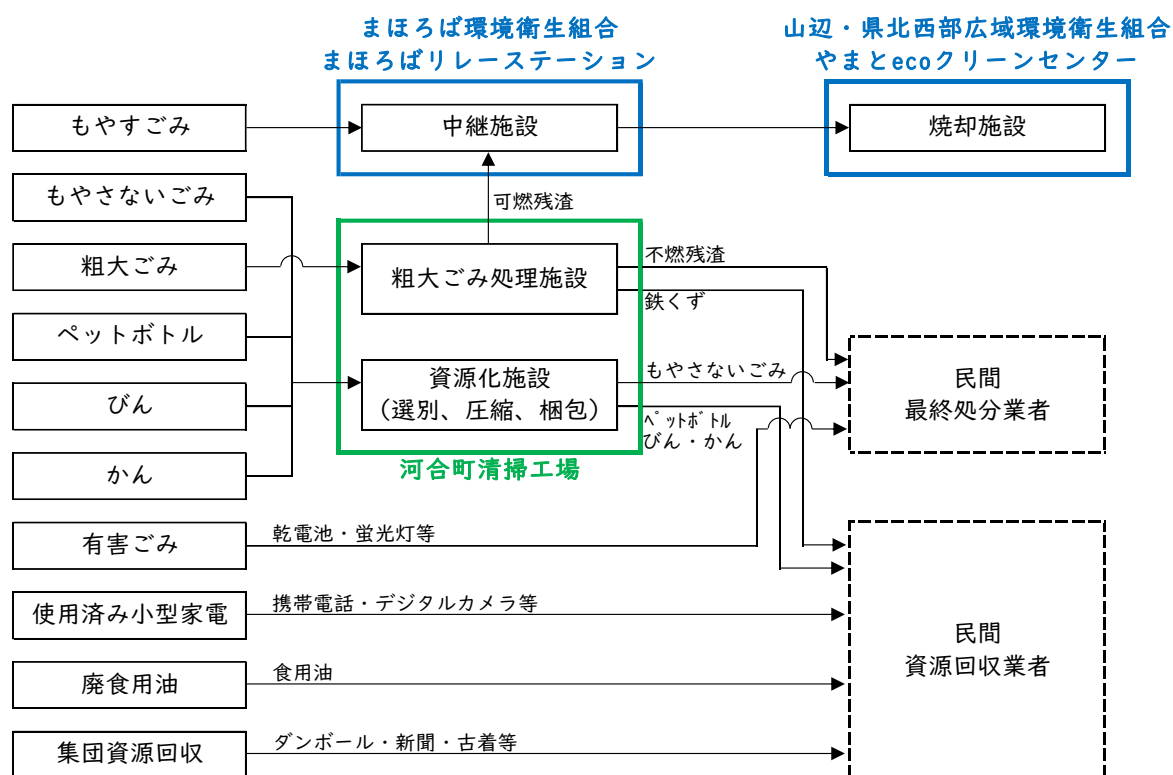


図3-1-1 ごみ処理フロー

1-5.施設の概要

河合町清掃工場の粗大ごみ処理施設の概要を表 3-1-6 に、資源化施設の概要を表 3-1-7 にそれぞれ示します。また、もやすごみについては、まほろば環境衛生組合の中継施設を経て広域組合の焼却施設で処理されており、それぞれの施設の概要表 3-1-8 及び表 3-1-9 に示します。

なお、資源化施設については、町として機械等を設置する場所を貸し出しており、運転を民間業者に委託しています。

表 3-1-6 河合町清掃工場（粗大ごみ処理施設）の概要

項 目	概要
施設名	河合町清掃工場（粗大ごみ処理施設）
所在地	北葛城郡河合町大字山坊 683 番地 1
竣工年月	平成 3 年 3 月
処理能力	6t/5h
処理方式	破碎、選別
処理対象物	粗大ごみ

表 3-1-7 河合町清掃工場（資源化施設）の概要

項 目	概要
施設名	河合町清掃工場（資源化施設）
所在地	北葛城郡河合町大字山坊 683 番地 1
竣工年月	平成 16 年 1 月
処理能力	6t/5h
処理方式	選別、圧縮、梱包
処理対象物	資源ごみ

表 3-1-8 中継施設（まほろば環境衛生組合）の概要

項 目	概要
施設名	まほろばリレーステーション
所在地	生駒郡安堵町内（安堵町環境美化センター跡地）
竣工年月	令和 7 年 9 月
処理能力	75t/日
処理方式	段差直接投入方式
処理対象物	もえるごみ

表 3-1-9 焼却施設（山辺・県北西部広域環境衛生組合）の概要

項 目	概要
施設名	やまと eco クリーンセンター
所在地	天理市岩屋町 459 番 2 外 2 筆
竣工年月	令和 7 年 4 月
処理能力	284t/日（142t/日×2 炉）
処理方式	ストーカ式焼却炉
処理対象物	もえるごみ

2.ごみ排出量・処理量の実績

2-1.ごみ排出量

過去7年間のごみ排出量の実績を表3-2-1及び図3-2-1に示します。

総排出は減少傾向にあり、平成30年度が6,520.6tだったのに対し、令和6年度は5,778.4tであり、約742t減少しています。家庭系ごみ排出量は減少傾向、一般持込は減少傾向でしたが直近で増加、事業系ごみは増加傾向でしたが直近では減少、有害ごみはほぼ一定、集団資源回収は減少傾向にあります。

表 3-2-1 ごみ排出量の実績

		単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
人口		人	17,735	17,536	17,372	17,192	16,986	16,750	16,497
家庭系		↑	3,516.1	3,594.8	3,653.8	3,589.8	3,462.5	3,080.2	3,005.3
	可燃ごみ	↑	2,669.5	2,709.1	2,707.2	2,752.7	2,609.0	2,358.4	2,287.5
	不燃ごみ	↑	656.5	698.9	747.2	656.9	680.5	557.4	558.3
	廃プラスチック	↑	382.4	412.0	428.7	398.9	402.5	370.8	363.1
	粗大ごみ(鉄くず含む)	↑	274.1	286.9	318.5	258.0	278.0	186.6	195.2
	資源ごみ	↑	190.1	186.8	199.4	180.2	173.0	164.4	159.5
	かん・びん ペットボトル	↑ ↑	150.2 39.9	139.9 46.9	148.4 51.0	138.7 41.5	130.2 42.8	123.6 40.8	119.4 40.1
一般持込		↑	482.7	493.6	462.1	400.6	439.2	517.2	518.8
	可燃ごみ	↑	421.1	445.7	419.6	334.9	360.1	430.8	472.3
	不燃ごみ	↑	61.4	47.3	42.5	65.3	78.8	86.0	45.9
	廃プラスチック	↑	2.0	30.4	14.9	8.7	13.4	9.0	10.3
	粗大ごみ(鉄くず含む)	↑	59.4	16.9	27.6	56.6	65.4	77.0	35.6
	資源ごみ	↑	0.2	0.6	0.0	0.4	0.3	0.4	0.6
	かん・びん、ペットボトル	↑	0.2	0.6	0.0	0.4	0.3	0.4	0.6
事業系		↑	1,869.1	1,946.4	1,936.8	1,986.7	1,990.5	1,957.5	1,855.4
	可燃ごみ	↑	1,848.4	1,927.4	1,927.4	1,927.4	1,972.4	1,949.1	1,849.1
	粗大ごみ(可燃)	↑	20.7	19.0	9.4	59.3	18.1	8.4	6.3
	粗大ごみ(鉄くず含む)	↑	20.7	19.0	9.4	59.3	18.1	8.4	6.3
計	可燃ごみ	↑	4,939.0	5,082.2	5,054.2	5,015.0	4,941.5	4,738.3	4,608.9
	不燃ごみ	↑	687.2	733.5	740.9	729.1	746.0	615.4	570.3
	廃プラスチック	↑	384.4	442.4	443.6	407.6	415.9	379.8	373.4
	粗大ごみ	↑	302.8	291.1	297.3	321.5	330.1	235.6	196.9
	資源ごみ	↑	241.7	219.1	257.6	233.0	204.7	201.2	200.3
	かん・びん、ペットボトル	↑	190.3	187.4	199.4	180.6	173.3	164.8	160.1
	鉄くず	↑	51.4	31.7	58.2	52.4	31.4	36.4	40.2
有害ごみ		↑	4.2	3.9	4.1	4.5	4.2	3.9	4.1
集団資源回収		↑	648.5	603.9	510.7	510.1	486.5	434.6	394.8
	新聞紙	↑	272.4	243.6	186.1	187.8	168.3	154.2	131.8
	雑誌	↑	212.1	197.6	177.3	171.7	168.4	144.2	134.4
	段ボール	↑	97.8	94.2	94.2	93.7	94.6	86.1	80.4
	紙パック	↑	2.8	2.2	2.3	1.8	1.7	1.6	0.8
	古着類	↑	51.8	53.7	38.1	42.7	41.0	37.1	36.6
	かん	↑	11.6	12.6	12.7	12.4	12.5	11.4	10.8
合計		↑	6,520.6	6,642.6	6,567.5	6,491.8	6,382.9	5,993.4	5,778.4

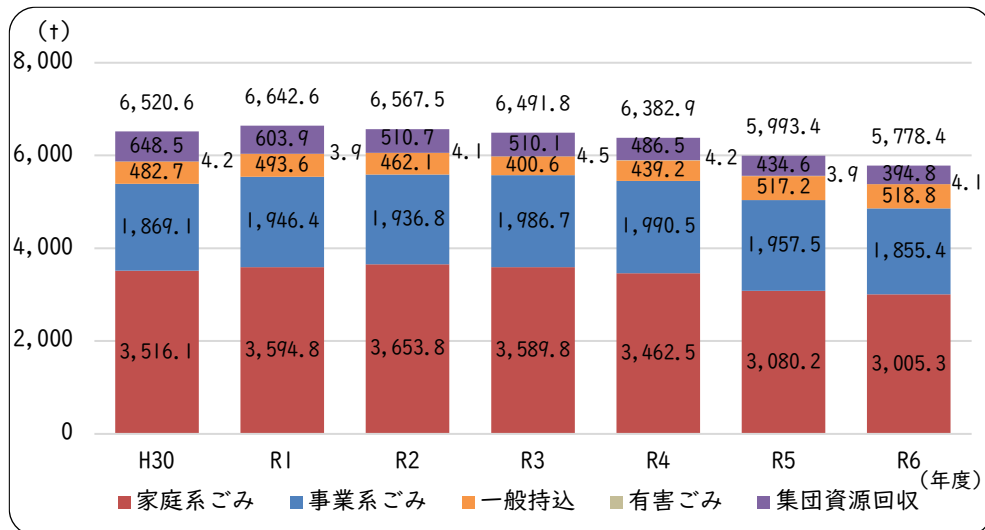


図 3-2-1 ごみ排出量の実績

2-2.1 人1日平均ごみ排出量

過去7年間の1人1日平均ごみ排出量の実績を表3-2-2及び図3-2-2に示します。

年間ごみ総排出量を人口と年間日数で割った1人1日平均ごみ排出量は減少傾向にあり、平成30年度が1,007.3g/人・日であったのに対し、令和6年度は959.6g/人・日であり、約48g減少しています。1人1日平均家庭系ごみ排出量、1人1日平均集団資源回収量については減少傾向にあり、1人1日平均一般持込量、1人1日平均事業系ごみ排出量、1人1日平均有害ごみ排出量については増加傾向にあります。

表3-2-2 1人1日平均ごみ排出量の実績

		単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
人口		人	17,735	17,536	17,372	17,192	16,986	16,750	16,497
家庭系		g/人・日	543.2	560.1	576.2	572.1	558.4	502.5	499.1
	可燃ごみ	g/人・日	412.4	422.1	427.0	438.7	420.8	384.7	379.9
	不燃ごみ	g/人・日	101.4	108.9	117.8	104.7	109.7	90.9	92.7
	廃プラスチック	g/人・日	59.1	64.2	67.6	63.6	64.9	60.5	60.3
	粗大ごみ(鉄くずを含む)	g/人・日	42.3	44.7	50.2	41.1	44.8	30.4	32.4
	資源ごみ	g/人・日	29.4	29.1	31.4	28.7	27.9	26.9	26.5
	かん・びん	g/人・日	23.2	21.8	23.4	22.1	21.0	20.2	19.8
	ペットボトル	g/人・日	6.2	7.3	8.0	6.6	6.9	6.7	6.7
一般持込		g/人・日	74.6	72.1	70.6	62.5	68.7	84.5	86.1
	可燃ごみ	g/人・日	65.1	69.4	66.2	53.4	58.1	70.3	78.4
	不燃ごみ	g/人・日	9.5	2.6	4.4	9.0	10.5	14.1	7.6
	廃プラスチック	g/人・日	0.3	4.7	2.3	1.3	2.1	1.5	1.7
	粗大ごみ(鉄くずを含む)	g/人・日	9.2	2.6	4.4	9.0	10.5	12.6	5.9
	資源ごみ	g/人・日	0.0	0.1	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1
	かん・びん、ペットボトル	g/人・日	0.0	0.1	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1
事業系		g/人・日	288.7	303.3	305.5	316.7	321.0	319.3	308.1
	可燃ごみ	g/人・日	285.5	300.3	304.0	307.2	318.1	317.9	307.1
	粗大ごみ(可燃)	g/人・日	3.2	3.0	1.5	9.5	2.9	1.4	1.0
	粗大ごみ(鉄くずを含む)	g/人・日	3.2	3.0	1.5	9.5	2.9	1.4	1.0
計	可燃ごみ	g/人・日	763.0	791.8	797.2	799.3	797.0	772.9	765.4
	不燃ごみ	g/人・日	106.2	114.3	116.8	116.1	120.1	100.5	94.6
	廃プラスチック	g/人・日	59.4	68.9	69.9	64.9	67.0	62.0	62.0
	粗大ごみ	g/人・日	46.8	45.4	46.9	51.2	53.1	38.5	32.6
	資源ごみ	g/人・日	37.3	34.1	40.6	37.2	33.1	32.9	33.3
	かん・びん、ペットボトル	g/人・日	29.4	29.2	31.4	28.8	28.0	27.0	26.6
	鉄くず	g/人・日	7.9	4.9	9.2	8.4	5.1	5.9	6.7
有害ごみ		g/人・日	0.6	0.6	0.6	0.7	0.7	0.6	0.7
集団資源回収		g/人・日	100.2	94.1	80.5	81.3	78.5	70.9	65.6
	新聞紙	g/人・日	42.1	37.9	29.3	29.9	27.1	25.1	22.0
	雑誌	g/人・日	32.8	30.8	28.0	27.4	27.2	23.5	22.3
	段ボール	g/人・日	15.1	14.7	14.8	14.9	15.3	14.0	13.3
	紙パック	g/人・日	0.4	0.3	0.4	0.3	0.3	0.3	0.1
	古着類	g/人・日	8.0	8.4	6.0	6.8	6.6	6.1	6.1
	かん	g/人・日	1.8	2.0	2.0	2.0	2.0	1.9	1.8
合計		g/人・日	1,007.3	1,034.9	1,035.7	1,034.6	1,029.4	977.8	959.6

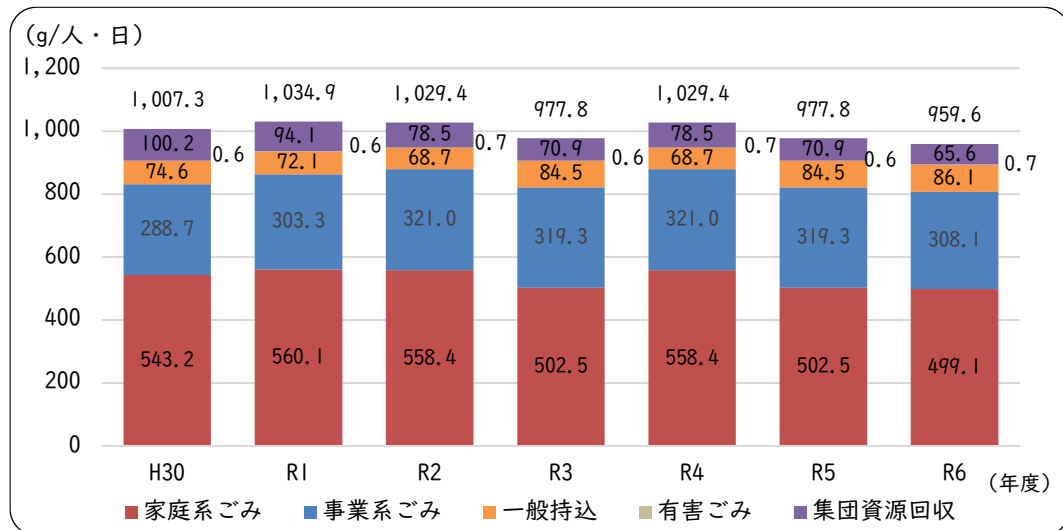


図 3-2-2 1人1日平均ごみ排出量の実績

2-3.焼却処理量、資源化量、最終処分量

過去7年間の焼却処理量、資源化量、最終処分量の実績を表3-2-3に、資源化量・資源化率の実績を図3-2-3に、最終処分量・最終処分率の実績を図3-2-4に示します。

年間焼却処理量は減少傾向にあり、令和6年度では4,560.3tとなっています。

資源化量、資源化率ともに減少傾向にあり、令和6年度の資源化率は9.7%となっています。

また、最終処分量、最終処分率ともに減少傾向にあり、令和6年度最終処分率は17.1%となっています。

表 3-2-3 焼却処理量、資源化量、最終処分量の実績

単位：t

	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
人口（人）	17,735	17,536	17,372	17,192	16,986	16,750	16,497
総排出量	6,520.6	6,642.6	6,567.5	6,491.8	6,382.9	5,993.4	5,778.4
焼却処理量	5,714.0	5,403.0	5,367.2	3,900.0	4,247.0	4,540.5	4,560.3
焼却量（1号炉）	2,694.0	2,886.0	2,655.5	1,790.0	1,956.0	2,403.2	2,466.8
焼却量（2号炉）	3,020.0	2,517.0	2,711.7	2,110.0	2,291.0	2,137.3	2,093.5
資源化量	829.2	788.0	733.4	718.6	674.9	598.5	561.6
新聞紙	272.4	243.6	186.1	187.8	168.3	154.2	131.8
雑誌	212.1	197.6	177.3	171.7	168.4	144.2	134.4
段ボール	97.8	94.2	94.2	93.7	94.6	86.1	80.4
紙パック	2.8	2.2	2.3	1.8	1.7	1.6	0.8
古着類	51.8	53.7	38.1	42.7	41.0	37.1	36.6
かん・びん	101.1	125.3	122.6	129.1	121.0	96.3	95.9
ペットボトル	39.8	39.7	54.6	39.4	48.5	42.6	41.5
鉄くず	51.4	31.7	58.2	52.4	31.4	36.4	40.2
小型家電	—	—	—	—	—	—	—
資源化率（%）	12.7	11.9	11.2	11.1	10.6	10.0	9.7
最終処分量	1,363.9	1,348.1	1,348.3	1,089.9	1,078.4	1,065.4	990.1
焼却灰	723.5	667.6	695.6	436.7	514.7	534.4	479.0
破砕ごみ・廃プラスチック	640.4	680.5	652.7	653.2	563.7	531.0	511.1
最終処分率（%）	20.9	20.3	20.5	16.8	16.9	17.8	17.1

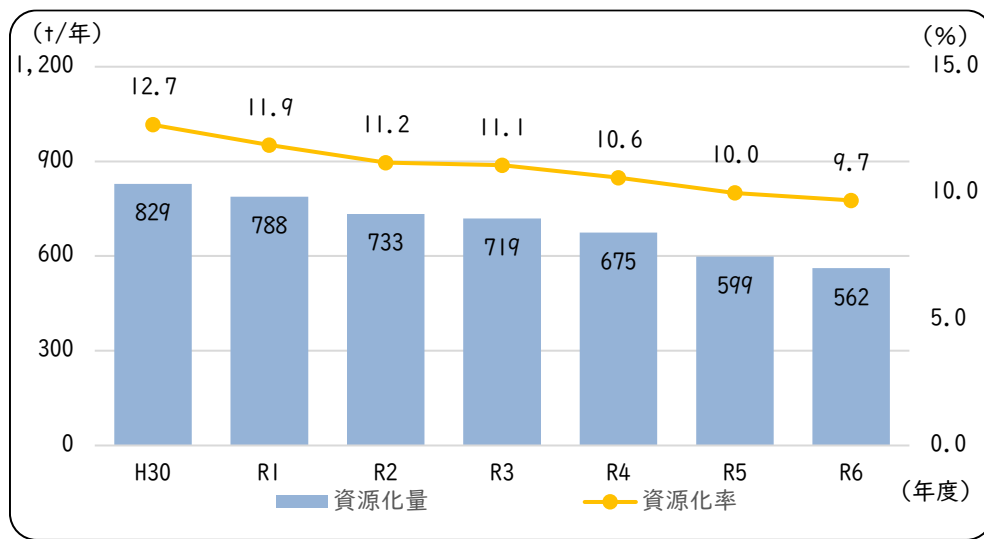


図 3-2-3 資源化量・資源化率の実績

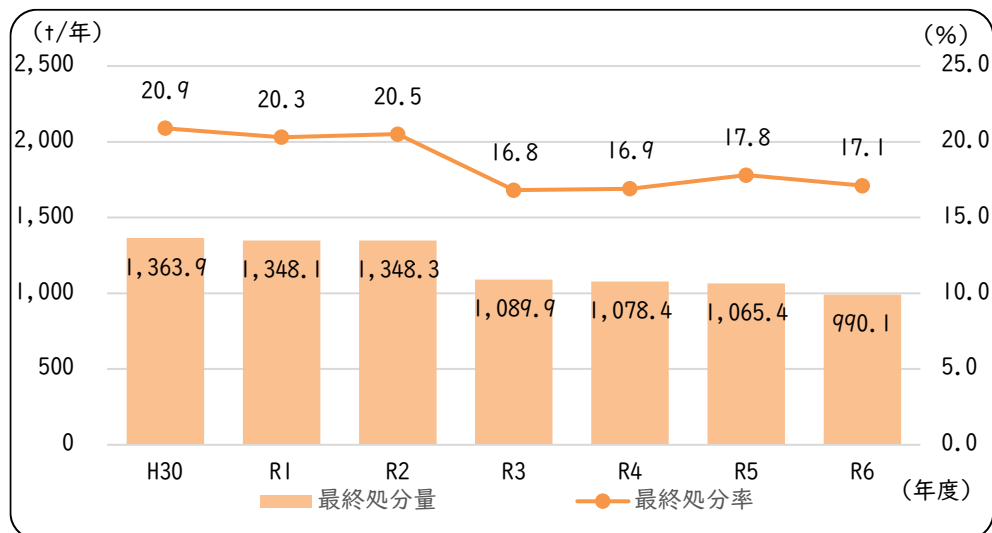


図 3-2-4 最終処分量・最終処分率の実績

2-4.分析結果

1) ごみ質

過去7年間のごみの3成分の分析結果を表3-2-4及び図3-2-5に示します。

過去7年間の平均で見ると、水分が46.79%、灰分が6.78%、可燃分が46.43%となっています。いずれの項目も増減を繰り返しながら推移しています。

表 3-2-4 3成分の分析結果

項 目	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	平均
水分	%	47.25	46.10	45.61	41.14	46.75	53.33	47.35	46.79
灰分	%	6.77	7.55	7.57	6.43	6.73	7.35	5.09	6.78
可燃分	%	45.99	46.35	46.82	52.43	46.52	39.32	47.56	46.43
合計	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
比重	kg/m ³	154.25	155.75	164.25	148.00	167.75	171.50	163.00	160.64
低位発熱量	kJ/kg	7,470	7,583	7,678	8,838	7,585	6,068	7,773	7,570

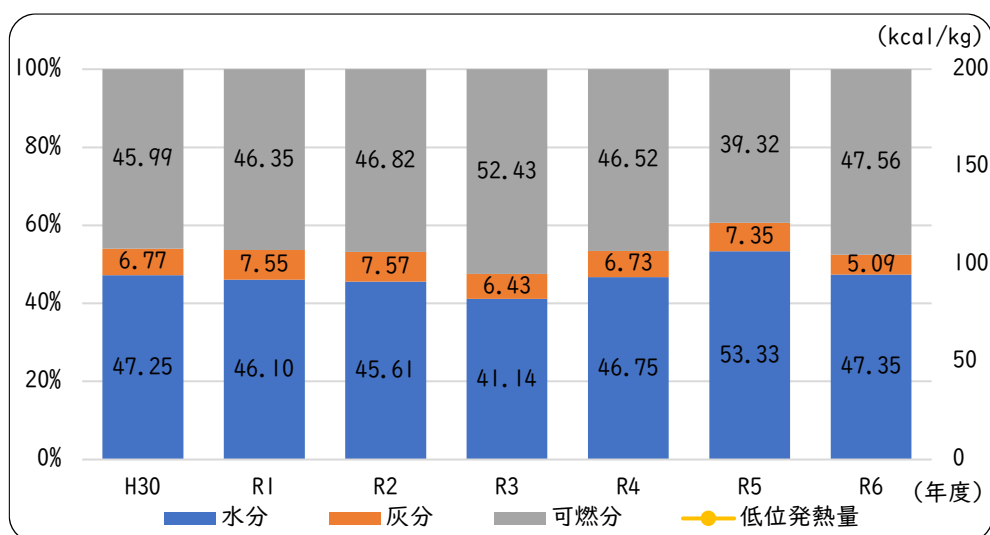


図 3-2-5 3成分の分析結果

2) 可燃分中の組成分析結果

過去7年間の可燃分中の組成分析結果を表3-2-5及び図3-2-6に示します。

過去7年間の平均で見ると、紙類が49.35%、ビニール・合成樹脂・ゴム・皮革類が19.37%、木・竹・わら類が11.00%、厨芥類が13.85%、不燃物類が3.92%、その他が2.50%となっています。

表 3-2-5 可燃分中の組成分析結果

項 目	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	平均
紙・布類	%	53.59	44.78	39.62	45.32	53.42	47.26	61.46	49.35
ビニール・合成樹脂・ゴム・皮革類	%	23.30	23.07	18.16	22.71	17.07	14.24	17.07	19.37
木・竹・わら類	%	8.33	9.06	15.91	16.28	9.84	10.36	7.22	11.00
厨芥類	%	9.03	16.06	17.08	10.92	14.43	18.72	10.75	13.85
不燃物類	%	3.86	4.28	3.22	3.82	3.30	7.25	1.74	3.92
その他	%	1.91	2.76	6.02	0.96	1.94	2.18	1.76	2.50
合 計	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00

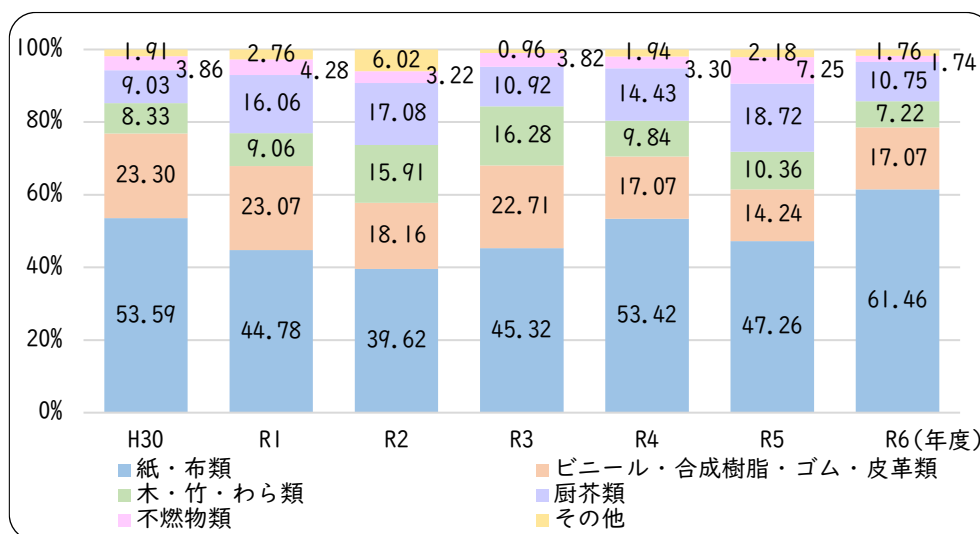


図 3-2-6 可燃分中の組成分析結果

3) ダイオキシン類濃度測定結果

過去7年間の排ガス中のダイオキシン類濃度測定結果を表3-2-6に示します。

いずれの結果も規制値を下回っています。

表 3-2-6 排ガス中のダイオキシン類濃度測定結果

項 目	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	平均
排ガス中 ダイオキシン類	ng-TEQ/m ³ N	0.03	0.10	0.12	4.40	0.39	1.40	2.60	1.29
規制値		5.0							—

2-5.ごみ処理経費

過去7年間のごみ処理経費を表3-2-7及び図3-2-7に示します。

年間の組合分担金を除く合計は、約3億5千万円～4億2千万円となっています。

表3-2-7 ごみ処理経費

単位：千円

歳 出			H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	
建設・改良費	工事費	収集運搬施設	0	0	0	0	371	0	0	
		中間処理施設	27,724	44,731	42,780	45,099	1,352	0	0	
		最終処分場	0	0	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	6	0	42	
	調査費		0	0	0	0	0	0	5,421	
	(組合分担金)		24,274	21,600	38,276	36,818	54,224	258,255	1,118,360	
	小計		51,998	66,331	81,056	81,917	55,953	258,255	1,123,823	
	分担金除く		27,724	44,731	42,780	45,099	1,729	0	5,463	
処理及び維持管理費	人件費	一般職	22,118	30,249	51,135	43,447	67,915	52,422	40,498	
		技能職	収集運搬	0	0	0	0	0	0	0
			中間処理	54,049	43,808	52,947	56,978	41,855	29,107	25,425
			最終処分	0	0	0	0	0	0	0
	処理費	収集運搬費	0	0	0	0	0	0	0	
		中間処理費	30,672	31,672	31,010	23,385	100,305	108,663	111,102	
		最終処分費	0	0	0	0	0	0	0	
	車両等購入費		3,034	0	0	0	0	0	0	
	委託費	収集運搬費	74,477	75,621	77,258	76,072	74,859	75,175	65,249	
		中間処理費	85,061	85,316	86,098	117,396	69,988	48,434	26,688	
		最終処分費	30,677	31,747	31,355	28,553	26,875	27,179	46,895	
		その他	25,091	21,144	25,923	22,442	38,822	51,170	31,918	
	(組合分担金)		0	0	0	0	0	0	29,227	
	調査研究費		0	0	0	0	0	0	0	
	小計		325,179	319,557	355,726	368,273	420,619	392,150	377,002	
	分担金除く		325,179	319,557	355,726	368,273	420,619	392,150	347,775	
その他		891	2,966	2,285	2,232	1,718	1,751	25,251		
合計		378,068	388,854	439,067	452,422	478,290	652,156	1,526,076		
分担金除く		353,794	367,254	400,791	415,604	424,066	393,901	378,489		

出典：環境省「一般廃棄物処理実態調査」

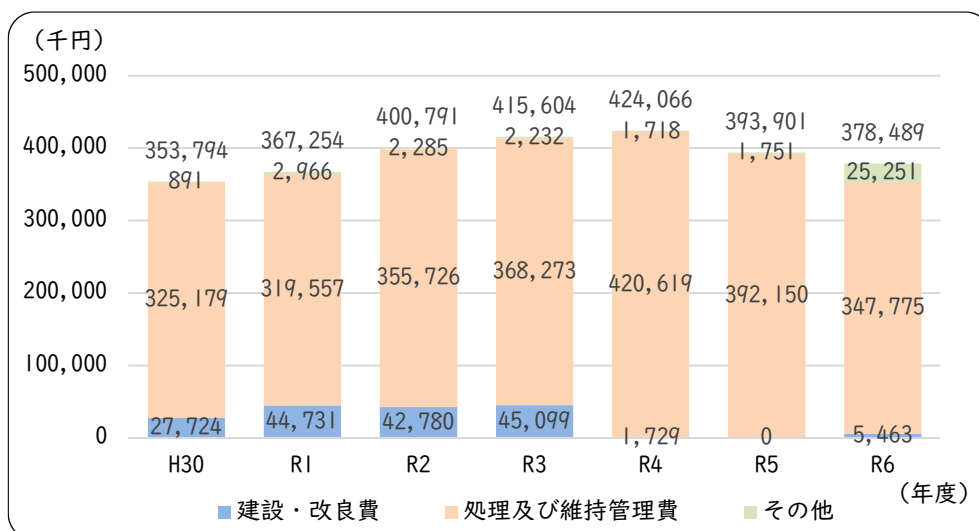


図3-2-7 ごみ処理経費

2-6.資源化、減量化のための施策等

○有料化の実施

家庭系ごみについては、ごみの排出抑制と費用負担の公平性確保のため、指定袋による均一従量制を採用しています。

また、事業系ごみについても、ごみの資源化や減量を促進し、費用負担の公平性確保のため、均一従量制を採用しています。

○ごみの引き取り制度

ごみの持ち込みや持ち出しが困難な世帯の玄関先まで出向いて収集する制度です。有料であり事前予約が必要です。

○まごころ収集

介護保険法で要介護認定を受けている高齢者の方、日常生活で常に介護や介助を必要としている障がい者の方等を対象として、ごみを集積所まで持っていけない世帯の玄関先まで出向いてごみを収集する制度です。

○集団資源回収助成金

集団資源回収を実施する町内の住民団体を支援する助成制度を設けています。助成金の交付対象となる資源物は、新聞紙、雑誌・本、ダンボール、紙パック及び布類（古布・古着）です。

○使用済み小型家電のリサイクル回収

デジタルカメラや携帯電話、スマートフォン、ゲーム機等の小型家電には、鉄・アルミ・銅・貴金属・レアメタルといった有用な金属が含まれているため、これらのリサイクルを促進することを目的として、公共施設に設置の専用ボックス（5 か所）にて使用済み小型家電を回収しています。

○廃食用油のリサイクル回収

廃食用油については、回収する点から安全性を重視し、役場本庁舎と町立公民館の2箇所に回収ボックスを設置しています。また、給食で使用している廃食油のリサイクルも行っています。今後においては、回収拠点を大字・自治会単位まで拡大する検討も行っています。

3.前計画の目標値の達成状況

平成 30 年度策定の前計画は、令和 5 年度と令和 10 年度を中間年度、令和 15 年度を目標年度として目標値を設定していました。そこで、平成 30 年度から令和 6 年度について前計画の排出抑制策を推進した場合の目標と実績を比較しました。

3-1.ごみ排出量

平成 30 年度から令和 6 年度までのごみ排出量の目標値及び実績値の比較を表 3-3-1 及び図 3-3-1 に示します。

令和 6 年度では目標値 6,192.4 t に対して実績値が 5,778.4 t となり、令和 5 年度以降において達成できている状況にあります。

表 3-3-1 ごみ総排出量の達成状況

単位：t

	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	6,482.9	6,437.6	6,356.1	6,295.4	6,233.6	6,259.7	6,192.4
実績値	6,520.6	6,642.6	6,567.5	6,491.8	6,382.9	5,993.4	5,778.4

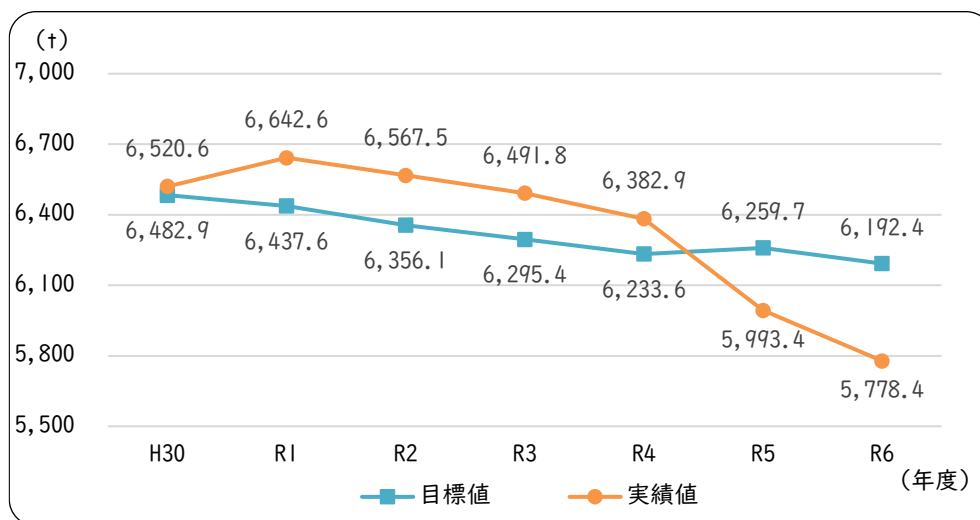


図 3-3-1 ごみ総排出量の達成状況

3-2.1 人1日平均ごみ排出量

平成30年度から令和6年度までの1人1日平均ごみ排出量の目標値及び実績値の比較を表3-3-2及び図3-3-2に示します。

令和6年度では目標値976.8g/人・日に対して実績値が966.3g/人・日となり、令和6年度のみ達成できている状況にあります。

表 3-3-2 1人1日平均ごみ排出量の達成状況

単位：g/人・日

	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	981.9	997.9	990.8	984.3	977.6	982.0	976.8
実績値	1,015.2	1,039.8	1,044.9	1,043.0	1,034.5	983.7	966.3

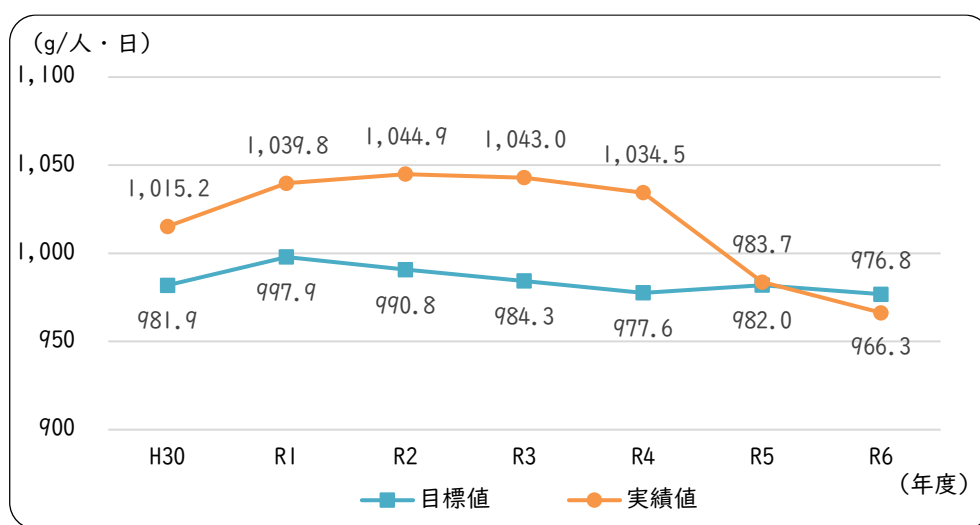


図 3-3-2 1人1日平均ごみ排出量の達成状況

3-3.資源化量

平成30年度から令和6年度までの資源化量の目標値及び実績値の比較を表3-3-3及び図3-3-3に示します。

令和6年度では目標値921.0tに対して実績値が561.6tとなり、いずれの年度においても達成できておらず、目標値から離れていく状況にあります。

表 3-3-3 資源化量の達成状況

単位：t

	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	892.6	893.4	889.3	889.3	888.0	906.0	921.0
実績値	829.2	788.0	733.4	718.6	674.9	598.5	561.6

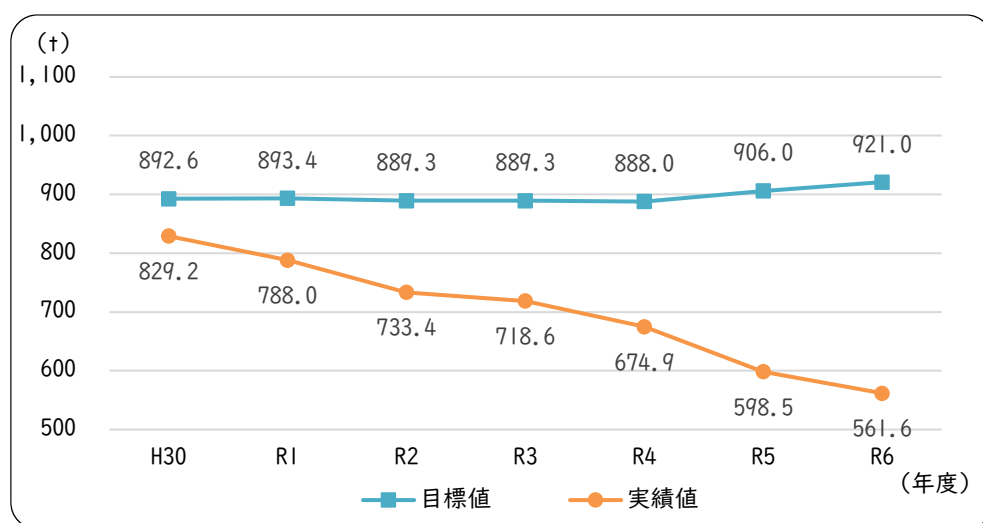


図 3-3-3 資源化量の達成状況

3-4.資源化率

平成30年度から令和6年度までの資源化率の目標値及び実績値の比較を表3-3-4及び図3-3-4に示します。

令和6年度では目標値14.9%に対して実績値が9.7%となり、いずれの年度においても達成できておらず、目標値から離れていく状況にあります。

表3-3-4 資源化率の達成状況

単位：％

	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	13.8	13.9	14.0	14.1	14.2	14.5	14.9
実績値	12.7	11.9	11.2	11.1	10.6	10.0	9.7

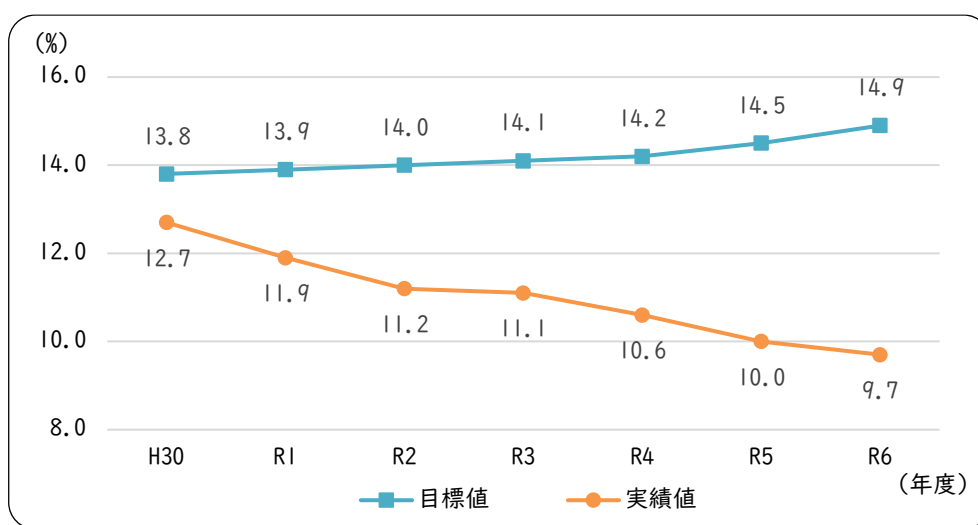


図3-3-4 資源化率の達成状況

3-5.最終処分量

平成30年度から令和6年度までの最終処分量の目標値及び実績値の比較を表3-3-5及び図3-3-5に示します。

令和6年度では目標値1,167.9tに対して実績値が990.1tとなり、令和3年度以降において達成できている状況にあります。

表 3-3-5 最終処分量の達成状況

単位：t

	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	1,266.1	1,252.6	1,231.3	1,214.0	1,197.3	1,189.9	1,167.9
実績値	1,363.9	1,348.1	1,348.3	1,089.9	1,078.4	1,065.4	990.1

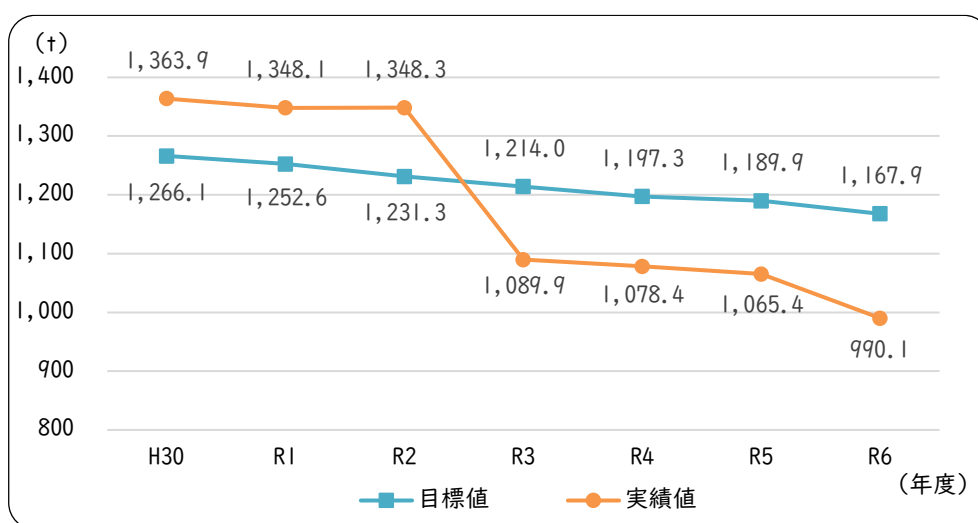


図 3-3-5 最終処分量の達成状況

3-6.最終処分率

平成30年度から令和6年度までの最終処分率の目標値及び実績値の比較を表3-3-6及び図3-3-6に示します。

令和6年度では目標値18.9%に対して実績値が17.1%となり、令和3年度以降において達成できている状況にあります。

表 3-3-6 最終処分率の達成状況

単位：％

	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	19.5	19.5	19.4	19.3	19.2	19.0	18.9
実績値	20.9	20.3	20.5	16.8	16.9	17.8	17.1

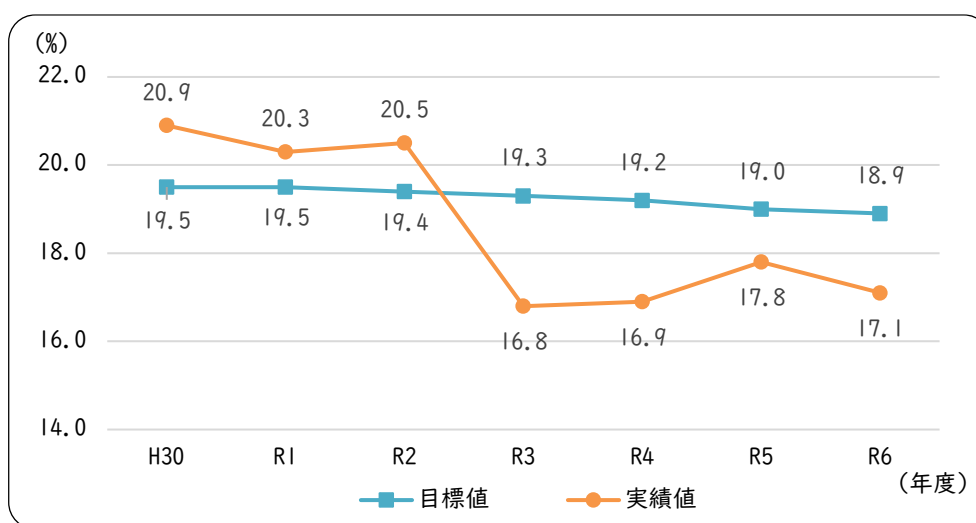


図 3-3-6 最終処分率

3-7. 施策の取組状況

平成30年度策定の前計画において、本町では基本理念及び基本方針1から4に基づき、ごみの減量・資源化のための施策に取り組んできました。ここでは取組の実施状況を整理します。

一部実施できていない取組については今後検討・実施していくものであり、概ね取組は実施できています。今後も継続してごみ減量・資源化を進めるとともに、町広報誌等を通じて3Rの推進及び各種施策を周知徹底していきます。

実施状況

○：取組を実施

△：取組を一部実施

×：未実施

■排出抑制・再資源化計画

方策	実施 状況	取組内容
1) ごみゼロ生活の推進		
① ごみとなるものを家庭に持ち込まない	○	3Rの推進として町広報誌に掲載し啓発
② 調理くず、食べ残し等の食品ロスを減らす	○	町広報誌に掲載し啓発
2) 事業系の自主的な取り組みの促進		
① 多量排出事業者に対する減量化計画策定・実施を進める	×	今後実施予定
② 事業者のごみ減量意識の向上を図る	○	事業者を各戸訪問し、チラシにて啓発
3) 各種リユースの促進		
① 不用品交換やフリーマーケット等のリユースの場をつくる	○	町のイベントにて実施
② リユース食器の利用を促進する	×	今後、調査・研究を行う
4) 廃棄物の再生利用の促進		
① 資源化率向上のために新たな分別区分を徹底する	○	小型家電回収ボックスを公共施設5か所に設置している
② 集団資源回収の支援を継続する	○	支援を継続して実施 ※助成金制度廃止の可能性あり

■収集・運搬計画

方策	実施 状況	取組内容
1) 新ごみ処理施設整備を踏まえた新収集・運搬体制の構築		
① 新収集・運搬体制を構築する	△	今後、粗大ごみ減量化施策を検討
② ごみ中継（積み替え）施設の整備を進める	○	まほろば環境衛生組合において実施 ※令和7年10月から稼働開始
2) 住民サービスの向上		
① 高齢化社会を踏まえ、住民サービスを向上する	○	「まごころ収集」を継続して実施
3) 事業系ごみの適正排出体制の構築		
① 事業系ごみの分別排出を徹底する	○	説明会を実施
② 事業系ごみ収集運搬業者の適正指導を行う	○	説明会を実施
③ 環境負荷の少ない収集車両を導入する	×	今後検討を行う

■中間処理計画

方策	実施 状況	取組内容
1) 既存施設の適正な維持管理		
① 既存施設の適正な維持管理に努める	○	随時修繕工事を実施 引き続き施設の保全・運用に努める
② 既存施設の負荷を減らす	×	今後、粗大ごみ減量化施策を検討
③ ごみ処理手数料及び一部指定ごみ袋料金の適正化に努める	×	引き続き調査・研究を行う
2) 循環型社会構築に貢献する施設の計画的整備		
① ごみ処理広域化を推進する	○	山辺・県北西部広域環境衛生組合に参画し、広域処理を開始
② 3Rを推進する	○	町広報誌に掲載し推進

■最終処分計画

方策	実施 状況	取組内容
1) 最終処分量の削減		
ごみ減量化・資源化の推進により、 最終処分量を削減します	○	町広報誌に減量化啓発記事を掲載
2) 広域最終処分場の安定的な確保		
広域最終処分場を安定的に確保し ます	○	広域処理を通して、安定的に確保

■その他の計画

方策	実施 状況	取組内容
1) 住民や事業者に対する情報発信・啓発活動		
① ごみ処理の責務の明確化	○	町広報誌に掲載及びパンフレットにて明確化
② ごみに関する情報提供の充実	○	町広報誌に掲載し周知
2) 適正処理困難物に対する対処方法		
① 適正処理困難物への対応強化	○	町内処理業者の紹介を行っている
② 在宅医療廃棄物の適正処理	×	今後実施予定
③ 不法投棄防止の推進	○	所要箇所に看板を設置

4.ごみ処理システムの評価

4-1.システム評価支援ツールによる評価

環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部廃棄物対策課の「市町村一般廃棄物処理システム評価支援ツール」（以下、「システム評価支援ツール」という。）を用い、令和5年度実績による本町のごみ処理システムの評価を行いました。システム評価支援ツールは、環境省の一般廃棄物処理実態調査結果に基づいて作成されたエクセルファイルであり、自治体名を入力すると、人口規模、産業構造について類似した市町村を抽出し、ごみ処理システムの特徴を表す5つの指標について、当該自治体と類似市町村（表3-4-1参照）の比較を行うことができます。

ごみ処理システムの評価結果は、レーダーチャートによって表されます。レーダーチャートには、当該自治体の実績（黒線）と、類似市町村の平均値（赤線）が示されており、5つの指標に関して、当該自治体と類似市町村を比較することができます。平均値（赤線）の外側に飛び出している指標は、当該自治体が類似市町村よりも優れていることを意味します。

レーダーチャートで用いる指標は、表3-4-2に示すとおり「人口1人1日当たりごみ総排出量」、「廃棄物からの資源回収率」、「廃棄物のうち最終処分される割合」、「人口1人当たり年間処理経費」、「最終処分減量に要する費用」の5つです。

表 3-4-1 類似市町村の概要

項目	内容	
都市形態	町村	
産業構造	2	Ⅱ次・Ⅲ次人口比率80%以上、 Ⅲ次人口比率55%以上
人口区分	10,000人以上、30,000人未満	
類似市町村数	80	

表 3-4-2 各指標の算出方法

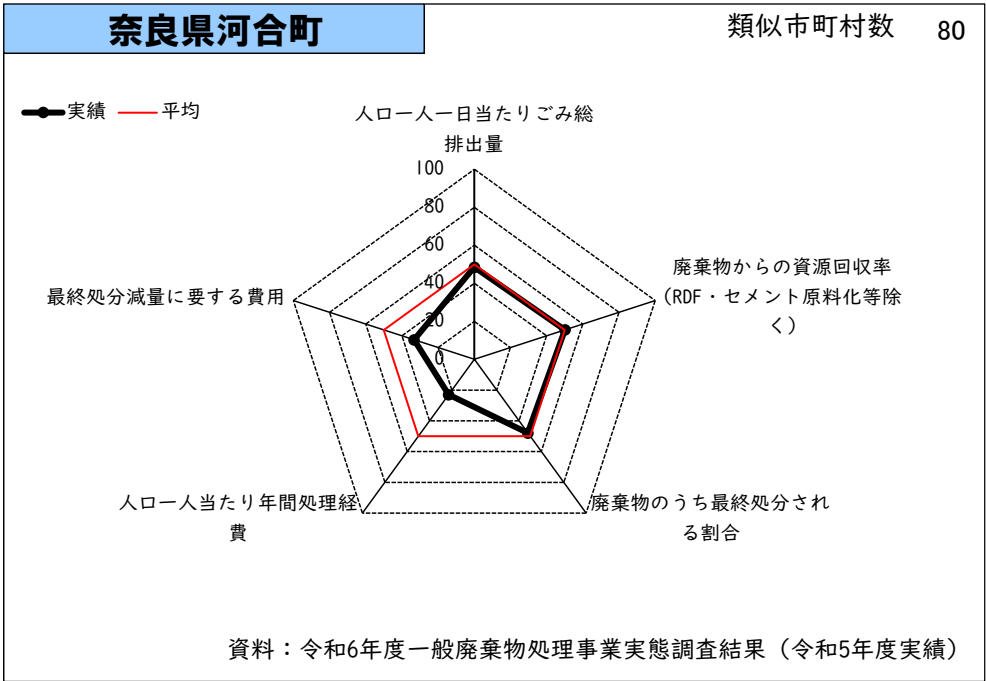
標準的な指標		算出方法	単位
廃棄物の発生	人口1人1日当たり ごみ総排出量	$= \text{ごみ総排出量} \div 365 \div \text{計画収集人口} \times 10^3$	kg/人・日
廃棄物の再生利用	廃棄物からの 資源回収率	$= \text{資源化量} \div \text{ごみ総排出量}$	t/t
最終処分	廃棄物のうち 最終処分される割合	$= \text{最終処分量} \div \text{ごみ総排出量}$	t/t
費用対効果	人口1人当たり 年間処理経費	$= \text{処理及び維持管理費} \div \text{計画収集人口}$	円/人・年
	最終処分減量 に要する費用	$= (\text{処理及び維持管理費} - \text{最終処分費} - \text{調査研究費}) \div (\text{ごみ総排出量} - \text{最終処分量})$	円/t

表 3-4-3 及び図 3-4-1 のレーダーチャートが示すように、本町の実績は「廃棄物からの資源回収率」のみ類似市町村の平均値と同等ですが、他の項目においては類似市町村の平均値の内側にあることから、本町は類似市町村より劣っています。

なお、本評価のデータは「環境省一般廃棄物処理実態調査（令和 5 年度）」によるものであるため、他章で整理したデータと一致しない場合があります。

表 3-4-3 実績と偏差値

標準的な指標	人口1人1日 当たりごみ 総排出量 (kg/人・日)	廃棄物からの資源 回収率 (t/t)	廃棄物のうち最終 処分される割合 (t/t)	人口1人1日 当たり年間 処理経費 (円/人・年)	最終処分減量に要 する費用 (円/t)
平均	0.884	0.184	0.098	17,417	58,451
最大	1.566	0.857	0.849	36,808	314,471
最小	0.499	0.047	0	5,747	28,551
標準偏差	0.204	0.124	0.13	7,175	36,494
当該市町村実績	0.915	0.185	0.125	36,808	119,555
指数値	48.5	50.1	47.9	23.0	33.3



※黒線が赤線の外側にある指標は、本町が類似市町村よりも優れていることを、
黒線が赤線の内側にある指標は、本町が類似市町村よりも劣っていることを示します。

図 3-4-1 河合町のごみ処理システムの評価

4-2.奈良県の市町村との比較

奈良県の市町村の1人1日平均ごみ排出量を図3-4-2に示します。

本町の1人1日平均ごみ排出量は915g/人・日で、奈良県の中では比較的多い自治体となっています。

単位：g/人・日

自治体	1人1日当たり排出量		
	家庭系ごみ	事業系ごみ	合計
下北山村	1,021	111	1,132
十津川村	752	322	1,074
天川村	1,044	0	1,044
上北山村	1,012	0	1,012
葛城市	686	264	950
吉野町	890	42	933
大和郡山市	643	288	931
御所市	643	281	924
野迫川村	775	147	922
王寺町	663	254	917
河合町	653	262	915
桜井市	631	283	914
大和高田市	558	352	910
天理市	582	320	902
平群町	689	211	900
東吉野村	885	4	889
五條市	637	247	884
橿原市	582	301	883
三郷町	745	129	874
明日香村	725	126	851
田原本町	568	271	839
上牧町	518	315	833
黒滝村	830	0	830
生駒市	628	195	823
川西町	619	189	808
曽爾村	806	0	806
高取町	794	0	794
奈良市	556	235	791
香芝市	605	176	781
宇陀市	629	147	776
広陵町	613	162	775
川上村	750	4	755
大淀町	612	138	749
山添村	593	136	729
斑鳩町	550	155	705
安堵町	621	81	702
御杖村	699	0	699
三宅町	622	71	693
下市町	549	0	549

出典：環境省「一般廃棄物処理実態調査」（令和5年度）

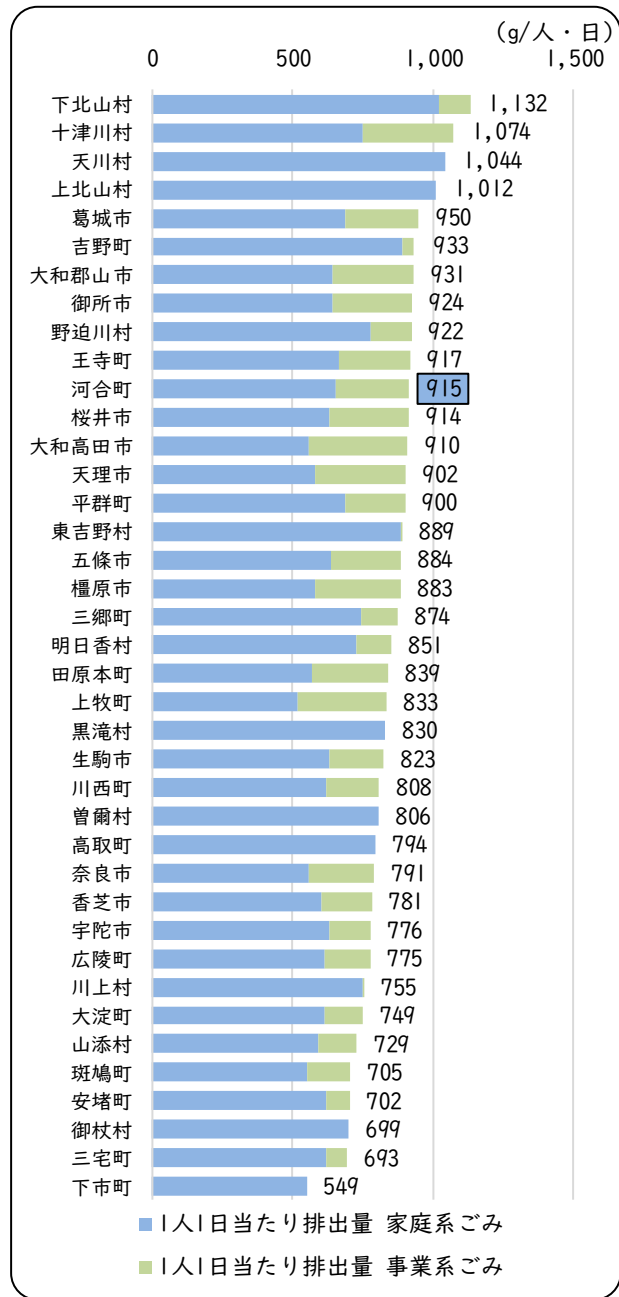
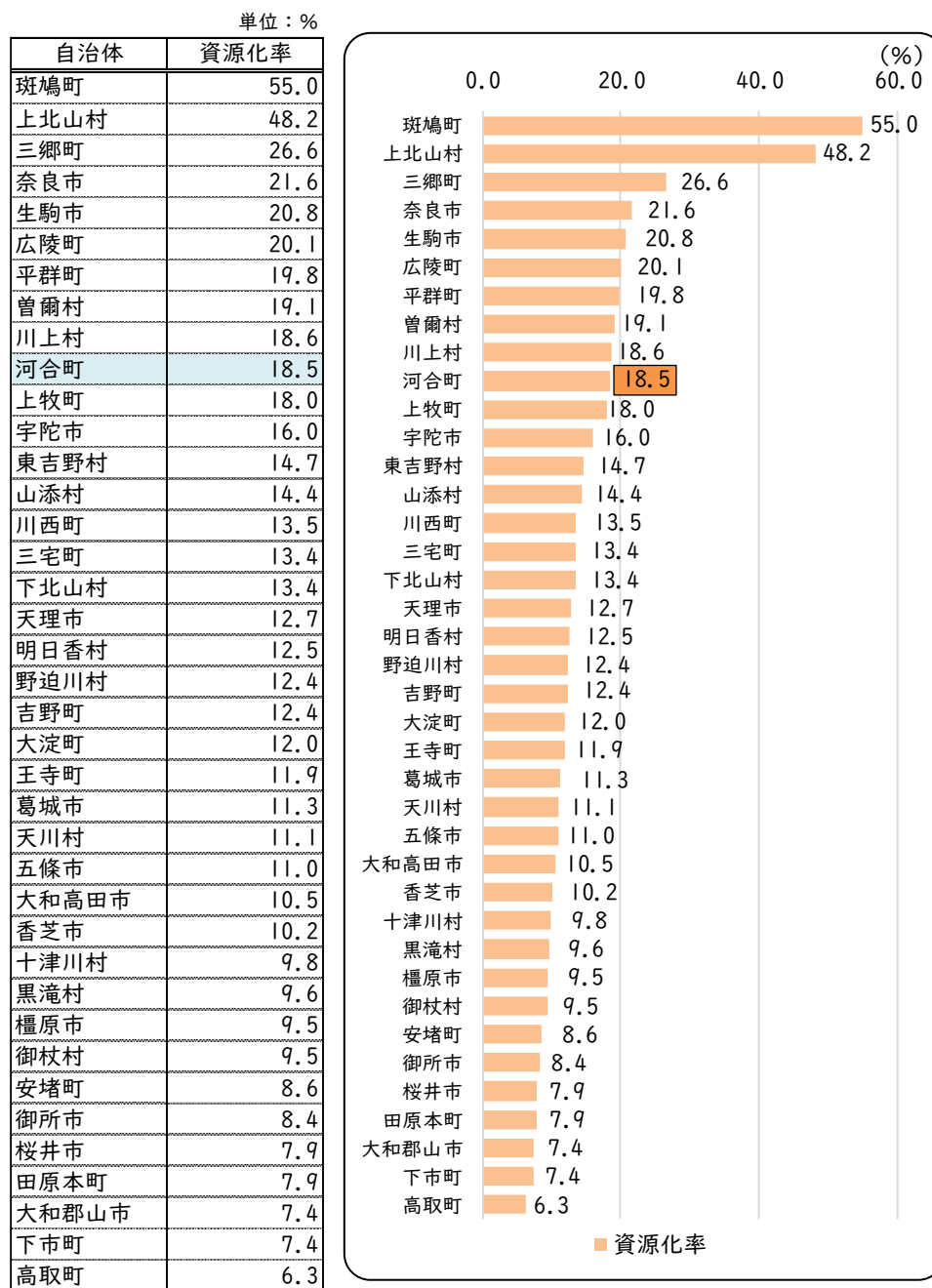


図3-4-2 奈良県の市町村の1人1日平均ごみ排出量

奈良県の市町村の資源化率を図 3-4-3 に示します。

本町の資源化率は 18.5%で、奈良県の中では比較的高い自治体となっています。



出典：環境省「一般廃棄物処理実態調査」（令和5年度）

図 3-4-3 奈良県の市町村の資源化率

5.課題の抽出

5－1.排出抑制

- ごみ組成分析調査の結果をみると、高い順から、紙類（49.35%）、ビニール・合成樹脂・ゴム・皮革類（19.37%）、厨芥類（13.85%）となっていることから、特に紙類の減量のごみ排出量の削減に効果的であると考えられます。
- ごみ処理システムの評価で示したように、本町の1人1日平均ごみ排出量は、人口規模や産業構造の類似した市町村と比較して若干多くなっているため、今後も住民・及び事業者のごみ減量に対する意識の向上を図る必要があります。

5－2.資源化

- 過去5年間の集団資源回収量は減少傾向にあり、今後は、集団資源回収への協力を呼びかけるとともに、そのあり方についても検討する必要があります。
- ごみ処理システムの評価で示したように、本町の資源化率は、人口規模や産業構造の類似した市町村と同等となっているため、今後も、リサイクル活動の取組の推進、支援を行う必要があります。

5－3.収集運搬

- 令和7年度中に、広域組合の新ごみ処理施設が稼働開始し、本町も新ごみ処理施設におけるごみ処理を開始しました。新ごみ処理施設への運搬については、中継施設で大型車に積み替える必要があり、それに伴い、運搬体制等の調整を行う必要があります。
- ごみ処理の広域化によってもやすごみの分別区分等が異なることから、住民及び事業者に対して情報提供を行い、徹底していく必要があります。

5－4.中間処理

- 既存の粗大ごみ処理施設は老朽化が進んでいますが、現施設を継続して利用するため、延命できるように定期的な部品交換、修繕及び清掃を行い、施設の更新を検討していく必要があります。

5－5.最終処分

- 本町では、容器包装廃棄物や破碎後の残渣等については、民間業者に処分を委託しています。
- ごみ処理システムの評価で示したように、本町の最終処分される廃棄物の割合は、人口規模や産業構造の類似した市町村と比較し若干高くなっています。原因のひとつとして、紙類等の資源物を焼却処理していることが考えられるため、今後は、分別区分を増やしたり、掲示物により分別を促進する等、可燃ごみに含まれる資源物の分別を徹底し、最終処分量の削減に努める必要があります。

第4章 ごみ処理基本計画

1.計画人口

将来のごみの排出量の予測を行うにあたって必要となる将来人口の予測結果を表4-1-1及び図4-1-1に示します。

将来人口としては、本町が令和7年3月に策定した「河合町総合計画」における目標人口を用いて算出しています。

表4-1-1 将来人口の予測結果

	年度	人口
実績	R2	17,372
	R3	17,192
	R4	16,986
	R5	16,750
	R6	16,497
予測	R7	16,347
	R8	16,197
	R9	16,047
	R10	15,897
	R11	15,747
	R12	15,597
	R13	15,447
	R14	15,297
	R15	15,147
	R16	15,000
	R17	14,885
	R18	14,770
	R19	14,655
	R20	14,540
	R21	14,425
	R22	14,308

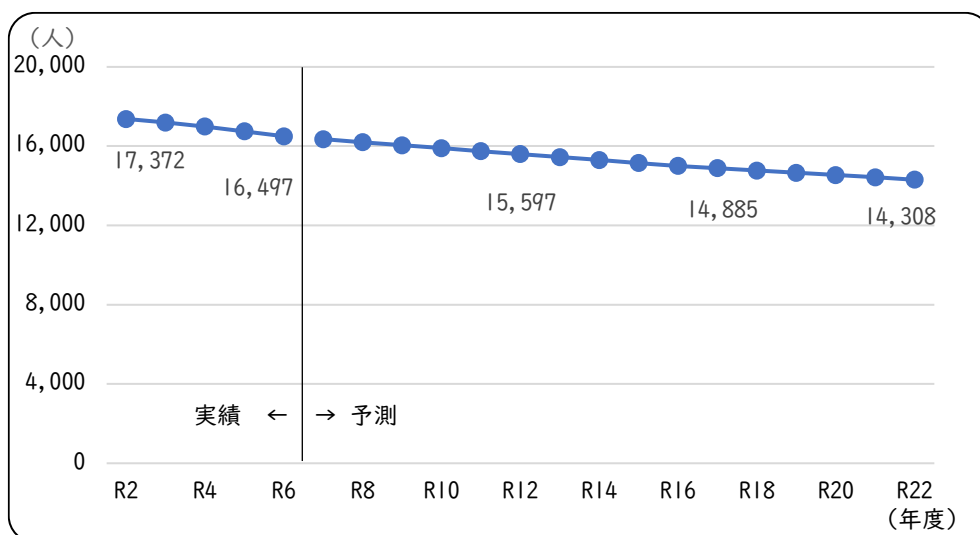


図4-1-1 将来人口の予測結果

2.将来のごみ排出量・処理量（現状のまま推移した場合）

2-1.将来のごみ排出量

現状のまま推移した場合の将来のごみ排出量の予測結果を表4-2-1及び図4-2-1に示します。

人口が減少すると予測されることから、家庭系ごみ、事業系ごみ、有害ごみ、集団資源回収については減少傾向になっていますが、一般持込については増加傾向と予測されます。

年間ごみ排出量は減少傾向になると予測され、目標年度の令和22年度におけるごみ総排出量は5,006.6tとなります。

表4-2-1 将来の年間ごみ排出量（現状のまま推移した場合）

単位：t

		実績	予測			増減
		R6	R12	R17	R22	
人口（人）		16,497	15,597	14,885	14,308	-2,189
家庭系		3,005.3	2,634.1	2,414.0	2,242.5	-762.8
	可燃ごみ	2,287.5	2,016.4	1,847.9	1,715.6	-571.9
	不燃ごみ	558.3	483.3	444.6	415.1	-143.2
	廃プラスチック	363.1	319.9	295.3	275.7	-87.4
	粗大ごみ(鉄くず含む)	195.2	163.4	149.3	139.4	-55.8
	資源ごみ	159.5	134.4	121.5	111.8	-47.7
	かん・びん	119.4	99.1	88.3	79.9	-39.5
一般持込	ペットボトル	40.1	35.3	33.2	31.9	-8.2
		518.8	639.5	730.9	813.0	294.2
	可燃ごみ	472.3	559.6	648.3	729.0	256.7
	不燃ごみ	45.9	79.1	81.7	83.0	37.1
	廃プラスチック	10.3	8.5	7.6	7.3	-3.0
	粗大ごみ(鉄くず含む)	35.6	70.6	74.1	75.7	40.1
	資源ごみ	0.6	0.8	0.9	1.0	0.4
事業系	かん・びん、ペットボトル	0.6	0.8	0.9	1.0	0.4
		1,855.4	1,826.8	1,762.4	1,699.9	-155.5
	可燃ごみ	1,849.1	1,821.7	1,758.6	1,696.8	-152.3
	粗大ごみ(可燃)	6.3	5.1	3.8	3.1	-3.2
計	粗大ごみ(鉄くず含む)	6.3	5.1	3.8	3.1	-3.2
		5,379.5	5,100.4	4,907.3	4,755.4	-624.1
	可燃ごみ	4,608.9	4,397.7	4,254.8	4,141.4	-467.5
	不燃ごみ	570.3	539.6	504.5	477.7	-92.6
	廃プラスチック	373.4	328.4	302.9	283.0	-90.4
	粗大ごみ	196.9	211.2	201.6	194.7	-2.2
	資源ごみ	200.3	163.1	148.0	136.3	-64.0
有害ごみ	かん・びん、ペットボトル	160.1	135.2	122.4	112.8	-47.3
	鉄くず	40.2	27.9	25.6	23.5	-16.7
		4.1	4.0	3.8	3.7	-0.4
集団資源回収		394.8	329.1	283.2	247.5	-147.3
	新聞紙	131.8	107.6	90.4	77.8	-54.0
	雑誌	134.4	111.0	96.4	85.1	-49.3
	段ボール	80.4	65.5	54.5	45.4	-35.0
	紙パック	0.8	0.6	0.5	0.5	-0.3
	古着類	36.6	35.3	33.8	32.4	-4.2
	かん	10.8	9.1	7.6	6.3	-4.5
合計		5,778.4	5,433.5	5,194.3	5,006.6	-771.8

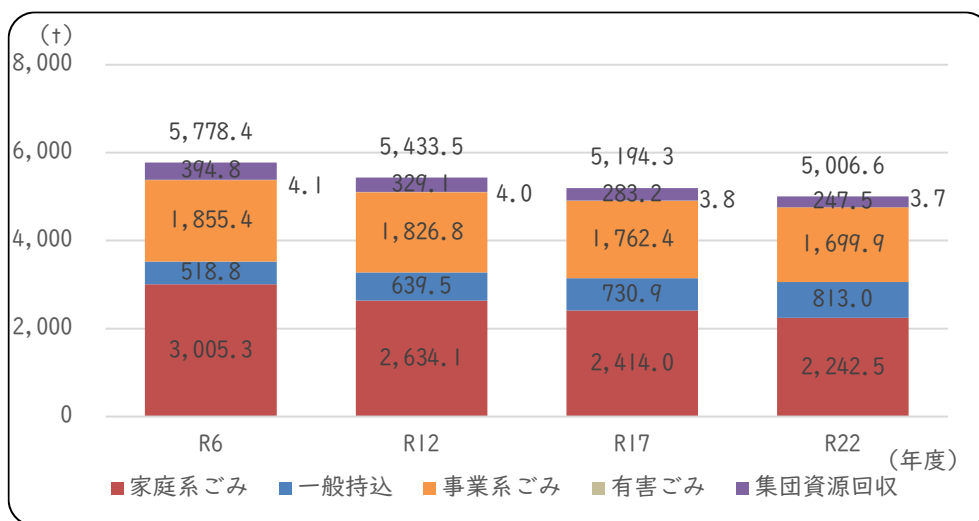


図 4-2-1 将来の年間ごみ排出量(現状のまま推移した場合)

2-2.将来の1人1日平均ごみ排出量

現状のまま推移した場合の将来の1人1日平均ごみ排出量の予測結果を表4-2-2及び図4-2-2に示します。

家庭系ごみ排出量と集団資源回収量については減少傾向が続くと予測されますが、一般持込ごみ排出量と事業系ごみ排出量については、増加傾向になると予測されます。

平均ごみ排出量はほぼ横ばいで推移すると予測され、目標年度の令和22年度では958.7g/人・日となります。

表4-2-2 将来の平均ごみ排出量（現状のまま推移した場合）

単位：g/人・日

		実績	予測			増減
		R6	R12	R17	R22	
人口（人）		16,497	15,597	14,885	14,308	-2,189.0
家庭系		499.1	462.7	443.1	429.4	-69.7
	可燃ごみ	379.9	354.2	339.2	328.5	-51.4
	不燃ごみ	92.7	84.9	81.6	79.5	-13.2
	廃プラスチック	60.3	56.2	54.2	52.8	-7.5
	粗大ごみ(鉄くず含む)	32.4	28.7	27.4	26.7	-5.7
	資源ごみ	26.5	23.6	22.3	21.4	-5.1
	かん・びん	19.8	17.4	16.2	15.3	-4.5
	ペットボトル	6.7	6.2	6.1	6.1	-0.6
一般持込		86.1	112.3	134.2	155.7	69.6
	可燃ごみ	78.4	98.3	119.0	139.6	61.2
	不燃ごみ	7.6	13.9	15.0	15.9	8.3
	廃プラスチック	1.7	1.5	1.4	1.4	-0.3
	粗大ごみ(鉄くず含む)	5.9	12.4	13.6	14.5	8.6
	資源ごみ	0.1	0.1	0.2	0.2	0.1
	かん・びん、ペットボトル	0.1	0.1	0.2	0.2	0.1
事業系		308.1	320.9	323.5	325.5	17.4
	可燃ごみ	307.1	320.0	322.8	324.9	17.8
	粗大ごみ(可燃)	1.0	0.9	0.7	0.6	-0.4
	粗大ごみ(鉄くず含む)	1.0	0.9	0.7	0.6	-0.4
計		893.3	895.9	900.8	910.6	17.3
	可燃ごみ	765.4	772.5	781.0	793.0	27.6
	不燃ごみ	94.6	94.8	92.6	91.5	-3.1
	廃プラスチック	62.0	57.7	55.6	54.2	-7.8
	粗大ごみ	32.6	37.1	37.0	37.3	4.7
	資源ごみ	33.3	28.6	27.2	26.1	-7.2
	かん・びん、ペットボトル	26.6	23.7	22.5	21.6	-5.0
	鉄くず	6.7	4.9	4.7	4.5	-2.2
有害ごみ		0.7	0.7	0.7	0.7	0.0
集団資源回収		65.6	57.8	52.0	47.4	-18.2
	新聞紙	22.0	18.9	16.6	14.9	-7.1
	雑誌	22.3	19.5	17.7	16.3	-6.0
	段ボール	13.3	11.5	10.0	8.7	-4.6
	紙パック	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0
	古着類	6.1	6.2	6.2	6.2	0.1
	かん	1.8	1.6	1.4	1.2	-0.6
合計		959.6	954.4	953.5	958.7	-0.9

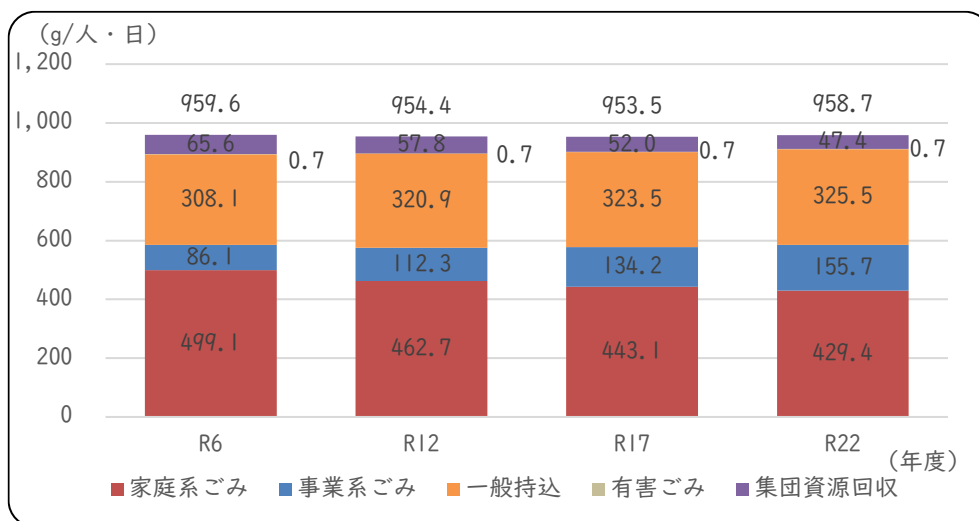


図 4-2-2 将来の平均ごみ排出量（現状のまま推移した場合）

2-3. 将来の焼却処理量、資源化量、最終処分量

現状のまま推移した場合の将来の焼却処理量、資源化量、最終処分量の予測結果を表 4-2-3 に、将来の資源化量、資源化率の予測結果を図 4-2-3 に、将来の最終処分量、最終処分率の予測結果を図 4-2-4 に示します。

資源化率は減少、最終処分率は増加すると予測され、目標年度の令和 22 年度では、資源化率は 7.6%、最終処分率は 18.1%となります。

表 4-2-3 将来の焼却処理量、資源化量、最終処分量（現状のまま推移した場合）

単位：t

	実績	予測		
	R6	R12	R17	R22
人口（人）	16,497	15,597	14,885	14,308
総排出量	5,778.4	5,100	4,907	4,755
焼却処理量	4,560.3	4,351.3	4,210.0	4,097.7
焼却量（1号炉）	2,466.8			
焼却量（2号炉）	2,093.5			
資源化量	561.6	463.9	405.7	360.4
新聞紙	131.8	107.6	90.4	77.8
雑誌	134.4	111.0	96.4	85.1
段ボール	80.4	65.5	54.5	45.4
紙パック	0.8	0.6	0.5	0.5
古着類	36.6	35.3	33.8	32.4
かん・びん	95.9	81.0	72.9	66.8
ペットボトル	41.5	35.0	31.6	28.9
鉄くず	40.2	27.9	25.6	23.5
小型家電	—	—	—	—
資源化率（%）	9.7	9.1	8.3	7.6
最終処分量	990.1	940.6	894.3	858.5
焼却灰	479.0	457.0	442.2	430.4
破碎ごみ・廃プラスチック	511.1	483.6	452.1	428.1
最終処分率（%）	17.1	18.4	18.2	18.1

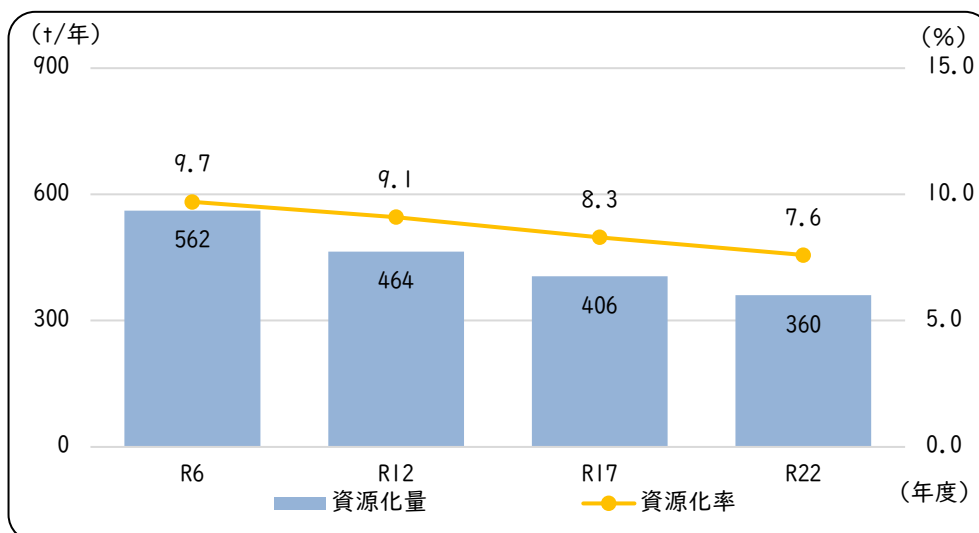


図 4-2-3 将来の資源化量、資源化率（現状のまま推移した場合）

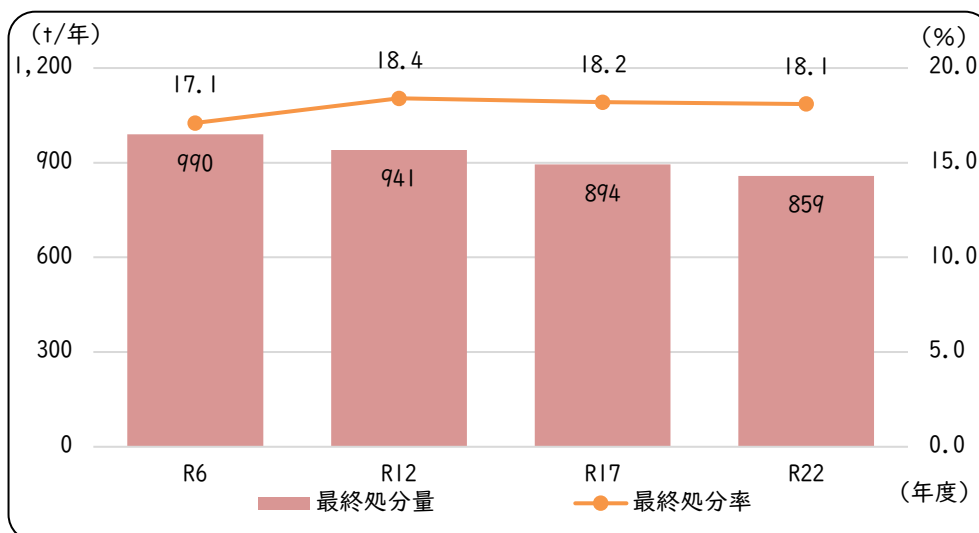


図 4-2-4 将来の最終処分量、最終処分率（現状のまま推移した場合）

3.ごみ処理の基本理念・基本方針

3-1.ごみ処理の基本理念

本町のごみ処理の基本理念は、前計画から引き続き広域組合の基本理念を採用し、以下のよう
に定めます。

基本理念 排出抑制を最優先にした資源循環型社会の形成

3-2.ごみ処理の基本方針

ごみ処理の基本方針は、前計画から引き続き広域組合の基本方針を参考に、以下の 4 つを掲げ
ます。

基本方針 1 排出抑制を最優先にした、ごみの減量・資源化の促進

排出抑制の意義と 3R の優先順位の周知を図り、普及啓発等を通じ、住民、事業者、
行政でパートナーシップを構築し、一体となっておみのも減量化・資源化を促進します。

基本方針 2 ごみ処理サービスの向上

ごみ処理の広域化にともない、分別区分等、ごみ処理体制も変化させる必要があります。
住民の方々の理解を得られるよう十分な情報提供に行うとともに、ごみ処理サービスの
向上に努めます。

基本方針 3 計画的な施設整備の推進

新ごみ処理施設への搬入のために、ごみを大型車に積み替えるための可燃ごみ中継施設
を稼働しています。不燃ごみ、粗大ごみ及び資源ごみについては、広域処理参画について
引き続き検討します。自己処理となった場合は、計画的な施設整備を行い、適切な管理に
努めます。

基本方針 4 安心・安全・安定な廃棄物処理の仕組みの構築

常時、安心・安全・安定な廃棄物処理を行います。また、大規模災害発生等の事態を想
定し、非常時においても安心、安全に廃棄物の処理を実施できる体制を整備できるよう、
事業継続計画（BCP）を定めることに努めます。

4.数値目標

以下のような方針に基づき、本町の実績や可燃分中の組成分析調査結果を踏まえた上で目標値を設定します。

方針１：食品ロスの削減、マイバッグ運動の促進等により、令和 22 年度までにごみ総排出量を 25%以上、１人１日平均ごみ排出量を 13%以上減少します。

方針２：資源物の分別徹底の啓発と集団資源回収の利用促進、小型家電製品の資源化等により、令和 22 年度までに資源化量を 15%程度の減少にとどめ、資源化率を 12%以上にします。

方針３：これまで不燃粗大ごみから最終処分されていたものから資源化できるものを資源物として取り除くこと等により、令和 22 年度までに最終処分量を 35%以上減少させ、最終処分率を現状より 1%低下します。

本計画における数値目標を表 4-4-1 に、本計画における目標年度の数値目標の設定根拠を表 4-4-2 に示します。

表 4-4-1 本計画の数値目標

目標項目	単位	現状	目標			
		基準年度	中間目標年度	中間目標年度	目標年度	
		R6	R12	R17	R22	
ごみ総排出量	ｔ	5,778.4	5,184.8	4,739.6	4,330.6	
R6比	—	—	▲ 593.6	▲ 1,038.8	▲ 1,447.8	
	%	—	▲ 10.3	▲ 18.0	▲ 25.1	
1人1日平均ごみ排出量	g/人・日	959.6	910.8	870.0	829.2	
R6比	—	—	▲ 48.8	▲ 89.6	▲ 130.4	
	%	—	▲ 5.1	▲ 9.3	▲ 13.6	
資源化量	ｔ	561.6	521.9	498.9	477.4	
R6比	—	—	▲ 39.7	▲ 62.7	▲ 84.2	
	%	—	▲ 7.1	▲ 11.2	▲ 15.0	
資源化率	%	9.7	10.9	11.4	12.0	
R6比	—	—	1.2	1.7	2.3	
	%	—	12.4	17.5	23.7	
最終処分量	ｔ	990.1	770.9	703.3	641.1	
R6比	—	—	▲ 219.2	▲ 286.8	▲ 349.0	
	%	—	▲ 22.1	▲ 29.0	▲ 35.2	
最終処分率	%	17.1	16.0	16.1	16.1	
R6比	—	—	▲ 1.1	▲ 1.0	▲ 1.0	
	%	—	▲ 6.4	▲ 5.8	▲ 5.8	

表 4-4-2 数値目標の設定根拠

数値目標項目	設定根拠
ごみ総排出量	現状のまま推移した場合の予測結果では、ごみ総排出量は 13%程度の減少（令和 6 年度実績 5,778.4t/年に対して令和 22 年度予測 5,006.6t/年）、1 人 1 日平均ごみ排出量はほぼ横ばい（令和 6 年度実績 959.6g/人・日に対して令和 22 年度予測 958.7g/人・日）となります。 本町でこれまで実施してきた可燃分中の組成分析調査結果の過去 5 年間平均で
1 人 1 日平均ごみ排出量	49.35%を占める紙・布類の減量と、厨芥類の減量を重点的に実施するとともに、これまで実施してきた取り組みとその啓発の徹底、可燃ごみに限らずプラスチック類や粗大ごみ等の不燃ごみを減量することにより、<u>令和 6 年度を基準とした令和 22 年度におけるごみ総排出量を 25%以上削減、1 人 1 日平均ごみ排出量を 13%以上削減</u>することを目標とします。
資源化量	現状のまま推移した場合の予測結果では、資源化率は令和 22 年度に 7.6%となり、資源化量も減少（令和 6 年度実績 561.6t/年に対して令和 22 年度予測 360.4t/年）となります。 本町で実施した可燃分中の組成分析調査結果で半数近くを占める紙・布類を、適切な分別区分である資源ごみとして排出することを徹底することにより資源化量を増加させます。さらに、小型家電製品の資源化と、集団資源回収の積極的な活用により、<u>令和 22 年度における資源化率を 12.0%に</u>することを目標とします。そのために、<u>令和 6 年度を基準年度とした令和 22 年度における資源化量の減少を 15%程度にとどめる</u>ことを目標とします。
資源化率	
最終処分量	現状のまま推移した場合の予測では、最終処分量は若干減少（令和 6 年度実績 990.1t/年に対して令和 22 年度予測 858.5t/年）となります。 適切な分別区分での排出を徹底し、焼却する量を減らすこと等で最終的に処分される量を削減することにより、<u>令和 6 年度を基準年度とした令和 22 年度における最終処分量を 35%以上削減</u>することを目標とします。それに伴い、<u>令和 22 年度における最終処分率を現状より 1%低下</u>させることを目標とします。
最終処分率	

5.将来のごみ排出量・処理量（数値目標を達成した場合）

5-1.将来のごみ排出量

数値目標を達成した場合の将来のごみ排出量を表4-5-1及び図4-5-1に示します。

ごみ総排出量は、令和6年度実績の5,778.4tから令和22年度時点で4,330.6tにすることを目指します。

表4-5-1 将来のごみ排出量（数値目標を達成した場合）

単位：t

		実績	目標			増減
		R6	R12	R17	R22	
人口（人）		16,497	15,597	14,885	14,308	-2,189
家庭系		3,005.3	2,598.8	2,293.6	2,013.3	-992.0
	可燃ごみ	2,287.5	1,959.9	1,713.8	1,487.9	-799.6
	不燃ごみ	558.3	488.1	435.4	387.0	-171.3
	廃プラスチック	363.1	317.5	283.2	251.7	-111.4
	粗大ごみ(鉄くず含む)	195.2	170.6	152.2	135.3	-59.9
	資源ごみ	159.5	150.8	144.4	138.4	-21.1
	かん・びん ペットボトル	119.4 40.1	112.7 38.1	107.9 36.5	103.4 35.0	-16.0 -5.1
一般持込		518.8	586.2	637.5	684.7	165.9
	可燃ごみ	472.3	530.0	573.9	614.2	141.9
	不燃ごみ	45.9	55.2	62.3	68.9	23.0
	廃プラスチック	10.3	9.0	8.1	7.3	-3.0
	粗大ごみ(鉄くず含む)	35.6	46.2	54.2	61.6	26.0
	資源ごみ かん・びん、ペットボトル	0.6 0.6	1.0 1.0	1.3 1.3	1.6 1.6	1.0 1.0
事業系		1,855.4	1,621.8	1,446.7	1,285.7	-569.7
	可燃ごみ	1,849.1	1,617.2	1,443.1	1,283.1	-566.0
	粗大ごみ(可燃)	6.3	4.6	3.6	2.6	-3.7
	粗大ごみ(鉄くず含む)	6.3	4.6	3.6	2.6	-3.7
計		5,379.5	4,806.8	4,377.8	3,983.7	-1,395.8
	可燃ごみ	4,608.9	4,107.1	3,730.8	3,385.2	-1,223.7
	不燃ごみ	570.3	520.0	475.7	435.0	-135.3
	廃プラスチック	373.4	326.5	291.3	259.0	-114.4
	粗大ごみ	196.9	193.5	184.4	176.0	-20.9
	資源ごみ	200.3	179.7	171.3	163.5	-36.8
	かん・びん、ペットボトル 鉄くず	160.1 40.2	151.8 27.9	145.7 25.6	140.0 23.5	-20.1 -16.7
有害ごみ		4.1	4.0	3.8	3.7	-0.4
集団資源回収		394.8	374.0	358.0	343.2	-51.6
	新聞紙	131.8	125.2	119.9	114.9	-16.9
	雑誌	134.4	127.0	121.5	116.5	-17.9
	段ボール	80.4	75.7	72.5	69.5	-10.9
	紙パック	0.8	0.6	0.5	0.5	-0.3
	古着類	36.6	35.3	33.8	32.4	-4.2
	かん	10.8	10.2	9.8	9.4	-1.4
合計		5,778.4	5,184.8	4,739.6	4,330.6	-1,447.8

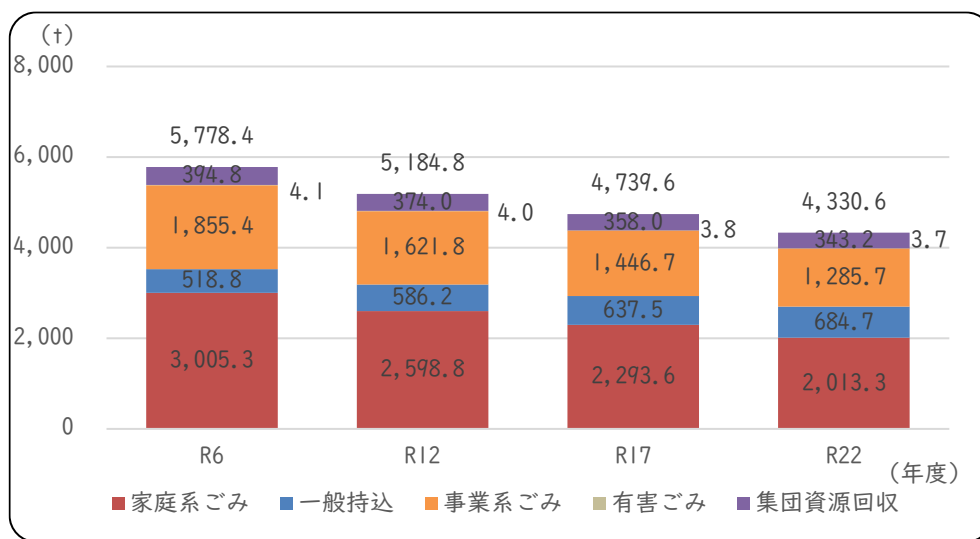


図 4-5-1 将来のごみ排出量(数値目標を達成した場合)

5-2.将来の1人1日平均ごみ排出量

数値目標を達成した場合の将来の1人1日平均ごみ排出量を表4-5-2及び図4-5-2に示します。

1人1日平均ごみ排出量は、令和6年度実績の959.6g/人・日から令和22年度時点で830g/人・日以下にすることを目指します。

表4-5-2 将来の1人1日平均ごみ排出量（数値目標を達成した場合）

単位：g/人・日

		実績	目標			増減
		R6	R12	R17	R22	
人口（人）		16,497	15,597	14,885	14,308	-2,189.0
家庭系		499.1	456.5	421.0	385.5	-113.6
	可燃ごみ	379.9	344.3	314.6	284.9	-95.0
	不燃ごみ	92.7	85.7	79.9	74.1	-18.6
	廃プラスチック	60.3	55.8	52.0	48.2	-12.1
	粗大ごみ(鉄くず含む)	32.4	30.0	27.9	25.9	-6.5
	資源ごみ	26.5	26.5	26.5	26.5	0.0
	かん・びん	19.8	19.8	19.8	19.8	0.0
	ペットボトル	6.7	6.7	6.7	6.7	0.0
一般持込		86.1	103.0	117.0	131.1	45.0
	可燃ごみ	78.4	93.1	105.4	117.6	39.2
	不燃ごみ	7.6	9.7	11.5	13.2	5.6
	廃プラスチック	1.7	1.6	1.5	1.4	-0.3
	粗大ごみ(鉄くず含む)	5.9	8.1	10.0	11.8	5.9
	資源ごみ	0.1	0.2	0.2	0.3	0.2
	かん・びん、ペットボトル	0.1	0.2	0.2	0.3	0.2
事業系		308.1	284.9	265.5	246.2	-61.9
	可燃ごみ	307.1	284.1	264.9	245.7	-61.4
	粗大ごみ(可燃)	1.0	0.8	0.7	0.5	-0.5
	粗大ごみ(鉄くず含む)	1.0	0.8	0.7	0.5	-0.5
計		893.3	844.4	803.6	762.8	-130.5
	可燃ごみ	765.4	721.5	684.8	648.2	-117.2
	不燃ごみ	94.6	91.3	87.3	83.3	-11.3
	廃プラスチック	62.0	57.4	53.5	49.6	-12.4
	粗大ごみ	32.6	34.0	33.8	33.7	1.1
	資源ごみ	33.3	31.6	31.4	31.3	-2.0
	かん・びん、ペットボトル	26.6	26.7	26.7	26.8	0.2
	鉄くず	6.7	4.9	4.7	4.5	-2.2
有害ごみ		0.7	0.7	0.7	0.7	0.0
集団資源回収		65.6	65.7	65.7	65.7	0.1
	新聞紙	22.0	22.0	22.0	22.0	0.0
	雑誌	22.3	22.3	22.3	22.3	0.0
	段ボール	13.3	13.3	13.3	13.3	0.0
	紙パック	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0
	古着類	6.1	6.2	6.2	6.2	0.1
	かん	1.8	1.8	1.8	1.8	0.0
合計		959.6	910.8	870.0	829.2	-130.4

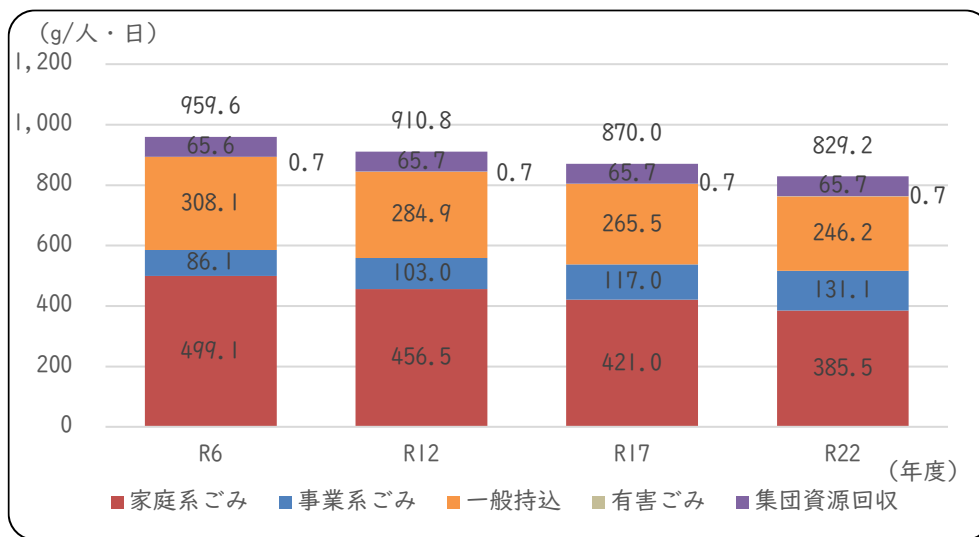


図 4-5-2 将来の 1 人 1 日平均ごみ排出量 (数値目標を達成した場合)

5-3. 将来の焼却処理量、資源化量、最終処分量

数値目標を達成した場合の将来の焼却処理量、資源化量、最終処分量を表 4-5-3 に、将来の資源化量、資源化率を図 4-5-3 に、将来の最終処分量、最終処分率を図 4-5-4 示します。

資源化率は、令和 6 年度実績の 9.7%から令和 22 年度時点で 12.0%にすることを目指します。

また、最終処分率は、令和 6 年度実績の 17.1%から令和 22 年度時点で 16.1%にすることを目指します。

表 4-5-3 将来の焼却処理量、資源化量、最終処分量（数値目標を達成した場合）

単位：t

	実績	予測		
	R6	R12	R17	R22
人口（人）	16,497	15,597	14,885	14,308
総排出量	5,778.4	4,807	4,378	3,984
焼却処理量	4,560.3	4,063.8	3,691.5	3,349.5
焼却量（1号炉）	2,466.8			
焼却量（2号炉）	2,093.5			
資源化量	561.6	521.9	498.9	477.4
新聞紙	131.8	125.2	119.9	114.9
雑誌	134.4	127.0	121.5	116.5
段ボール	80.4	75.7	72.5	69.5
紙パック	0.8	0.6	0.5	0.5
古着類	36.6	35.3	33.8	32.4
かん・びん	95.9	90.9	87.3	83.8
ペットボトル	41.5	39.3	37.8	36.3
鉄くず	40.2	27.9	25.6	23.5
小型家電	—	—	—	—
資源化率（%）	9.7	10.9	11.4	12.0
最終処分量	990.1	770.9	703.3	641.1
焼却灰	479.0	304.9	277.0	251.3
破砕ごみ・廃プラスチック	511.1	466.0	426.3	389.8
最終処分率（%）	17.1	16.0	16.1	16.1

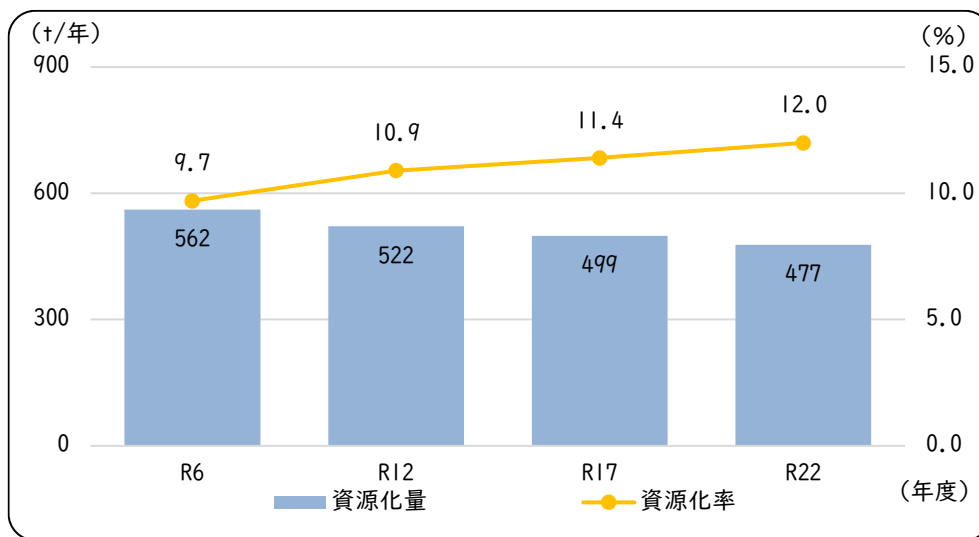


図 4-5-3 将来の資源化量、資源化率（数値目標を達成した場合）

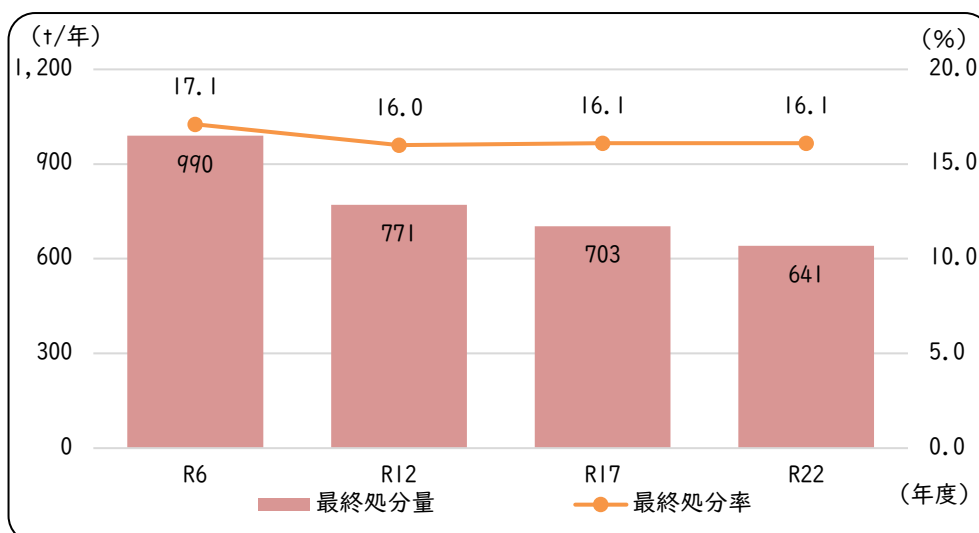


図 4-5-4 将来の最終処分量、最終処分率（数値目標を達成した場合）

6.将来のごみ処理体制

6-1.将来のごみ分別区分

本計画の計画目標年度である令和 22 年度におけるごみ分別区分を表 4-6-1 に示します。なお、以下のごみ分別区分は、現時点で計画している内容であり、今後の協議により変更する可能性があります。

表 4-6-1 将来のごみ分別区分

品目		ごみの例
収集・自己搬入	もやすごみ	生ごみ（野菜・魚・肉等の調理くず、茶殻等）、紙くず（雑がみ、ティッシュペーパー、紙おむつ等）、木くず（落ち葉、木片、草、剪定枝等）、布くず（布きれ、靴下等）、ふとん類（ふとん、毛布、ざぶとん等）、汚れているプラスチック製容器包装・ペットボトル（調味料のチューブ、お菓子の袋、惣菜等のトレイ、ソースのペットボトル等）、プラスチック使用製品（プラ製文房具、プラ製のおもちゃ、プラ製のハンガー等）
	もやさないごみ	ガラス・瀬戸物類（陶器・ガラスコップ等）、金属類（鍋、フライパン、スプーン、刃物類）、小型電化製品（指定袋に入る大きさの家電製品）
	粗大ごみ	大型家電製品（指定袋に入らない家電製品）、家具類（たんす、机、ベッド等）、建具類（ふすま、障子等）
	ペットボトル	飲料用、酒類、調味料用のペットボトル
	びん	びん（飲み物等のびん）
	かん	かん（スチール缶、アルミ缶）
	容器包装プラスチック	汚れていないプラスチック製容器包装（プラマークのついているプラスチック容器・トレイ）
	有害ごみ	蛍光管、電池（乾電池・ボタン電池）水銀計（水銀体温計・水銀温度計）
拠点	使用済み小型家電	携帯電話・PHS・パソコン・タブレット、電話機（ファクシミリ含む）、携帯型ラジオ、デジタルカメラ・ビデオカメラ・フィルムカメラ、映像用機器（DVDビデオ・HDDレコーダー・BDレコーダー/プレイヤー・ビデオテープレコーダー・チューナー・STB）、音響機器（MDプレイヤー・携帯音楽プレイヤー（フラッシュメモリ）（HDD）・CDプレイヤー・テープレコーダー・ヘッドホン及びイヤホン・ICレコーダー・補聴器）、補助記憶装置（ハードディスク・USBメモリ・メモリカード）、電子書籍端末、電子辞書・電卓、電子血圧計・電子体温計、理容用機器（ヘアドライヤー・電子かみそり等）、懐中電灯、時計、ゲーム機（据置型ゲーム機・携帯型ゲーム機・ミニ電子ゲーム・ハイテク系トレンドトイ）、カー用品（カーナビ・VICSユニット・ETC車載ユニット等）、その他の付属品（リモコン・ACアダプター・ケーブル・充電器等）
	廃食用油	液体の植物油
集団資源回収		新聞紙、雑誌・本、ダンボール、紙パック、布類（古布・古着）

6-2. 将来のごみの処理・処分の流れ

本計画の計画目標年度である令和22年度におけるごみ処理フローを図4-6-1に示します。

なお、以下のごみ処理フローは、現時点で計画している内容であり、今後の協議により変更する可能性があります。

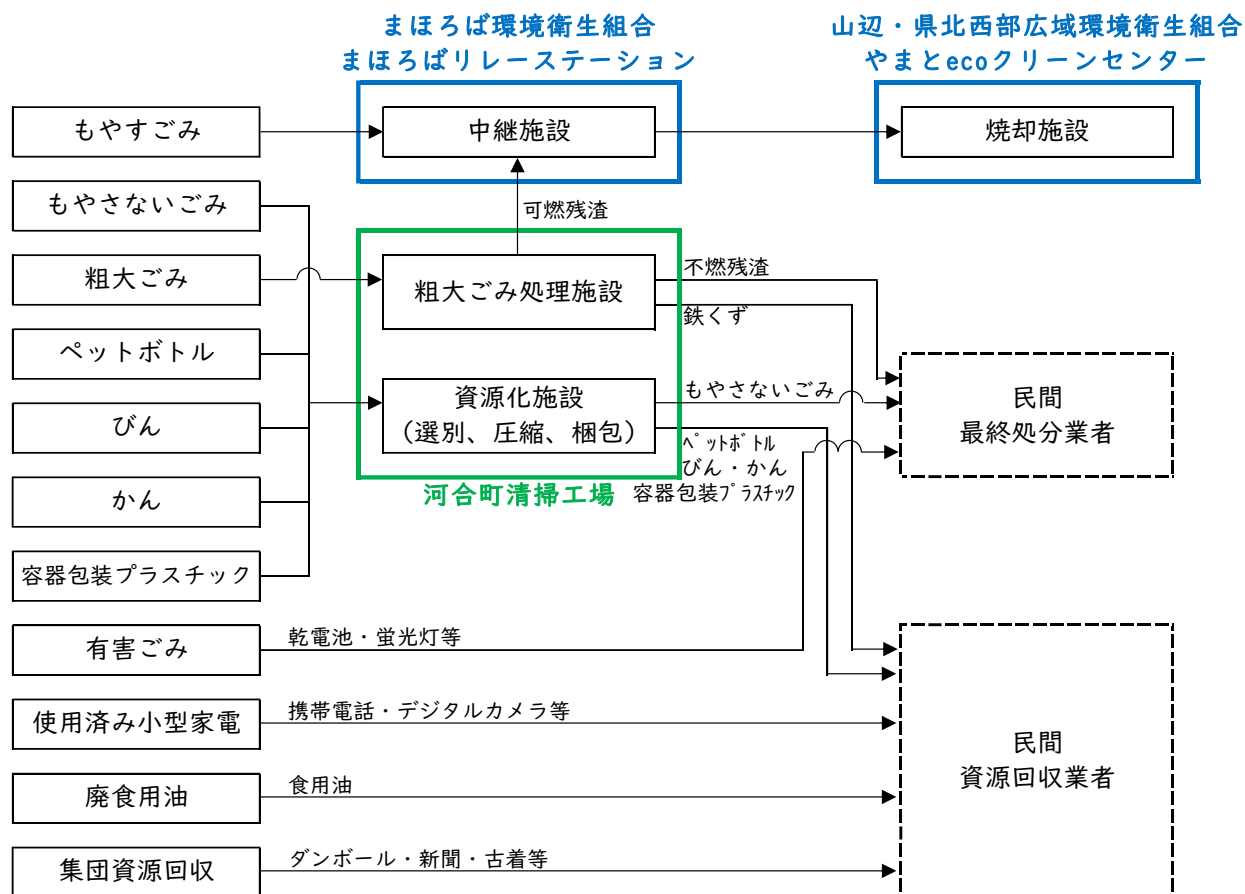


図4-6-1 将来のごみ処理フロー図（令和22年度時点）

7.ごみ処理計画

7-1.排出抑制・再資源化計画

排出抑制、再資源化のためには、以下の4つの目標を設定します。

- 1) ごみゼロ生活の推進
- 2) 事業系の自主的な取り組みの促進
- 3) 各種リユースの促進
- 4) 廃棄物の再生利用の促進

1) ごみゼロ生活の推進

①ごみとなるものを家庭に持ち込まない

買い物時のマイバッグの利用推進、ばら売りや量り売りの利用、簡易包装、詰め替え用商品の利用等、本来必要ないものを家庭に持ち込まないような消費活動を、住民、事業者との協力のもと推進します。

②調理くず、食べ残し等の食品ロスを減らす

まだ食べることができるのに捨てられている食べ物を「食品ロス」といいます。大切な食べ物を無駄なく消費し、食品ロスを減らして環境面や家計面にとってもプラスになるような取り組みを住民、事業者それぞれができるところから進めます。行政はその取り組みを推進するために、住民、事業者への情報提供を図るとともに、啓発活動を通じて、食品ロス削減意識の向上に努めます。また、生ごみを排出する時の水切りの徹底を普及啓発します。

食品ロス削減推進計画

Ⅰ. 計画策定の趣旨

Ⅰ－Ⅰ. 本計画の位置付け

本町における食品ロス削減の取組を充実させ、総合的かつ計画的に推進するため、「食品ロス削減推進計画」を策定します。

ここでは、「食品ロスの削減の推進に関する法律」（以下「食品ロス削減推進法」という。）第13条第1項の規定に基づく「食品ロスの削減の推進に関する基本的な方針」（令和2年3月31日閣議決定）を踏まえた「食品ロス削減推進計画」に位置づけます。

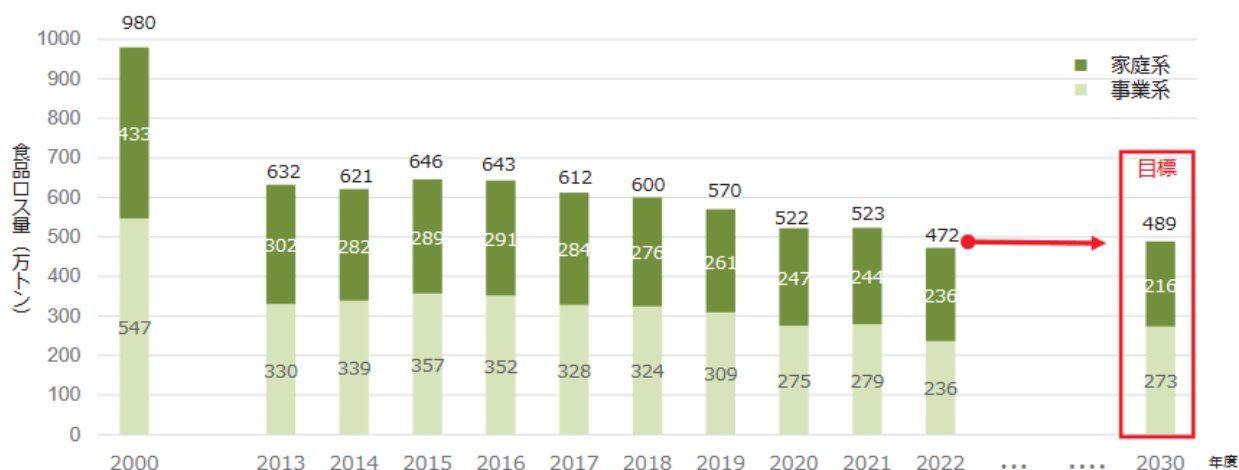
Ⅰ－Ⅱ. 食品ロス削減推進法

多様な主体が連携し、国民運動として食品ロスの削減を推進することを目的として、令和元年10月1日に食品ロス削減推進法が施行されました。同法では、令和12年度において、平成12年度と比べ、事業系食品ロス量、家庭系食品ロス量のいずれも半減させるという目標を定めています。

また、「食品ロスの削減の推進に関する基本的な方針」において、「食品ロス問題を認知して削減に取り組む消費者の割合を80%とする」という目標を設定しており、令和6年度第2回消費生活意識調査結果（令和6年10月時点）では74.9%となりました。

表Ⅰ 食品ロス削減推進法の概要

国の責務	食品ロス削減に関する施策の策定・実施
地方公共団体の責務	国及び他の地方公共団体と連携し、その地域特性に応じた施策を策定・実施する
事業者の責務	国または地方公共団体が実施する施策に協力し、食品ロス削減に積極的に取り組む
消費者の責務	食品ロス削減についての理解と関心を深め、食品の購入・調理の方法を改善する等により食品ロス削減に自主的に取り組む
食品ロス削減推進月間	食品ロスの削減に関する理解と関心を深めるため、食品ロス削減月間（10月）を設け、同月30日を食品ロス削減の日とする



[出典]「食品ロス削減関係参考資料（令和6年6月21日版）」消費者庁消費者教育推進課 食品ロス削減推進室

図1 国における食品ロス削減目標

2. 食品ロスの現状

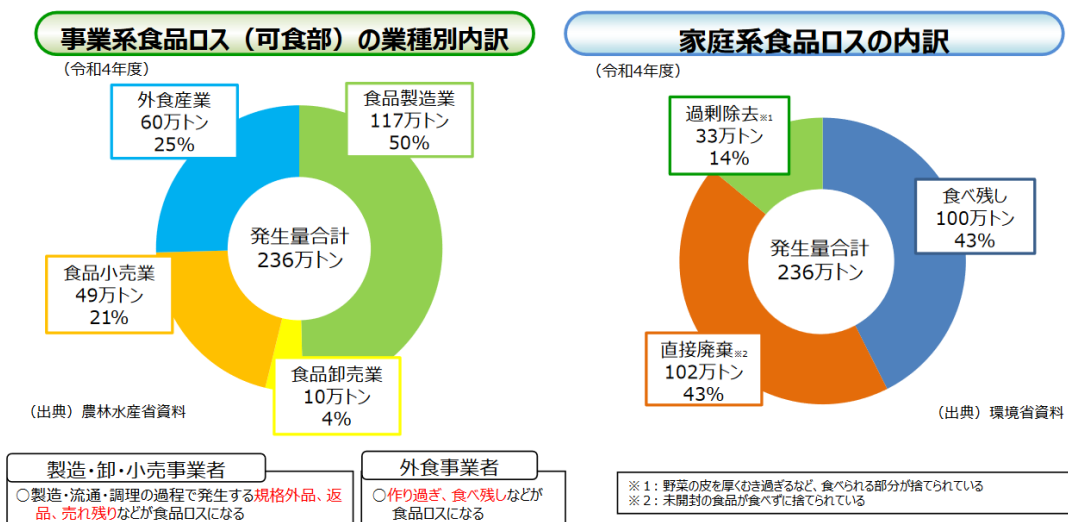
2-1. 食品ロスを取り巻く情勢及び課題

1) 食品ロスとは

食品ロスとは、本来食べられるのに捨てられる食品のことを指し、食品関連事業者における規格外品、返品、売れ残り、食べ残し等の事業系食品ロスと、一般家庭における食べ残し、過剰除去、直接廃棄の家庭系食品ロスとに分類されます。

2) 食品ロス問題

日本における食品ロス量は年間約472万t（農林水産省及び環境省における令和4年度推計）であり、国民1人当たりで換算すると38kgになると言われています。このうち事業系食品ロス量は236万t、家庭系食品ロス量は236万tであり、食品ロス削減には事業者、家庭双方の取組が必要であることがわかります。



[出典]「食品ロス削減関係参考資料（令和6年6月21日版）」消費者庁消費者教育推進課 食品ロス削減推進室

図2 国における食品ロス発生量

3. 食品ロス削減推進計画

3-1. 食品ロス削減推進計画とSDGsとの関係

SDGs（持続可能な開発目標）では、「ゴール12 つくる責任つかう責任」のうち、12.3「2030年までに小売・消費レベルにおける世界全体の一人当たりの食料の廃棄を半減させ、収穫後損失などの生産・サプライチェーンにおける食料の損失を減少させる。」を目標としています。

このことから、本町においても目標達成に向けて各主体がそれぞれの取組を実施し、連携協力することで、「ゴール17 パートナースhipで目標を達成しよう」を目指すべきゴールとします。



3-2. 食品ロス削減に向けた役割

1) 住民・事業者・行政の役割

(1) 住民の役割

食品ロスの状況と、その影響や削減の必要性について理解を深めるとともに、日々の暮らしの中で自身が排出している食品ロスについて適切に理解・把握する必要があります。

その上で、日々の生活の中で食品ロスを削減するために自らができることを一人一人が考え、行動に移すことが必要です。また、自身の消費行動を通じた食品ロスの発生が、環境や他の国々・地域の人々に影響を及ぼすことを踏まえ、食品ロスの削減に取り組む食品関連事業者の商品、店舗を積極的に利用する等、持続可能な生産・製造・販売活動を行う事業者の取組を支援します。

(2) 事業者の役割

食品ロスの状況と、その削減の必要性について理解を深め、社員等への啓発を行うことが必要です。

また、事業における備蓄や防災備蓄食料品の適切な管理に努める（フードバンクへの提供を含む。）とともに、事業者同士が連携することで食品ロスを削減し、国または地方自治体を実施する食品ロスの削減に関する施策に協力します。

(3) 行政の役割

住民の役割及び事業者の役割についての理解を促進し、各主体において能動的に実践ができるよう、食品ロス削減に向けた取組を推進していきます。

2) 食品ロス削減に向けた取組

(1) 住民の取組

- 食品ロスの削減には、料理は買い物の段階から在庫状況を踏まえたうえで必要な量だけ購入し、食べきれる量だけ調理するよう心掛けます。
- 賞味期限と消費期限の理解度について、消費者庁のアンケート調査では理解していない方の割合が約2割となっており、賞味期限に対する理解を高めることも重要とされていることから、賞味期限・消費期限への理解を深めます。
- 発生してしまった食品ロスについては、水切りの徹底及び生ごみ処理機等によって減量・再資源化に努めます。
- 外食の際は、食べきれる量を注文し、飲食店が対応している場合、自己責任の範囲において、食べ残しを持ち帰ります。

(2) 事業者の取組

- 宴会などでは最初の30分と最後の10分は食事に集中し、食べ残しを減らす事(3010運動)を周知します。また、外食時における食べきれる量の注文や、飲食店においては食べ残しの持ち帰り(ドギーバック等)の対応を検討します。
- 農林漁業者や食品製造業者に対し、規格外や未・低利用を含む商品の加工・販売等に向けた周知・啓発を行います。また、行政から発信されるフードバンク活動に関する情報を活用し、3分の1ルールにより廃棄されることとなる商品の活用を促進します。
- 食品小売店に対し、購入者に商品棚の手前の商品から選んでもらう「てまえどり」の啓発、少量パック販売、ばら売りの工夫、需要予測の推進、商慣習の見直し(納品期限の緩和等)を促進します。

(3) 行政の取組

- フードドライブを実施します。
- 防災備蓄食料品の消費期限の管理を徹底し、住民に配布する等ローリングストック法をうまく活用します。
- 3きり(使いきり・食べきり・水きり)を徹底するよう啓発に努めます。
- 今後、食品ロスに対する住民の理解を醸成するために食品ロスの発生状況の把握や削減方法等の普及・啓発に努めます。
- 廃食用油の回収等による生ごみの資源化を推進するよう呼びかけます。
- 食べ残しや賞味期限切れにより発生する食品ロスは、消費者の購買行動に変化を促すことが必要であり、店舗でポスター等を掲示することによっても、削減の効果があることとされていることから、事業者とも連携を図り情報発信に努めます。

2) 事業系の自主的な取り組みの促進

①多量排出事業者に対する減量化計画策定・実施を進める

事業系廃棄物の処理責任は事業者自身にあります。多量排出事業者に対しては減量化計画の策定を促し、計画に基づく排出抑制や減量化の実施について積極的に指導します。

②事業者のごみ減量意識の向上を図る

事業者に対して、排出事業者責任や拡大生産者責任の徹底について啓発を行い、事業者の自主的なごみ減量化の取り組みを支援します。

3) 各種リユースの促進

①不用品交換やフリーマーケット等のリユースの場をつくる

ごみ減量の情報発信拠点を整備し、フリーマーケットの実施等により、リユースを促進します。

②リユース食器の利用を促進する

地域のお祭り、スポーツ大会等のイベント等に、リユース食器を取り入れる動きが全国各地で進んでいます。イベント等を開催する際は、リユース食器の導入を促進します。

4) 廃棄物の再生利用の促進

①資源化率向上のために新たな分別区分を徹底する

資源化率向上に向けて、新聞紙、雑誌、段ボール、古着類について分別して資源化を行うことを検討していきます。分別区分の変更が円滑に行われるよう、十分に住民への周知を実施し、分別に対する理解を得られるように努めます。

②集団資源回収の支援を継続する

可燃ごみの中には、紙類が約49.35%と多く含まれることから、紙類の再生利用を進めて行く必要があります。そのため、集団資源回収を実施する町内の住民団体を支援する補助制度を継続し、新聞紙、雑誌、段ボール・紙パック等の再生利用の促進に努めます。

～ 主な取り組みとその効果 ～

【可燃ごみの発生抑制に向けた取り組み】

○マイバッグ運動の促進

マイバッグを持参することによるレジ袋の削減により焼却ごみを減量化します。各家庭が1日1枚のレジ袋(5g)をマイバッグとすることを考えると、令和6年度の人口及び世帯数から $5\text{g}/\text{世帯} \cdot \text{日} \times 7,932 \text{ 世帯} \div 16,497 \text{ 人} = 2.4\text{g}/\text{人} \cdot \text{日}$ の削減となります。

○生ごみの水切りの啓発

水切りの徹底により、生ごみを減量化します。各家庭が1日に排出する生ごみからスプーン1杯分5gを減量化すると考えると、令和6年度の人口及び世帯数から $5\text{g}/\text{世帯} \cdot \text{日} \times 7,932 \text{ 世帯} \div 16,497 \text{ 人} = 2.4\text{g}/\text{人} \cdot \text{日}$ の削減となります。

○紙ごみの削減

本町の可燃分中組成分析調査結果の過去7年間平均値では49.35%が紙類であることから、そのうちの10%の削減を考えると $379.9\text{g}/\text{人} \cdot \text{日} \times 49.35\% \times 10\% = 18.7\text{g}/\text{人} \cdot \text{日}$ の削減となります。(目安:A4用紙1枚 約4g)

○食品ロス削減による生ごみの削減

環境省の調査結果では、家庭系ごみ(粗大ごみ除く)に含まれる食品廃棄物のうち34.0%が減量可能な直接廃棄、過剰除去、食べ残しであると示されています。

本町の可燃分中組成分析調査結果の過去7年間平均値より、可燃分中の13.85%が厨芥類であることから、 $379.9\text{g}/\text{人} \cdot \text{日} \times 13.85\% \times 34.0\% = 17.9\text{g}/\text{人} \cdot \text{日}$ が減量可能な生ごみと予測されます。(目安:アスパラガス1本 約20g)

●減量の効果

上記の取組を実施することで $41.4\text{g}/\text{人} \cdot \text{日}$ の減量効果があります。これは、可燃ごみの令和6年度実績の約5.4%にあたります。

【不燃ごみの発生抑制に向けた取り組み】

○簡易包装の推進や使い捨て商品の抑制

不要な包装や使い捨て商品の購入を極力抑えること等、ライフスタイルの見直しを図ります。各家庭が容器・包装プラスチックの少ない商品を選ぶことで、1日にトレイ1枚分(10g)を減らすことを考えると、 $10\text{g}/\text{世帯} \cdot \text{日} \times 7,932 \text{ 世帯} \div 16,497 \text{ 人} = 4.8\text{g}/\text{人} \cdot \text{日}$ の削減となります。

○リユース意識を誘発する施策の展開による削減

リサイクルショップの利用促進等を通して、リユース推進等の啓発と再利用の意識啓発を図ります。各家庭が衣装ケース1個(6kg)を丁寧に扱うことでさらに3年間長く使用することを考えると、 $6\text{kg}/\text{世帯} \div 3 \text{ 年} \div 365 \text{ 日} \times 7,932 \text{ 世帯} \div 16,497 \text{ 人} = 2.6\text{g}/\text{人} \cdot \text{日}$ の削減となります。

●減量の効果

上記の取組を実施することで $7.4\text{g}/\text{人} \cdot \text{日}$ の減量効果があります。これは、不燃ごみの令和6年度実績の約7.8%にあたります。

【資源ごみの増加に向けた取り組み】

○分別徹底及び新たな収集方法の周知・啓発による紙類の削減

大阪市の実績より、燃えるごみとして排出されている紙類のうち 21.4%が再生可能となっています。本町の可燃分中組成分析調査結果の過去 7 年間平均値では 49.35%が紙類であることから、本町の現状を勘案しその半数が再生可能であると考え、 $379.9\text{g}/\text{人}\cdot\text{日}\times 49.35\%\times 21.4\%\times 1/2=20.1\text{g}/\text{人}\cdot\text{日}$ の資源化となります。(目安：A4 用紙 1 枚 約 4g)

○小型家電製品の分別の開始と周知・啓発

小型家電製品の資源化を開始するとともにその分別徹底を周知・啓発することにより、 $1.0\text{g}/\text{人}\cdot\text{日}$ 以上のさらなる資源化を目指します。

●資源化の効果

上記の取組を実施することで $21.1\text{g}/\text{人}\cdot\text{日}$ の資源化効果があります。これは、資源ごみの令和 6 年度実績の約 63.4%にあたります。

【最終処分量の削減に向けた取り組み】

○可燃ごみから発生する焼却残渣の削減

可燃ごみに含まれる資源化可能物の分別徹底や生ごみの発生抑制等により焼却処理量を削減する取り組みの実施により、最終処分される焼却残渣（焼却灰）の削減につながります。

○不燃ごみから出る直接残渣の削減

不燃ごみの排出量の減量、また、小型家電製品の資源化分別の取り組みの実施により、直接最終処分される不燃残渣の削減につながります。

●削減の効果

削減した焼却処理量のおよそ 15%の最終処分量（焼却灰）が減少することになります。(可燃ごみを 100t 削減すると最終処分量はおよそ 15t 減少することになります)

7-2. 収集・運搬計画

ごみの収集・運搬については、以下の3つの目標を設定します。

- 1) 新ごみ処理施設における新収集・運搬体制の徹底
- 2) 住民サービスの向上
- 3) 事業系ごみの適正排出体制の構築

1) 新ごみ処理施設における新収集・運搬体制の徹底

①新収集・運搬体制を構築する

将来の分別区分ごとの排出方法は表4-7-1に示すとおりです。現時点の計画では、粗大ごみの減量化施策を重点的に実施していきます。

表4-7-1 分別区分ごとの排出方法等

品目		排出方法	収集回数	収集体制	
収集・自己搬入	もやすごみ		指定袋に入れる	週 2 回	ステーション
	もやさないごみ		指定袋に入れる	週 1 回	ステーション
	粗大ごみ		粗大ごみシールを貼って出す	週 1 回	ステーション
	資源 ごみ	ペットボトル	指定袋に入れる ※1	月 2 回	ステーション
		空き缶	指定袋に入れる ※1	月 2 回	ステーション
		空きびん	指定袋に入れる ※1	月 2 回	ステーション
		容器包装 プラスチック	透明・半透明の袋に入れる	未定	ステーション
	有害ごみ		分別し、適宜汎用の袋に入れる	年 4 回	ステーション／拠点
	使用済み小型家電		専用回収ボックス	－	拠点
	廃食用油		専用回収ボックス	－	拠点
集団資源回収		－	－	－	

※1 令和8年度以降、変更あり

②ごみ中継（積み替え）施設を運用する

やまとecoクリーンセンター（山辺・県北西部広域環境衛生組合）の稼働に伴い、ごみ中継施設としてまほろばリーステーション（まほろば環境衛生組合）の運用を開始しています。今後も広域処理の状況に応じて対応していきます。

2) 住民サービスの向上

①高齢化社会を踏まえ、住民サービスを向上する

今後、さらにひとり暮らしの高齢者世帯の増加が想定されることから、高齢者のみの世帯や障がい者世帯等、自宅からステーションまでごみを出すことが困難な世帯を対象に玄関先までごみを回収する「まごころ収集」による支援を引き続き行います。

3) 事業系ごみの適正排出体制の構築

①事業系ごみの分別排出を徹底する

事業系ごみの処理責任は排出事業者にあり、可燃ごみに資源化物や産業廃棄物が混入することがないように、分別指導を強化し、混入防止に努めます。

②事業系ごみ収集運搬業者の適正指導を行う

事業系ごみの収集・運搬は、事業者自らによる自己搬入もしくは収集・運搬許可業者によって実施されます。適正な収集・運搬作業を、安定して継続的に実施するため、指導を強化します。

③環境負荷の少ない収集車両を導入する

収集を委託、許可する民間業者に、環境負荷の少ない車両の導入を働きかけます。

7-3. 中間処理計画

ごみの中間処理については、以下の1つの目標を設定します。

1) 既存施設の適正な維持管理

1) 既存施設の適正な維持管理

①既存施設の適正な維持管理に努める

本町の河合町清掃工場ごみ焼却は令和7年度をもって廃止し、現在は広域処理施設（やまと eco クリーンセンター）にて処理を行っています。

また、粗大ごみ処理施設については、平成3年の竣工であり、稼働後約35年が経過しようとしています。今後、施設の性能を維持するために適切な施設の保全・運用に努め、また性能の低下に対して必要となる基幹的設備・機器の更新を検討し、安定的な粗大ごみ処理が行えるように努めます。

②既存施設の負荷を減らす

今後も適切かつ安定したごみ処理を継続して行うために、粗大ごみの排出抑制等を図り、施設への負荷の削減に努めます。

③ごみ処理手数料及び一部指定ごみ袋料金の適正化に努める

本町ではすでにごみ処理手数料及び一部指定ごみ袋の有料化を導入していますが、全国的な傾向や周辺自治体の傾向を考慮し、現行の手数料、料金見直しについても検討を行い、適正化に努めます。

7-4.最終処分計画

ごみの中間処理については、以下の目標を設定します。

- 1) 最終処分量の削減
- 2) 広域最終処分場の安定的な確保

1) 最終処分量の削減

①ごみ減量化・資源化の推進により、最終処分量を削減します

今後も、可燃ごみに含まれる資源化可能物の分別徹底、生ごみの削減等により、可燃ごみ排出量の削減に努め、焼却処理によって発生する残渣等を削減します。

2) 広域最終処分場の安定的な確保

①広域最終処分場を安定的に確保します

最終処分量の削減に努めるとともに、最終処分が必要となる廃棄物への対応として、最終処分場の安定確保に努めます。本町としては、国や県に対して、大阪湾フェニックスセンター等の広域的な最終処分場の安定確保を要望していきます。

7-5.その他の計画

1) 住民や事業者に対する情報発信・啓発活動

①ごみ処理の責務の明確化

住民の責務

住民は、廃棄物の排出者として、廃棄物の減量やその他適正な処理に関する本町の施策に協力する責務があります。今後も、行政として排出の抑制や再生利用の協力を求めていくものとします。

事業者の責務

事業者には、事業活動に伴って生じた廃棄物についての処理責任があります。事業者は、事業活動に伴って生じた廃棄物の再生利用等による減量化に努め、その製造、加工、販売等に際して、その製品が廃棄物となった場合に、その適正な処理が困難になることのないようにする必要があります。また、廃棄物の減量化、適正処理の確保のための国や市町村の施策に協力する必要があります。

行政は、事業者に廃棄物処理の協力を求めるため、指導・啓発等を行います。

行政の責務

行政は、処理計画に従って、その区域内における一般廃棄物を生活環境の保全上、支障が生じないように処理する責任があり、一般廃棄物の処理事業にあたる職員の質の向上等、その能率的な運営に努めます。また、一般廃棄物の減量に関し、住民の自主的な活動を促し、その適正な処理に必要な措置を講ずるよう努めます。

②ごみに関する情報提供の充実

従来のごみの出し方パンフレット等に加え、インターネットを活用し、ホームページやスマートフォンアプリ等を活用する等、媒体の拡充を図ります。また、英語表記する等の情報提供に努めます。

2) 適正処理困難物に対する対処方法

①適正処理困難物への対応強化

本町の施設及び新ごみ処理施設での処理が困難な適正処理困難物等の廃棄物については、拡大生産者責任の観点から、適正処理困難物の製造、加工、販売等を行う事業者に対してその回収等の措置を講ずるように要請していきます。ただし、一般廃棄物については本町の処理責任のもとで、必要な受け皿の検討もしていきます。

なお、現状、本町が取り扱わない品目については、不法投棄の未然防止から、専門事業者等の紹介を行います。

②在宅医療廃棄物の適正処理

在宅医療に伴い家庭から排出される医療系廃棄物の内、感染の恐れのある廃棄物は、本町では収集を行っていません。これらの医療廃棄物については、種類ごとに医療機関・薬局等の関係機関で適切な回収に努めるとともに、専門業による処理等の排出ルールを定め、対象者へ医療機器とともに配布する等、関係者への周知徹底に努めます。

③不法投棄防止の推進

不法投棄や散乱ごみを防止するため、住民への啓発を進めるとともに、地域外からの不法投棄を防止するため、地域、警察、道路管理者等との連携による監視体制の強化に努めます。また、不法投棄がある箇所を特定し、不法投棄されにくい環境の整備を推進します。

8.災害廃棄物処理基本方針

1) 被害想定

平成 28 年 3 月に策定された「奈良県災害廃棄物処理計画」では、奈良県内で対象となる大規模地震と被害及び災害廃棄物量の推計を行っています。本町では、被害の大きい災害として中央構造線断層帯地震を想定しており、その内容を表 4-8-1 に示します。

表 4-8-1 想定する地震とその規模

項目	内容
想定地震	中央構造線断層帯地震
予想規模	マグニチュード 8.0
建物全壊・焼失棟数	1,196 棟
建物半壊棟数	930 棟
避難者数（1 週間（最大値））	6,963 人

出典：第 2 次奈良県地震被害想定調査報告書（資料編）P.147、P.149、P.163

最大の被害が想定されている中央構造線断層帯地震における本町での災害廃棄物の発生量としては、表 4-8-2 に示す量が見込まれています。

表 4-8-2 災害がれき発生量の見込み

	倒壊による (t)	火災による (t)	合計 (t)
木くず	26,374	0	26,374
畳	748	0	748
廃プラ	1,122	0	1,122
混合廃棄物（可燃）	9,727	14	9,741
がれき類	97,640	4,469	102,109
金属くず	12,345	540	12,885
瓦	935	8,477	47,571
ガラス	935		
石膏ボード	4,489		
混合廃棄物（不燃）	24,129		
家電4品目	8,606		
総量	187,050	13,500	200,550

出典：河合町災害廃棄物処理計画 P.11

また、上記で算出された種類別災害廃棄物発生量から仮置き場の必要面積を算定しており、最大規模の災害発生時は、表 4-8-3 に示すように 9,614 m²の仮置き場が必要であるという計算結果が出ています。この面積は災害がれきを置く場所のみの面積であり、通路の面積は約 1,000 m²とします。

表 4-8-3 一次仮置き場必要面積

種類	最大保管必要量		最大必要面積 (m ²)
	重量 (t)	容積 (m ³)	
木くず	2,611	6,528	2,611.2
畳	74	185	74.0
廃プラ	112	280	112.0
混合廃棄物 (可燃)	964	2,410	964.0
がれき類 (コンクリートがら)	10,109	9,190	3,676.0
金属くず (金属スクラップ)	1,276	1,160	464.0
不燃物	4,710	4,282	1,712.8
合計	19,856	24,035	9,614.0

出典：河合町災害廃棄物処理計画 P.17

2) 災害廃棄物について

災害廃棄物は一般廃棄物と定義されており、その処理の責任は市町村にあります。今後発生が危惧される大規模地震や水害等により発生した災害廃棄物（避難所ごみを含む）は、住民の健康や生活環境に重大な被害を生じさせるものを含むおそれがあることを踏まえ、生活環境の保全及び公衆衛生上の問題を防止する観点から、適正かつ迅速に処理しなければなりません。災害廃棄物に起因する混乱を最小限にし、1日も早く住民が日常を取り戻すために、応急対応、復旧、復興について必要な事項を整理する必要があります。

災害廃棄物は、災害の規模によっては、その処理に数年を要する場合があります。将来にわたって災害廃棄物を適正に処理するためには、災害が起きる前から、環境負荷の低減や資源の有効活用を視野に入れ、応急期、復旧・復興期の各段階において、可能な限り分別、選別、再生利用等をし、最終処分量を低減する等の対策について検討が必要です。

3) 各種計画を踏まえた「災害廃棄物処理計画」の見直し等

具体的には、平時から災害対応拠点としての視点で施設整備を進め、関係機関・団体との連携体制を構築することや、災害廃棄物処理に係る訓練等を通じて、非常災害時にも対応できる強靱な廃棄物処理体制の整備を図る必要があります。

そのため、国が策定する「廃棄物処理施設整備計画」「災害廃棄物対策指針（平成 26 年 3 月策定 平成 30 年 3 月改定 環境省廃環境再生・資源循環局災害廃棄物対策室）」及び技術指針等を十分踏まえ、「奈良県災害廃棄物処理計画」「災害対策基本法（昭和 36 年法律第 223 号）」に基づく地域防災計画、その他の防災関連指針・計画等と整合を図りつつ、本町の実情に応じて、非常災害発生時に備えた「災害廃棄物処理計画」を適時見直すこととします。

「災害廃棄物処理計画」では、仮置き場の確保、廃棄物（有害な廃棄物や危険な廃棄物等の処理困難物を含む）の分別及び処理方法、さらに周辺の地方公共団体や民間事業者等との連携・協力体制の整備等の災害廃棄物を適正かつ円滑・迅速に処理するために必要となる事項を定めるものです。

4) 災害時における一般廃棄物処理事業の継続性の確保

発災時においては、災害廃棄物のみならず、通常の一般廃棄物の処理が継続的かつ確実に実施されることが、公衆衛生の確保及び生活環境の保全の観点から極めて重要となります。このため災害時において、委託業者、許可業者が一般廃棄物処理（収集・運搬及び処分・再生）事業を継続できるように、実施体制、指揮命令系統、情報収集・連絡・協力要請等の方法・手段等の事業継続計画を検討していくものとします。

また、組織としての事業継続能力が維持・改善されるよう、訓練や各種計画の見直し、他の市町村等との連携等によるさらに広域的な取組みについても検討を行っていきます。

(資料編)

資料編 ごみ排出量、処理量の予測結果

1. ごみ排出量、処理量の予測方法

将来のごみ排出量、処理量の予測方法は以下のフロー図のとおりです。

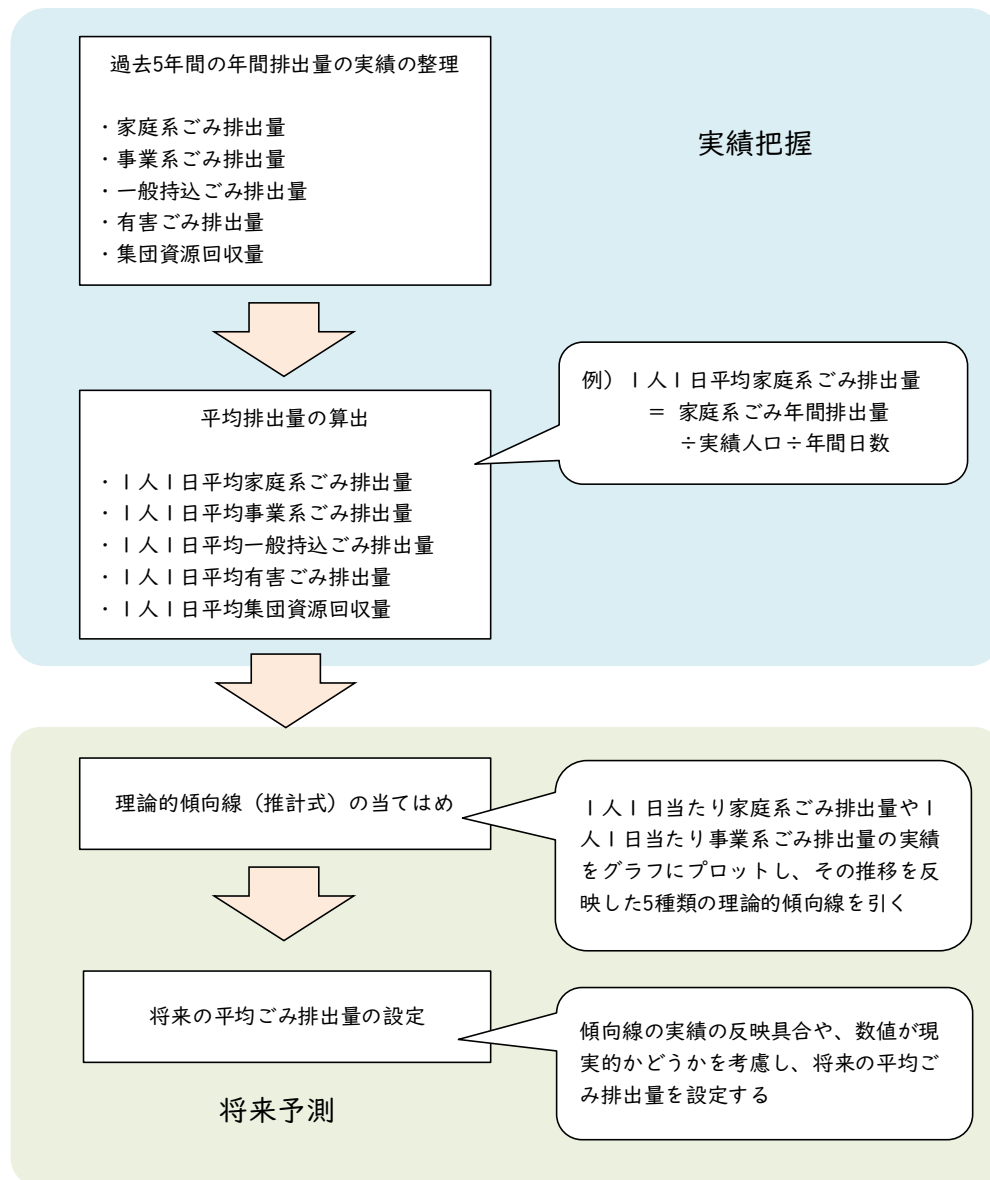


図 1-1 予測フロー図

表 1-1 推計式について

名称	推計式	備考
等差級数法	$y = ax + b$	Y：推計値 a, b：係数 x：年度
対数級数法	$y = a \times \text{LN}(x) + b$	
等比級数法	$y = e^{ax} \times b$	
べき級数法	$y = x^a \times b$	
逆数級数法	$y = a/x + b$	

※上記に限らず、推計結果が現実的でない場合は補正値を採用する場合がある。

2.1人1日平均ごみ排出量の予測結果

1人1日平均家庭系ごみ排出量、1人1日平均一般持込量、1人1日平均事業系ごみ排出量、1人1日平均集団資源回収量の予測結果は以下のとおりです。

表 2-1 1人1日平均家庭系可燃ごみ排出量予測結果

年度	実績	年度	予測結果				
			等差級数法	対数級数法	等比級数法	べき級数法	逆数級数法
2	427.0	7	365.8	378.6	365.8	378.6	388.7
3	438.7	8	350.9	371.9	352.5	372.4	386.1
4	420.8	9	336.1	365.9	339.7	367.0	384.0
5	384.7	10	321.3	360.6	327.4	362.3	382.4
6	379.9	11	306.5	355.9	315.5	358.0	381.1
		12	291.7	351.5	304.0	354.2	380.0
		13	276.8	347.5	293.0	350.7	379.0
		14	262.0	343.7	282.3	347.5	378.2
		15	247.2	340.3	272.1	344.5	377.5
		16	232.4	337.0	262.2	341.8	376.9
		17	217.6	334.0	252.7	339.2	376.4
		18	202.7	331.1	243.5	336.8	375.9
		19	187.9	328.4	234.6	334.6	375.5
		20	173.1	325.8	226.1	332.4	375.1
		21	158.3	323.4	217.9	330.4	374.8
		22	143.5	321.0	210.0	328.5	374.4
式			$y=ax+b$	$y=a*\ln(x)+b$	$y=(e^{(ax)})*b$	$y=(x^a)*b$	$y=(a/x)+b$
a=			-14.82	-50.243	-0.037	-0.124	146.299
b=			469.5	476.33	473.93	481.98	367.79
r=			-0.89	-0.827	-0.892	-0.829	0.739
r^2=			0.791	0.685	0.795	0.688	0.547
採否						採用	

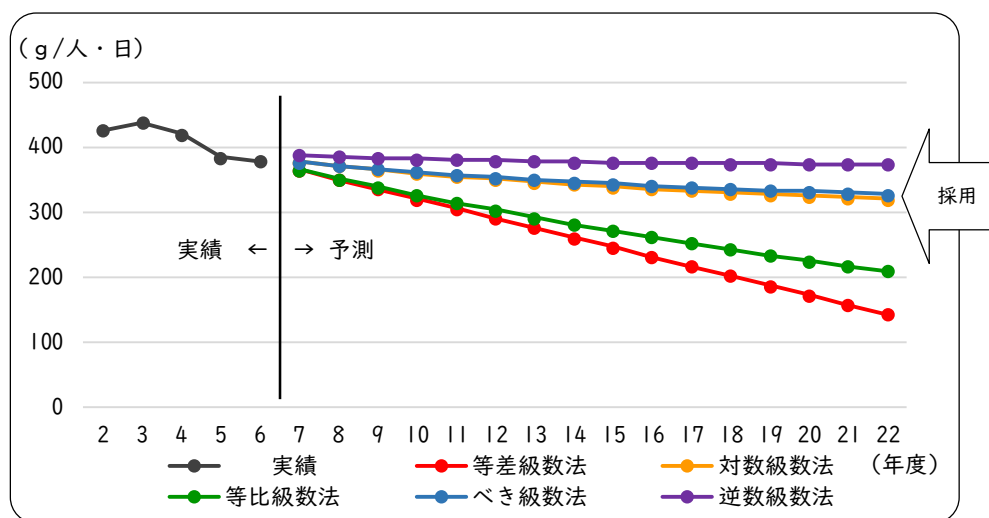


図 2-1 1人1日平均家庭系可燃ごみ排出量予測結果

表 2-2 1人1日平均家庭系不燃ごみ（廃プラスチック）排出量予測結果

年度	実績	年度	予測結果				
			等差級数法	対数級数法	等比級数法	べき級数法	逆数級数法
2	67.6	7	58.1	59.3	58.2	59.4	60.3
3	63.6	8	56.3	58.4	56.6	58.6	59.9
4	64.9	9	54.5	57.7	55.0	57.9	59.7
5	60.5	10	52.8	57.0	53.5	57.2	59.4
6	60.3	11	51.0	56.4	52.0	56.7	59.2
		12	49.2	55.8	50.6	56.2	59.1
		13	47.5	55.3	49.2	55.7	58.9
		14	45.7	54.8	47.8	55.3	58.8
		15	43.9	54.4	46.5	54.9	58.7
		16	42.1	53.9	45.2	54.6	58.6
		17	40.4	53.5	44.0	54.2	58.6
		18	38.6	53.2	42.8	53.9	58.5
		19	36.8	52.8	41.6	53.6	58.4
		20	35.1	52.5	40.4	53.3	58.4
		21	33.3	52.2	39.3	53.1	58.3
		22	31.5	51.9	38.2	52.8	58.3
		式	$y=ax+b$	$y=a\cdot\ln(x)+b$	$y=(e^{ax})\cdot b$	$y=(x^a)\cdot b$	$y=(a/x)+b$
		a=	-1.77	-6.484	-0.028	-0.102	20.793
		b=	70.46	71.91	70.78	72.39	57.35
		r=	-0.909	-0.913	-0.91	-0.912	0.899
		r ² =	0.826	0.834	0.828	0.832	0.808
		採否				採用	

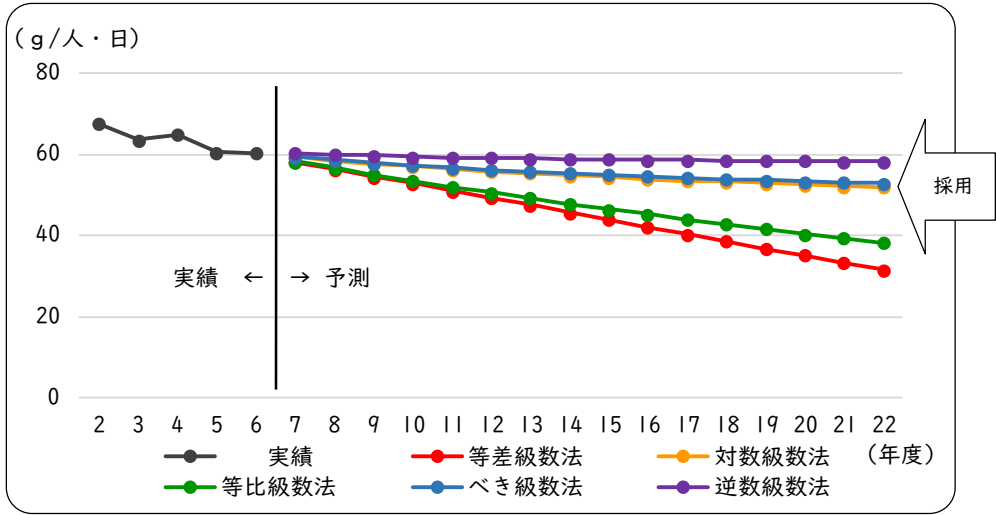


図 2-2 1人1日平均家庭系不燃ごみ（廃プラスチック）排出量予測結果

表 2-3 1人1日平均家庭系不燃ごみ（粗大ごみ）排出量予測結果

年度	実績	年度	予測結果				
			等差級数法	対数級数法	等比級数法	べき級数法	逆数級数法
2	50.2	7	25.9	29.2	27.4	29.9	31.9
3	41.1	8	21.3	26.9	24.3	28.3	30.9
4	44.8	9	16.6	24.9	21.6	26.9	30.2
5	30.4	10	12.0	23.1	19.2	25.7	29.6
6	32.4	11	7.4	21.5	17.1	24.7	29.1
		12	2.7	20.1	15.2	23.8	28.7
		13	-1.9	18.7	13.5	23.0	28.4
		14	-6.5	17.5	12.0	22.3	28.1
		15	-11.2	16.3	10.7	21.6	27.8
		16	-15.8	15.2	9.5	21.0	27.6
		17	-20.4	14.2	8.4	20.5	27.4
		18	-25.0	13.2	7.5	20.0	27.2
		19	-29.7	12.3	6.6	19.6	27.1
		20	-34.3	11.5	5.9	19.1	26.9
		21	-38.9	10.6	5.3	18.8	26.8
		22	-43.6	9.8	4.7	18.4	26.7
式			$y=ax+b$	$y=a\cdot\ln(x)+b$	$y=(e^{ax})\cdot b$	$y=(x^a)\cdot b$	$y=(a/x)+b$
a=			-4.63	-16.859	-0.118	-0.425	53.591
b=			58.3	61.96	62.57	68.39	24.24
r=			-0.878	-0.877	-0.872	-0.865	0.856
r ² =			0.771	0.77	0.761	0.748	0.732
採否							採用

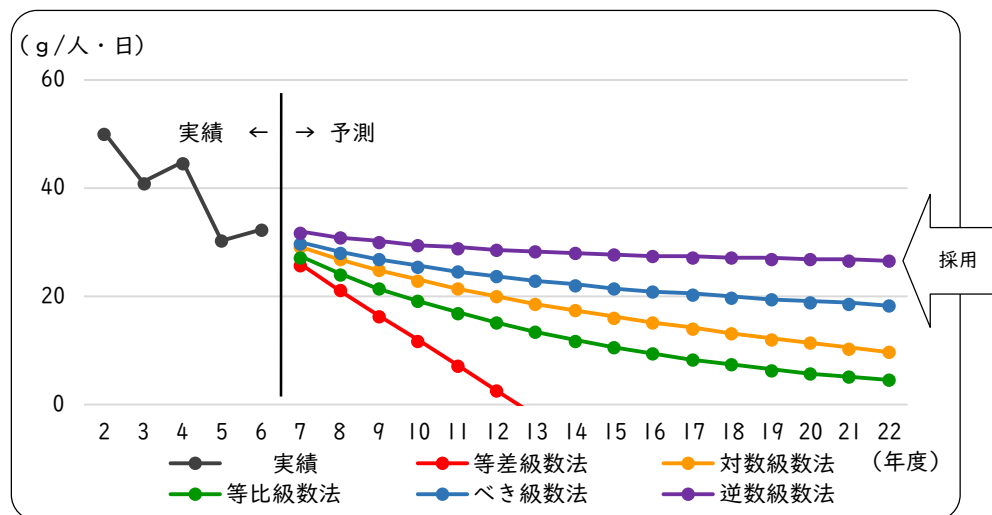


図 2-3 1人1日平均家庭系不燃ごみ（粗大ごみ）排出量予測結果

表 2-4 1人1日平均家庭系資源ごみ（かん・びん）排出量予測結果

年度	実績	年度	予測結果				
			等差級数法	対数級数法	等比級数法	べき級数法	逆数級数法
2	23.4	7	18.6	19.2	18.8	19.3	19.7
3	22.1	8	17.7	18.7	18.0	18.9	19.5
4	21.0	9	16.8	18.3	17.3	18.5	19.3
5	20.2	10	15.8	18.0	16.6	18.2	19.2
6	19.8	11	14.9	17.6	15.9	17.9	19.1
		12	14.0	17.4	15.2	17.7	19.0
		13	13.1	17.1	14.6	17.5	19.0
		14	12.2	16.8	14.0	17.3	18.9
		15	11.3	16.6	13.4	17.1	18.9
		16	10.4	16.4	12.9	16.9	18.8
		17	9.5	16.2	12.3	16.7	18.8
		18	8.6	16.0	11.8	16.6	18.7
		19	7.7	15.8	11.3	16.5	18.7
		20	6.7	15.6	10.9	16.3	18.7
		21	5.8	15.5	10.4	16.2	18.7
		22	4.9	15.3	10.0	16.1	18.6
		式	$y=ax+b$	$y=a*\ln(x)+b$	$y=(e^{ax})^b$	$y=(x^a)^b$	$y=(a/x)+b$
		a=	-0.91	-3.374	-0.042	-0.157	10.886
		b=	24.94	25.74	25.19	26.13	18.14
		r=	-0.981	-0.998	-0.985	-0.998	0.988
		r ² =	0.963	0.996	0.97	0.997	0.977
		採否		採用			

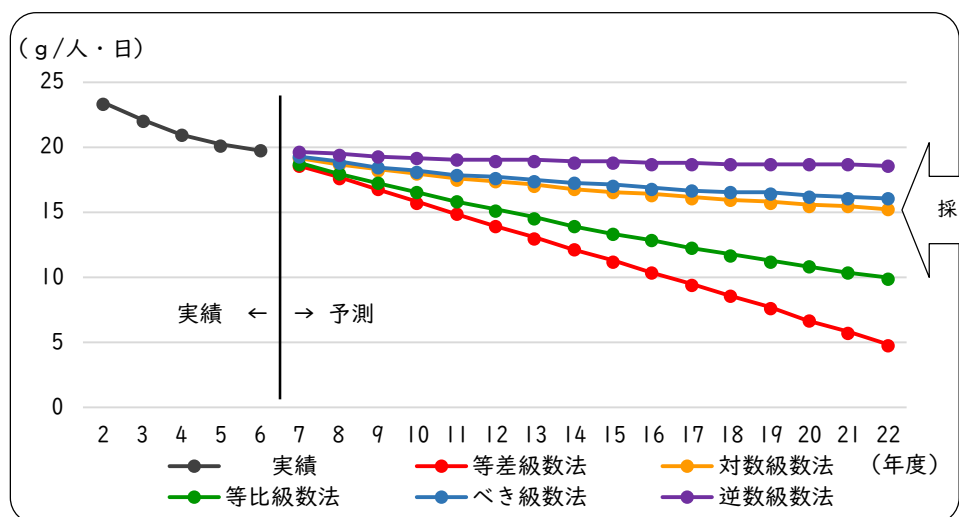


図 2-4 1人1日平均家庭系資源ごみ（かん・びん）排出量予測結果

表 2-5 1人1日平均家庭系資源ごみ（ペットボトル）排出量予測結果

年度	実績	年度	予測結果				
			等差級数法	対数級数法	等比級数法	べき級数法	逆数級数法
2	8.0	7	6.2	6.3	6.3	6.4	6.4
3	6.6	8	6.0	6.2	6.1	6.3	6.4
4	6.9	9	5.7	6.1	5.9	6.2	6.3
5	6.7	10	5.5	6.0	5.7	6.1	6.3
6	6.7	11	5.2	5.9	5.5	6.0	6.2
		12	5.0	5.8	5.3	5.9	6.2
		13	4.7	5.7	5.1	5.8	6.2
		14	4.5	5.6	5.0	5.8	6.2
		15	4.2	5.5	4.8	5.7	6.2
		16	4.0	5.5	4.6	5.7	6.1
		17	3.7	5.4	4.5	5.6	6.1
		18	3.5	5.4	4.3	5.6	6.1
		19	3.2	5.3	4.2	5.5	6.1
		20	3.0	5.3	4.0	5.5	6.1
		21	2.7	5.2	3.9	5.5	6.1
		22	2.5	5.2	3.8	5.4	6.1
式			$y=ax+b$	$y=a\ln(x)+b$	$y=(e^{ax})\cdot b$	$y=(x^a)\cdot b$	$y=(a/x)+b$
a=			-0.25	-1.028	-0.034	-0.14	3.677
b=			7.98	8.33	7.97	8.37	5.91
r=			-0.681	-0.768	-0.677	-0.763	0.843
r ² =			0.464	0.59	0.458	0.583	0.711
採否							採用

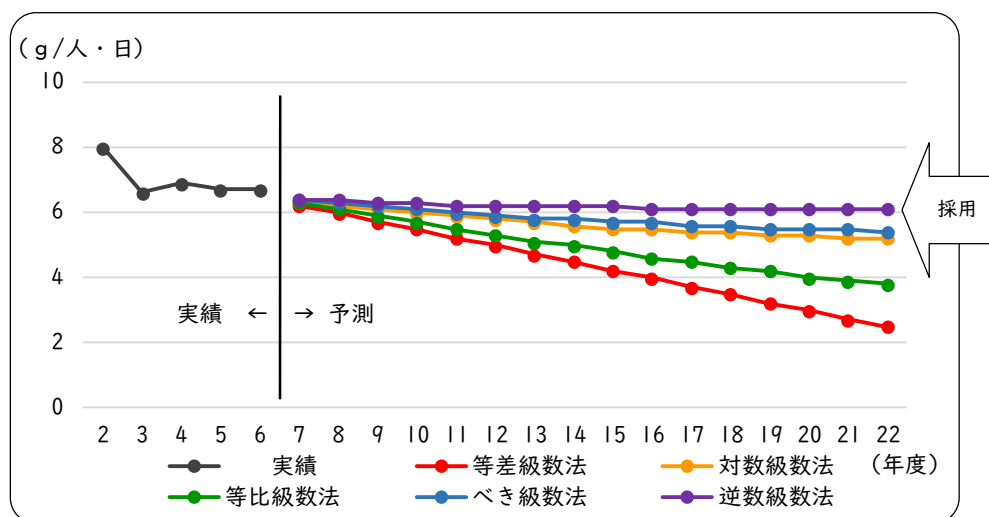


図 2-5 1人1日平均家庭系資源ごみ（ペットボトル）排出量予測結果

表 2-6 1人1日平均一般持込可燃ごみ排出量予測結果

年度	実績	年度	予測結果				
			等差級数法	対数級数法	等比級数法	べき級数法	逆数級数法
2	66.2	7	77.7	73.0	77.6	72.4	69.6
3	53.4	8	81.8	74.6	82.4	74.2	70.2
4	58.1	9	85.9	76.1	87.6	75.8	70.6
5	70.3	10	90.1	77.4	93.1	77.2	70.9
6	78.4	11	94.2	78.5	99.0	78.6	71.2
		12	98.3	79.6	105.2	79.8	71.4
		13	102.5	80.6	111.8	81.0	71.6
		14	106.6	81.5	118.9	82.1	71.8
		15	110.7	82.3	126.4	83.1	71.9
		16	114.8	83.1	134.3	84.1	72.0
		17	119.0	83.9	142.8	85.0	72.1
		18	123.1	84.6	151.7	85.9	72.2
		19	127.2	85.2	161.3	86.7	72.3
		20	131.4	85.9	171.4	87.5	72.4
		21	135.5	86.5	182.2	88.3	72.5
		22	139.6	87.0	193.7	89.0	72.5
		式	$y=ax+b$	$y=a\cdot\text{LN}(x)+b$	$y=(e^{ax})\cdot b$	$y=(x^a)\cdot b$	$y=(a/x)+b$
		a=	4.13	12.251	0.061	0.18	-29.685
		b=	48.76	49.16	50.61	51.03	73.89
		r=	0.661	0.538	0.637	0.513	-0.4
		r^2=	0.436	0.289	0.406	0.264	0.16
		採否	採用				

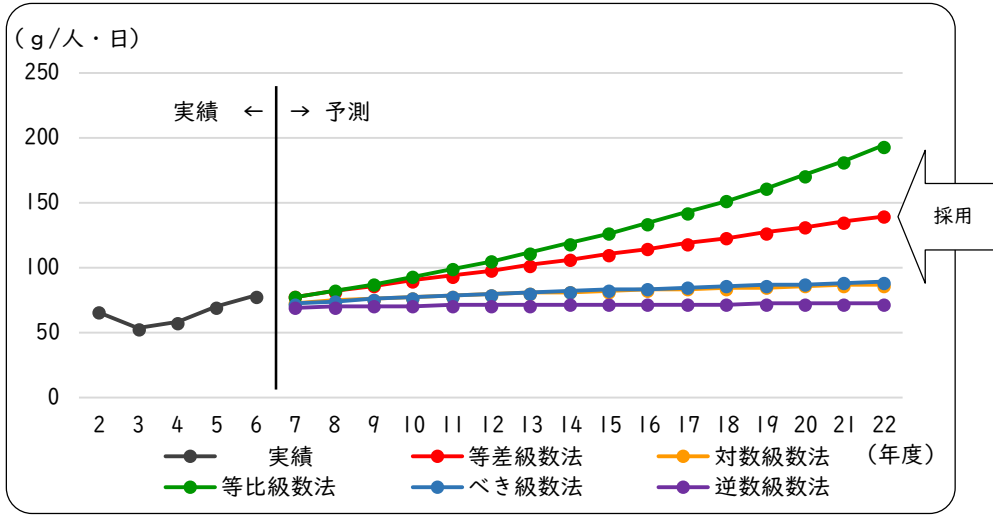


図 2-6 1人1日平均一般持込可燃ごみ排出量予測結果

表 2-7 1人1日平均一般持込不燃ごみ（廃プラスチック）排出量予測結果

年度	実績	年度	予測結果				
			等差級数法	対数級数法	等比級数法	べき級数法	逆数級数法
2	2.3	7	1.5	1.5	1.5	1.5	1.6
3	1.3	8	1.4	1.5	1.4	1.5	1.5
4	2.1	9	1.3	1.4	1.4	1.5	1.5
5	1.5	10	1.2	1.4	1.3	1.4	1.5
6	1.7	11	1.1	1.3	1.3	1.4	1.5
		12	1.0	1.3	1.2	1.4	1.5
		13	0.9	1.2	1.1	1.4	1.5
		14	0.8	1.2	1.1	1.3	1.4
		15	0.7	1.2	1.0	1.3	1.4
		16	0.6	1.2	1.0	1.3	1.4
		17	0.5	1.1	1.0	1.3	1.4
		18	0.4	1.1	0.9	1.3	1.4
		19	0.3	1.1	0.9	1.3	1.4
		20	0.2	1.1	0.8	1.2	1.4
		21	0.1	1.0	0.8	1.2	1.4
		22	0.0	1.0	0.8	1.2	1.4
式			$y=ax+b$	$y=a*\ln(x)+b$	$y=(e^{(ax)})*b$	$y=(x^a)*b$	$y=(a/x)+b$
a=			-0.1	-0.422	-0.046	-0.202	1.561
b=			2.18	2.33	2.09	2.27	1.33
r=			-0.381	-0.441	-0.311	-0.372	0.501
r ² =			0.145	0.194	0.096	0.139	0.251
採否							採用

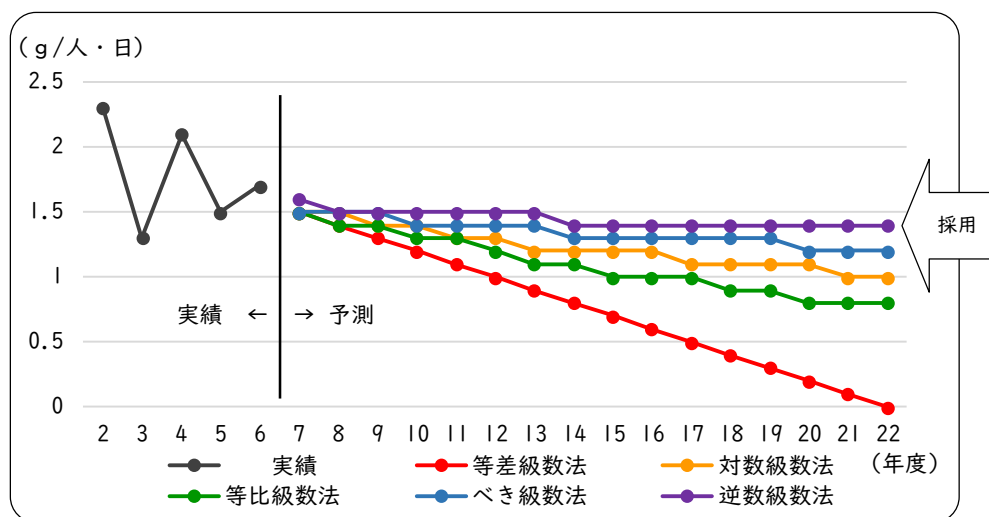


図 2-7 1人1日平均一般持込不燃ごみ（廃プラスチック）排出量予測結果

表 2-8 1人1日平均一般持込不燃ごみ（粗大ごみ）排出量予測結果

年度	実績	年度	予測結果				
			等差級数法	対数級数法	等比級数法	べき級数法	逆数級数法
2	4.4	7	10.5	10.6	10.4	10.7	10.5
3	9.0	8	11.1	11.1	11.4	11.3	10.7
4	10.5	9	11.8	11.5	12.5	12.0	10.9
5	12.6	10	12.4	11.8	13.7	12.6	11.1
6	5.9	11	13.1	12.2	15.0	13.2	11.2
		12	13.8	12.4	16.5	13.7	11.3
		13	14.4	12.7	18.1	14.3	11.4
		14	15.1	13.0	19.8	14.8	11.5
		15	15.7	13.2	21.7	15.3	11.5
		16	16.4	13.4	23.8	15.7	11.6
		17	17.1	13.6	26.1	16.2	11.6
		18	17.7	13.8	28.7	16.6	11.7
		19	18.4	14.0	31.4	17.0	11.7
		20	19.0	14.2	34.4	17.5	11.8
		21	19.7	14.3	37.8	17.9	11.8
		22	20.4	14.5	41.4	18.3	11.8
式			$y=ax+b$	$y=a\cdot\ln(x)+b$	$y=(e^{ax})\cdot b$	$y=(x^a)\cdot b$	$y=(a/x)+b$
a=			0.66	3.391	0.092	0.471	-13.65
b=			5.84	4.02	5.47	4.26	12.44
r=			0.312	0.44	0.339	0.474	-0.544
r ² =			0.098	0.194	0.115	0.224	0.296
採否				採用			

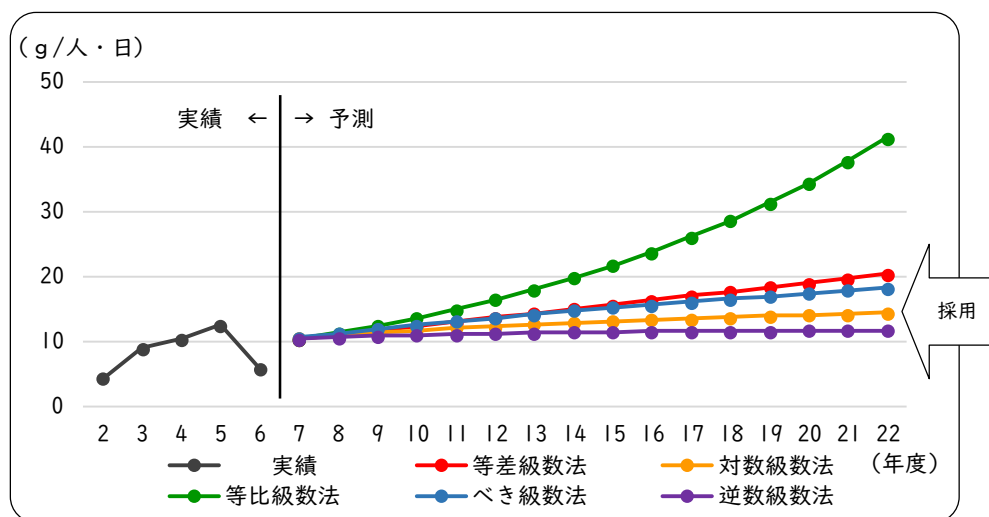


図 2-8 1人1日平均一般持込不燃ごみ（粗大ごみ）排出量予測結果

表 2-9 1人1日平均一般持込資源ごみ（かん・びん・ペットボトル）排出量予測結果

年度	実績	年度	予測結果				
			等差級数法	対数級数法	等比級数法	べき級数法	逆数級数法
2	0.00	7	0.12	0.10	—	—	0.09
3	0.06	8	0.14	0.11	—	—	0.10
4	0.05	9	0.16	0.12	—	—	0.10
5	0.07	10	0.18	0.13	—	—	0.10
6	0.10	11	0.20	0.14	—	—	0.11
		12	0.22	0.14	—	—	0.11
		13	0.24	0.15	—	—	0.11
		14	0.26	0.16	—	—	0.11
		15	0.29	0.16	—	—	0.11
		16	0.31	0.17	—	—	0.11
		17	0.33	0.17	—	—	0.12
		18	0.35	0.18	—	—	0.12
		19	0.37	0.18	—	—	0.12
		20	0.39	0.18	—	—	0.12
		21	0.41	0.19	—	—	0.12
		22	0.43	0.19	—	—	0.12
		式	$y=ax+b$	$y=a\cdot\text{LN}(x)+b$	$y=(e^{(ax)})\cdot b$	$y=(x^a)\cdot b$	$y=(a/x)+b$
		a=	0.021	0.078	—	—	-0.254
		b=	-0.03	-0.05	—	—	0.13
		r=	0.91	0.927	—	—	-0.929
		r ² =	0.829	0.859	—	—	0.862
		採否		採用			

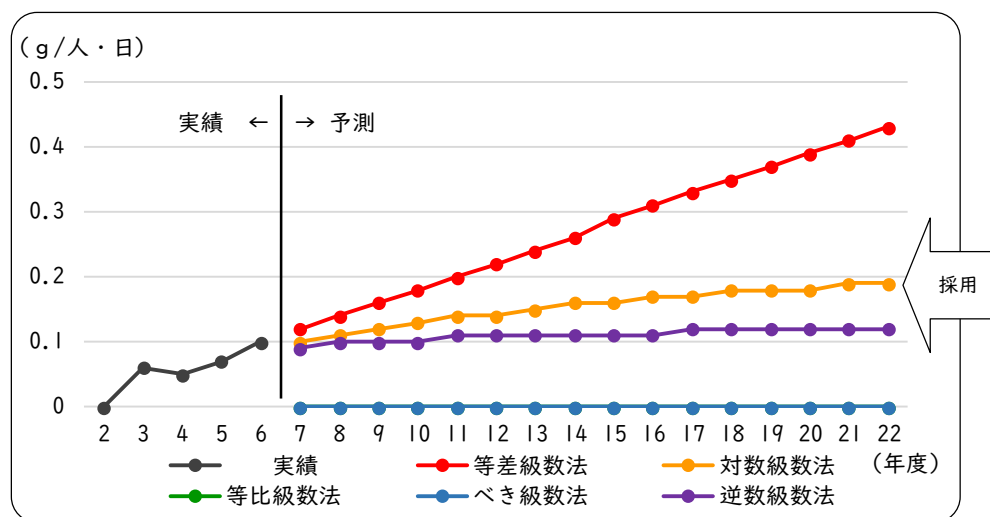


図 2-9 1人1日平均一般持込資源ごみ（かん・びん・ペットボトル）排出量予測結果

表 2-10 1人1日平均事業系可燃ごみ排出量予測結果

年度	実績	年度	予測結果				
			等差級数法	対数級数法	等比級数法	べき級数法	逆数級数法
2	304.0	7	315.9	315.8	314.9	315.7	315.1
3	307.2	8	317.6	316.8	316.5	316.8	315.6
4	318.1	9	319.3	317.7	318.1	317.7	316.1
5	317.9	10	321.0	318.5	319.7	318.5	316.4
6	307.1	11	322.7	319.3	321.3	319.3	316.6
		12	324.4	320.0	322.9	320.0	316.9
		13	326.1	320.6	324.5	320.6	317.0
		14	327.8	321.1	326.1	321.2	317.2
		15	329.5	321.7	327.8	321.8	317.3
		16	331.1	322.2	329.4	322.3	317.5
		17	332.8	322.7	331.1	322.8	317.6
		18	334.5	323.1	332.7	323.2	317.7
		19	336.2	323.5	334.4	323.7	317.8
		20	337.9	323.9	336.1	324.1	317.8
		21	339.6	324.3	337.8	324.5	317.9
		22	341.3	324.7	339.5	324.9	318.0
式			$y=ax+b$	$y=a\cdot\ln(x)+b$	$y=(e^{ax})\cdot b$	$y=(x^a)\cdot b$	$y=(a/x)+b$
a=			1.69	7.779	0.005	0.025	-29.041
b=			304.1	300.62	304.1	300.71	319.28
r=			0.402	0.508	0.404	0.51	-0.582
r ² =			0.162	0.258	0.164	0.26	0.339
採否						採用	

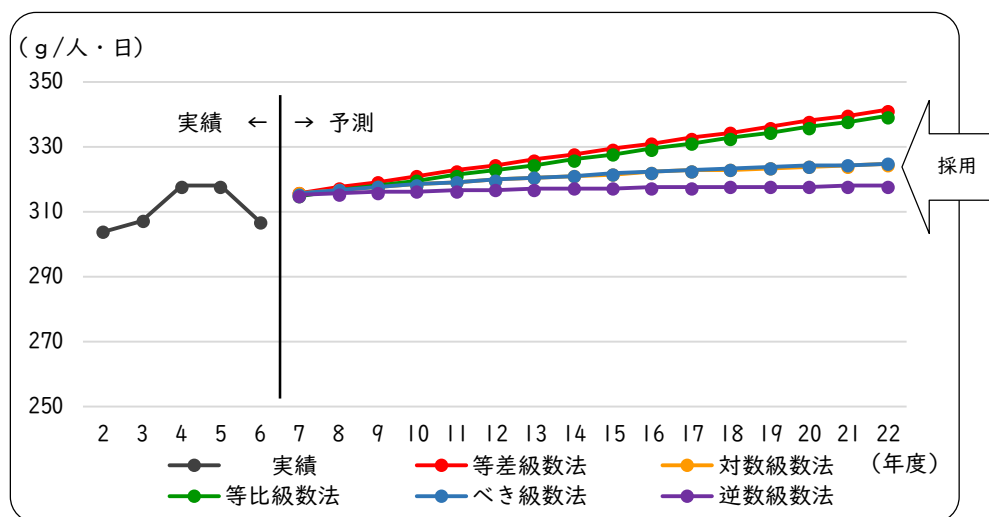


図 2-10 1人1日平均事業系可燃ごみ排出量予測結果

表 2-11 1人1日平均事業系粗大ごみ排出量予測結果

年度	実績	年度	予測結果				
			等差級数法	対数級数法	等比級数法	べき級数法	逆数級数法
2	1.5	7	0.5	1.7	1.0	1.4	2.5
3	9.5	8	-0.4	1.3	0.8	1.3	2.4
4	2.9	9	-1.3	1.0	0.6	1.2	2.3
5	1.4	10	-2.2	0.8	0.4	1.1	2.3
6	1.0	11	-3.1	0.5	0.3	1.0	2.2
		12	-4.0	0.3	0.3	0.9	2.2
		13	-4.9	0.1	0.2	0.9	2.2
		14	-5.8	-0.1	0.1	0.8	2.1
		15	-6.8	-0.3	0.1	0.8	2.1
		16	-7.7	-0.4	0.1	0.8	2.1
		17	-8.6	-0.6	0.1	0.7	2.1
		18	-9.5	-0.7	0.0	0.7	2.1
		19	-10.4	-0.9	0.0	0.7	2.0
		20	-11.3	-1.0	0.0	0.6	2.0
		21	-12.2	-1.1	0.0	0.6	2.0
		22	-13.1	-1.2	0.0	0.6	2.0
式			$y=ax+b$	$y=a\cdot\ln(x)+b$	$y=(e^{ax})\cdot b$	$y=(x^a)\cdot b$	$y=(a/x)+b$
a=			-0.91	-2.533	-0.273	-0.754	5.097
b=			6.9	6.59	6.7	6.08	1.78
r=			-0.404	-0.309	-0.483	-0.367	0.191
r ² =			0.163	0.095	0.233	0.134	0.036
採否						採用	

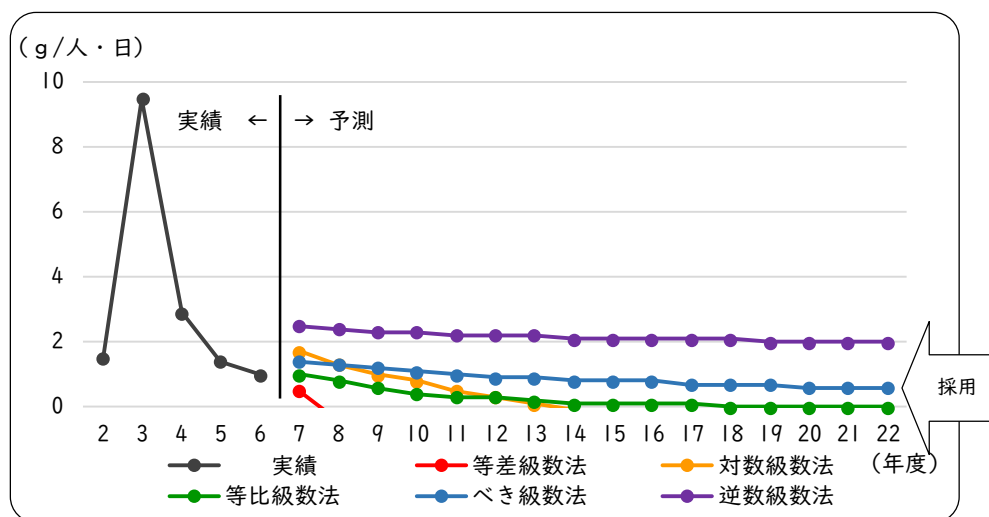


図 2-11 1人1日平均事業系粗大ごみ排出量予測結果

表 2-12 1人1日平均有害ごみ排出量予測結果

年度	実績	年度	予測結果				
			等差級数法	対数級数法	等比級数法	べき級数法	逆数級数法
2	0.6	7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7
3	0.7	8	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7
4	0.7	9	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7
5	0.6	10	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7
6	0.7	11	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7
		12	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7
		13	0.8	0.7	0.8	0.7	0.7
		14	0.8	0.7	0.8	0.7	0.7
		15	0.8	0.7	0.8	0.7	0.7
		16	0.8	0.7	0.8	0.7	0.7
		17	0.8	0.7	0.8	0.7	0.7
		18	0.8	0.7	0.8	0.7	0.7
		19	0.8	0.7	0.8	0.7	0.7
		20	0.8	0.7	0.8	0.7	0.7
		21	0.8	0.7	0.8	0.7	0.7
		22	0.8	0.7	0.9	0.7	0.7
		式	$y=ax+b$	$y=a\cdot\text{LN}(x)+b$	$y=(e^{ax})\cdot b$	$y=(x^a)\cdot b$	$y=(a/x)+b$
		a=	0.01	0.044	0.015	0.067	-0.169
		b=	0.62	0.6	0.62	0.6	0.71
		r=	0.289	0.346	0.289	0.346	-0.411
		r ² =	0.083	0.12	0.083	0.12	0.169
		採否					採用

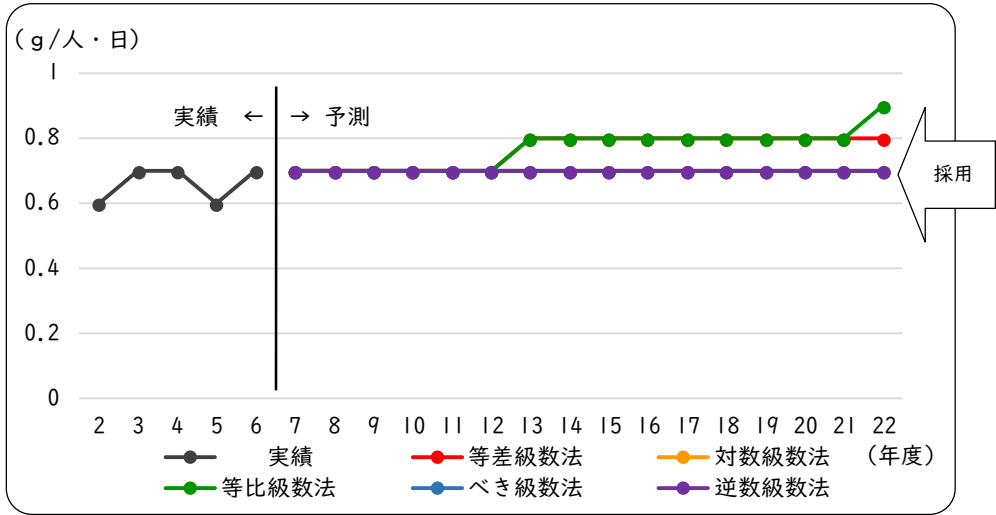


図 2-12 1人1日平均有害ごみ排出量予測結果

表 2-13 1人1日平均新聞紙排出量予測結果

年度	実績	年度	予測結果				
			等差級数法	対数級数法	等比級数法	べき級数法	逆数級数法
2	29.3	7	20.8	22.5	21.1	22.6	23.8
3	29.9	8	18.9	21.6	19.6	21.8	23.4
4	27.0	9	17.0	20.8	18.2	21.2	23.1
5	25.1	10	15.0	20.1	16.9	20.6	22.9
6	22.0	11	13.1	19.5	15.7	20.1	22.7
		12	11.1	18.9	14.5	19.7	22.6
		13	9.2	18.4	13.5	19.3	22.5
		14	7.3	17.9	12.5	18.9	22.4
		15	5.3	17.4	11.6	18.6	22.3
		16	3.4	17.0	10.8	18.3	22.2
		17	1.4	16.6	10.0	18.0	22.1
		18	-0.5	16.2	9.3	17.7	22.0
		19	-2.4	15.8	8.6	17.5	22.0
		20	-4.4	15.5	8.0	17.3	21.9
		21	-6.3	15.2	7.4	17.1	21.9
		22	-8.3	14.9	6.9	16.8	21.8
式	$y=ax+b$	$y=a\cdot\text{LN}(x)+b$	$y=(e^{(ax)})\cdot b$	$y=(x^a)\cdot b$	$y=(a/x)+b$		
a=	-1.94	-6.643	-0.075	-0.255	19.697		
b=	34.42	35.4	35.74	37.06	20.95		
r=	-0.95	-0.892	-0.946	-0.884	0.812		
r ² =	0.902	0.796	0.894	0.782	0.659		
採否		採用					

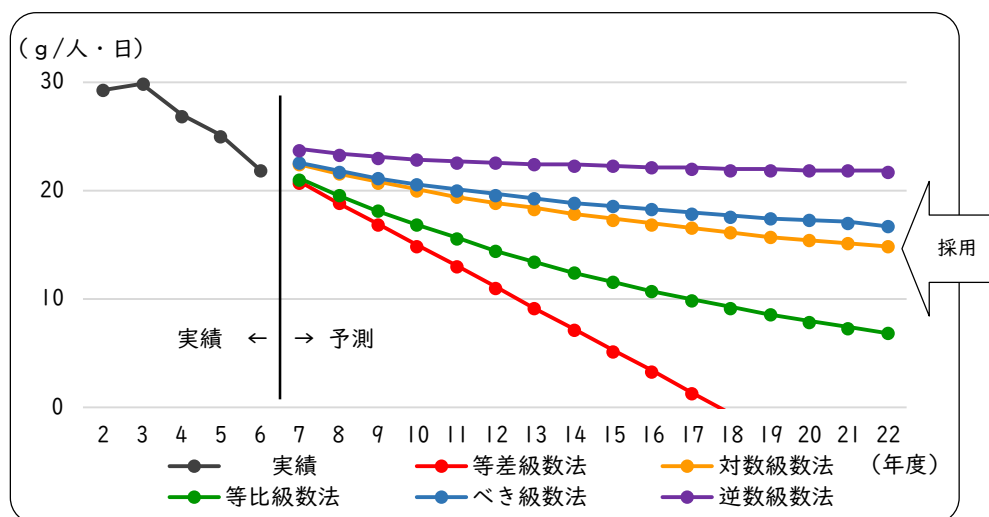


図 2-13 1人1日平均新聞紙排出量予測結果

表 2-14 1人1日平均雑誌排出量予測結果

年度	実績	年度	予測結果				
			等差級数法	対数級数法	等比級数法	べき級数法	逆数級数法
2	28.0	7	21.1	22.4	21.3	22.4	23.4
3	27.4	8	19.6	21.7	20.0	21.8	23.1
4	27.2	9	18.0	21.0	18.8	21.3	22.9
5	23.5	10	16.5	20.5	17.7	20.8	22.7
6	22.3	11	15.0	20.0	16.7	20.4	22.5
		12	13.4	19.5	15.7	20.0	22.4
		13	11.9	19.1	14.8	19.7	22.3
		14	10.4	18.7	13.9	19.4	22.2
		15	8.9	18.4	13.1	19.1	22.2
		16	7.3	18.0	12.3	18.9	22.1
		17	5.8	17.7	11.6	18.6	22.0
		18	4.3	17.4	10.9	18.4	22.0
		19	2.7	17.1	10.2	18.2	21.9
		20	1.2	16.8	9.6	18.0	21.9
		21	-0.3	16.6	9.1	17.8	21.9
		22	-1.9	16.3	8.5	17.6	21.8
式			$y=ax+b$	$y=a\cdot\text{LN}(x)+b$	$y=(e^{ax})\cdot b$	$y=(x^a)\cdot b$	$y=(a/x)+b$
a=			-1.53	-5.262	-0.061	-0.209	15.715
b=			31.8	32.6	32.62	33.66	21.12
r=			-0.934	-0.881	-0.932	-0.876	0.808
r ² =			0.873	0.777	0.868	0.768	0.653
採否				採用			

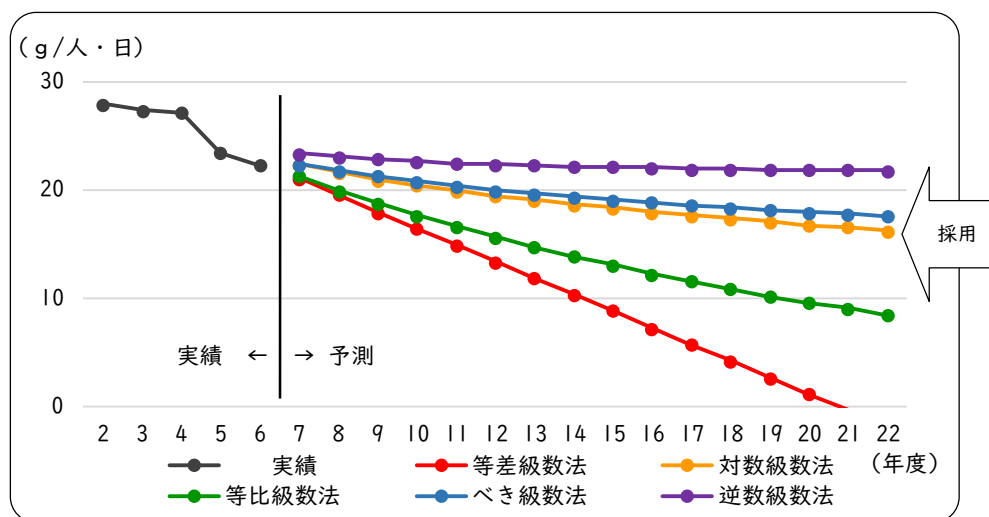


図 2-14 1人1日平均雑誌排出量予測結果

表 2-15 1人1日平均段ボール排出量予測結果

年度	実績	年度	予測結果				
			等差級数法	対数級数法	等比級数法	べき級数法	逆数級数法
2	14.8	7	13.3	13.7	13.3	13.7	14.0
3	14.9	8	12.9	13.5	12.9	13.5	13.9
4	15.3	9	12.5	13.4	12.5	13.4	13.8
5	14.0	10	12.1	13.2	12.2	13.2	13.8
6	13.3	11	11.7	13.1	11.9	13.1	13.8
		12	11.3	13.0	11.5	13.0	13.8
		13	11.0	12.9	11.2	12.9	13.7
		14	10.6	12.8	10.9	12.9	13.7
		15	10.2	12.7	10.6	12.8	13.7
		16	9.8	12.7	10.3	12.7	13.7
		17	9.4	12.6	10.0	12.6	13.7
		18	9.0	12.5	9.7	12.6	13.7
		19	8.6	12.4	9.5	12.5	13.6
		20	8.2	12.4	9.2	12.5	13.6
		21	7.8	12.3	9.0	12.4	13.6
		22	7.4	12.3	8.7	12.4	13.6
		式	$y=ax+b$	$y=a*\ln(x)+b$	$y=(e^{ax})*b$	$y=(x^a)*b$	$y=(a/x)+b$
		a=	-0.39	-1.243	-0.028	-0.088	3.404
		b=	16.02	16.1	16.13	16.22	13.47
		r=	-0.769	-0.672	-0.776	-0.679	0.565
		r^2=	0.591	0.452	0.602	0.461	0.319
		採否			採用		

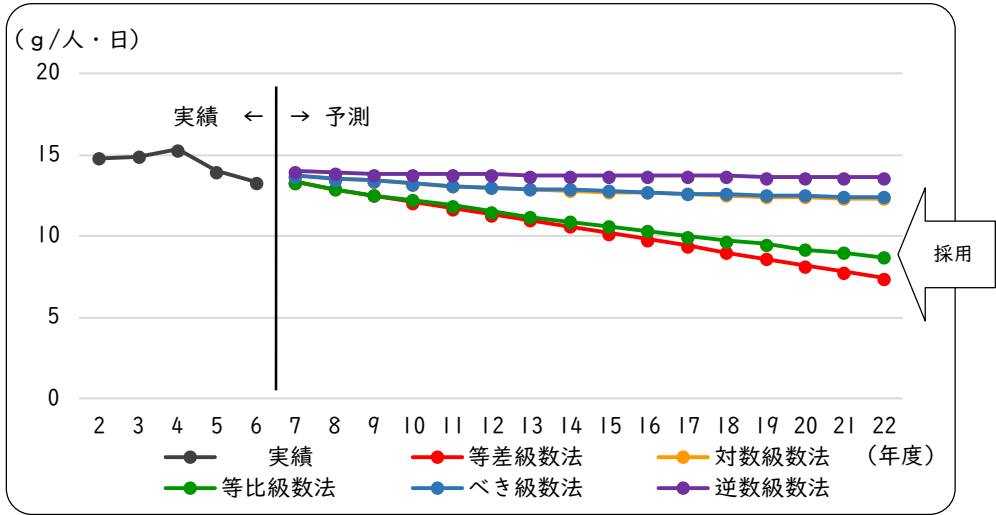


図 2-15 1人1日平均段ボール排出量予測結果

表 2-16 1人1日平均紙パック排出量予測結果

年度	実績	年度	予測結果				
			等差級数法	対数級数法	等比級数法	べき級数法	逆数級数法
2	0.4	7	0.1	0.2	0.1	0.1	0.2
3	0.3	8	0.0	0.1	0.1	0.1	0.2
4	0.3	9	0.0	0.1	0.1	0.1	0.2
5	0.3	10	-0.1	0.1	0.0	0.1	0.2
6	0.1	11	-0.1	0.1	0.0	0.1	0.1
		12	-0.2	0.0	0.0	0.1	0.1
		13	-0.3	0.0	0.0	0.1	0.1
		14	-0.3	0.0	0.0	0.1	0.1
		15	-0.4	0.0	0.0	0.1	0.1
		16	-0.4	0.0	0.0	0.1	0.1
		17	-0.5	0.0	0.0	0.1	0.1
		18	-0.6	0.0	0.0	0.1	0.1
		19	-0.6	-0.1	0.0	0.1	0.1
		20	-0.7	-0.1	0.0	0.1	0.1
		21	-0.7	-0.1	0.0	0.1	0.1
		22	-0.8	-0.1	0.0	0.0	0.1
式			$y=ax+b$	$y=a*\ln(x)+b$	$y=(e^{ax})*b$	$y=(x^a)*b$	$y=(a/x)+b$
a=			-0.06	-0.209	-0.277	-0.933	0.644
b=			0.52	0.56	0.77	0.87	0.09
r=			-0.866	-0.828	-0.815	-0.752	0.783
r^2=			0.75	0.686	0.664	0.565	0.613
採否							採用

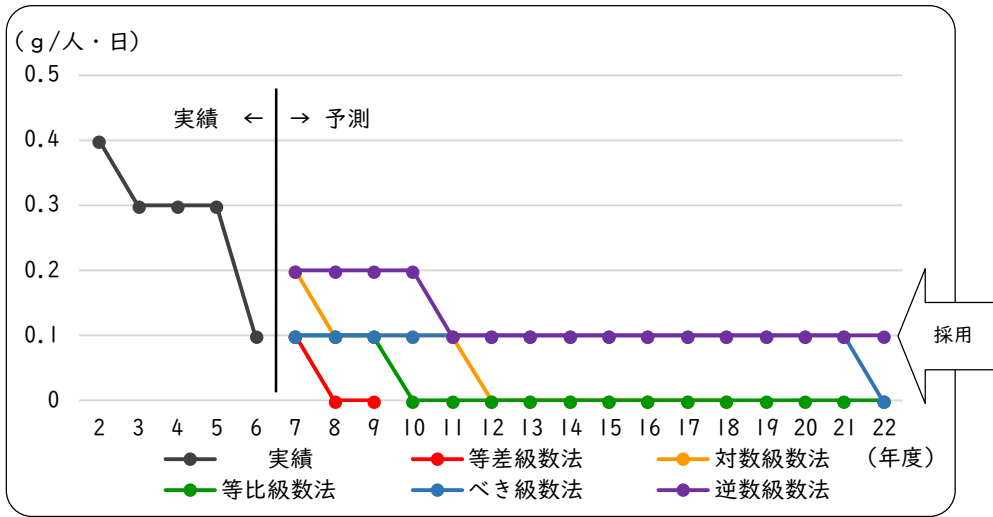


図 2-16 1人1日平均紙パック排出量予測結果

表 2-17 1人1日平均古着類排出量予測結果

年度	実績	年度	予測結果				
			等差級数法	対数級数法	等比級数法	べき級数法	逆数級数法
2	6.0	7	6.2	6.3	6.2	6.3	6.3
3	6.8	8	6.1	6.3	6.1	6.3	6.3
4	6.6	9	6.1	6.3	6.1	6.3	6.3
5	6.1	10	6.0	6.3	6.0	6.3	6.3
6	6.1	11	6.0	6.2	6.0	6.2	6.3
		12	5.9	6.2	5.9	6.2	6.3
		13	5.9	6.2	5.9	6.2	6.3
		14	5.8	6.2	5.8	6.2	6.3
		15	5.8	6.2	5.8	6.2	6.4
		16	5.7	6.2	5.7	6.2	6.4
		17	5.7	6.2	5.7	6.2	6.4
		18	5.6	6.2	5.6	6.2	6.4
		19	5.6	6.2	5.6	6.2	6.4
		20	5.5	6.2	5.5	6.2	6.4
		21	5.5	6.2	5.5	6.2	6.4
		22	5.4	6.2	5.5	6.2	6.4
式			$y=ax+b$	$y=a\cdot\ln(x)+b$	$y=(e^{ax})\cdot b$	$y=(x^a)\cdot b$	$y=(a/x)+b$
a=			-0.05	-0.073	-0.008	-0.01	-0.15
b=			6.52	6.42	6.51	6.4	6.36
r=			-0.222	-0.088	-0.214	-0.08	-0.056
r ² =			0.049	0.008	0.046	0.006	0.003
採否						採用	

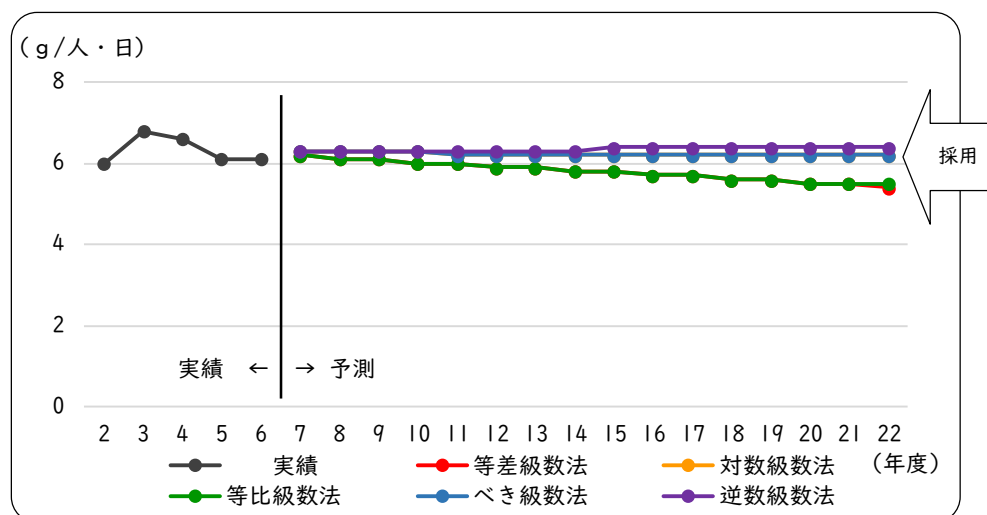


図 2-17 1人1日平均古着類排出量予測結果

表 2-18 1人1日平均かん排出量予測結果

年度	実績	年度	予測結果				
			等差級数法	対数級数法	等比級数法	べき級数法	逆数級数法
2	2.0	7	1.8	1.8	1.8	1.8	1.9
3	2.0	8	1.7	1.8	1.7	1.8	1.9
4	2.0	9	1.7	1.8	1.7	1.8	1.9
5	1.9	10	1.6	1.8	1.7	1.8	1.8
6	1.8	11	1.6	1.8	1.6	1.8	1.8
		12	1.5	1.7	1.6	1.7	1.8
		13	1.5	1.7	1.5	1.7	1.8
		14	1.4	1.7	1.5	1.7	1.8
		15	1.4	1.7	1.5	1.7	1.8
		16	1.3	1.7	1.4	1.7	1.8
		17	1.3	1.7	1.4	1.7	1.8
		18	1.2	1.7	1.3	1.7	1.8
		19	1.2	1.7	1.3	1.7	1.8
		20	1.1	1.7	1.3	1.7	1.8
		21	1.1	1.7	1.2	1.7	1.8
		22	1.0	1.6	1.2	1.7	1.8
式			$y=ax+b$	$y=a\cdot\text{LN}(x)+b$	$y=(e^{ax})\cdot b$	$y=(x^a)\cdot b$	$y=(a/x)+b$
a=			-0.05	-0.165	-0.026	-0.087	0.475
b=			2.14	2.16	2.15	2.17	1.8
r=			-0.884	-0.803	-0.882	-0.8	0.707
r ² =			0.781	0.644	0.778	0.64	0.5
採否					採用		

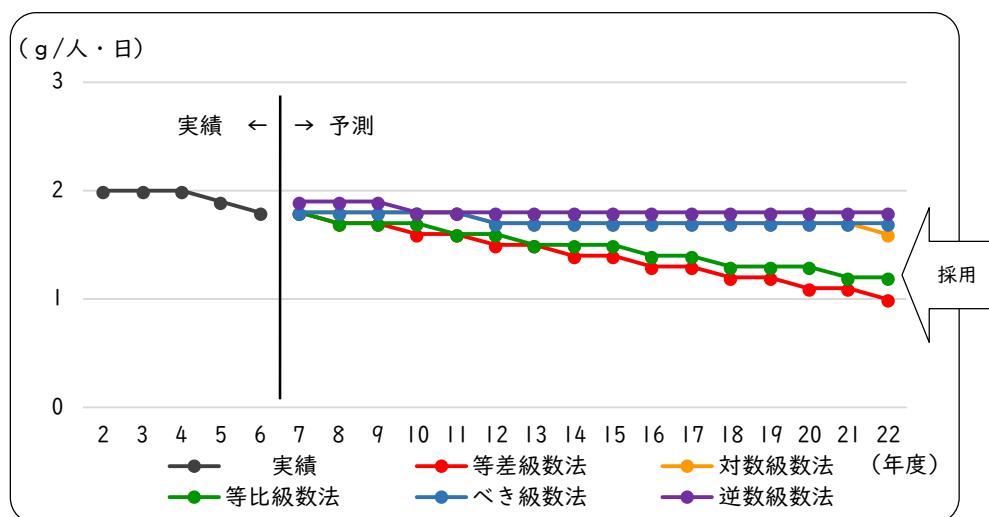


図 2-18 1人1日平均かん排出量予測結果

表 2-19 1人1日平均鉄くず排出量予測結果

年度	実績	年度	予測結果				
			等差級数法	対数級数法	等比級数法	べき級数法	逆数級数法
2	9.2	7	4.8	5.2	5.1	5.3	5.5
3	8.4	8	4.1	4.8	4.6	5.1	5.3
4	5.1	9	3.3	4.4	4.2	4.8	5.2
5	5.9	10	2.6	4.1	3.8	4.6	5.1
6	6.7	11	1.8	3.8	3.4	4.5	5.0
		12	1.1	3.5	3.1	4.3	4.9
		13	0.3	3.3	2.8	4.2	4.8
		14	-0.4	3.1	2.6	4.0	4.8
		15	-1.2	2.9	2.3	3.9	4.7
		16	-1.9	2.7	2.1	3.8	4.7
		17	-2.7	2.5	1.9	3.7	4.7
		18	-3.4	2.3	1.7	3.7	4.6
		19	-4.2	2.1	1.6	3.6	4.6
		20	-4.9	2.0	1.4	3.5	4.6
		21	-5.7	1.8	1.3	3.4	4.5
		22	-6.4	1.7	1.2	3.4	4.5
式			$y=ax+b$	$y=a\ln(x)+b$	$y=(e^{ax})\cdot b$	$y=(x^a)\cdot b$	$y=(a/x)+b$
a=			-0.75	-3.021	-0.099	-0.403	10.364
b=			10.06	11.04	10.23	11.71	4.05
r=			-0.694	-0.766	-0.64	-0.716	0.807
r ² =			0.481	0.587	0.409	0.513	0.651
採否							採用

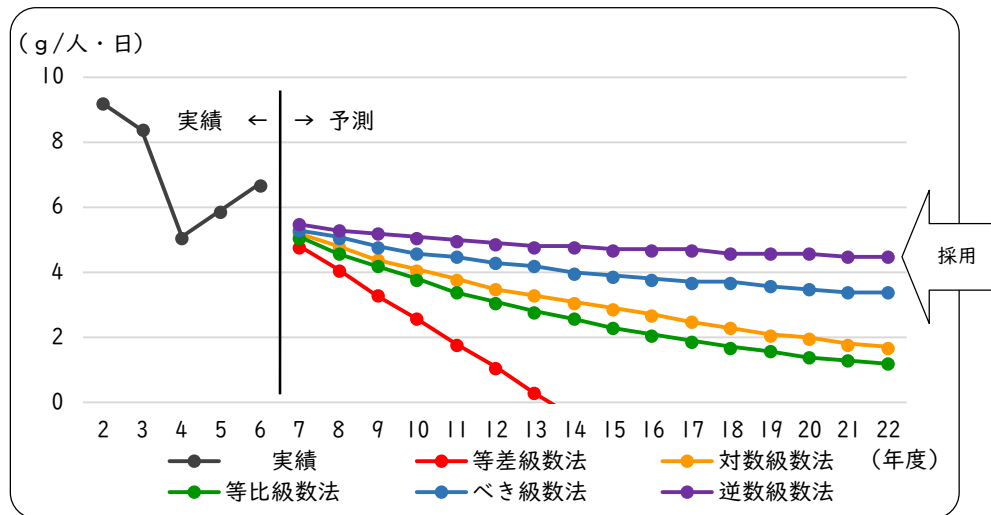


図 2-19 1人1日平均鉄くず排出量予測結果

3.ごみ排出量の予測結果（現状のまま推移した場合）

表 3-1 年間ごみ排出量の予測結果（現状のまま推移した場合）

		単位	実績							予測																
			H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22	
人口		人	17,735	17,536	17,372	17,192	16,986	16,750	16,497	16,347	16,197	16,047	15,897	15,747	15,597	15,447	15,297	15,147	15,000	14,885	14,770	14,655	14,540	14,425	14,308	
		†	3,516.1	3,594.8	3,653.8	3,589.8	3,462.5	3,080.2	3,005.3	2,956.5	2,879.1	2,817.5	2,746.9	2,687.7	2,634.1	2,590.0	2,534.3	2,487.9	2,444.6	2,414.0	2,372.1	2,338.6	2,305.0	2,280.2	2,242.5	
家庭系	可燃ごみ	†	2,669.5	2,709.1	2,707.2	2,752.7	2,609.0	2,358.4	2,287.5	2,259.0	2,201.6	2,155.5	2,102.2	2,057.7	2,016.4	1,982.7	1,940.2	1,904.6	1,871.4	1,847.9	1,815.7	1,789.8	1,764.1	1,744.4	1,715.6	
	不燃ごみ	†	656.5	698.9	747.2	656.9	680.5	557.4	558.3	544.7	529.1	517.5	503.7	493.2	483.3	475.5	465.7	457.2	450.0	444.6	437.2	431.7	425.7	421.8	415.1	
		廃プラスチック	†	382.4	412.0	428.7	398.9	402.5	370.8	363.1	354.4	346.4	340.1	331.9	325.9	319.9	314.9	308.8	303.5	298.9	295.3	290.6	286.7	282.9	280.3	275.7
		粗大ごみ(鉄くず含む)	†	274.1	286.9	318.5	258.0	278.0	186.6	195.2	190.3	182.7	177.4	171.8	167.3	163.4	160.6	156.9	153.7	151.1	149.3	146.6	145.0	142.8	141.5	139.4
	資源ごみ	†	190.1	186.8	199.4	180.2	173.0	164.4	159.5	152.8	148.4	144.5	141.0	136.8	134.4	131.8	128.4	126.1	123.2	121.5	119.2	117.1	115.2	114.0	111.8	
		かん・びん	†	150.2	139.9	148.4	138.7	130.2	123.6	119.4	114.6	110.6	107.5	104.4	101.2	99.1	96.7	93.8	91.8	89.8	88.3	86.3	84.5	82.8	81.8	79.9
		ペットボトル	†	39.9	46.9	51.0	41.5	42.8	40.8	40.1	38.2	37.8	37.0	36.6	35.6	35.3	35.1	34.6	34.3	33.4	33.2	32.9	32.6	32.4	32.2	31.9
		†	482.7	493.6	462.1	400.6	439.2	517.2	518.8	536.9	558.8	581.5	600.8	620.9	639.5	660.6	676.5	693.6	710.5	730.9	746.5	763.8	781.2	799.3	813.0	
一般 持込	可燃ごみ	†	421.1	445.7	419.6	334.9	360.1	430.8	472.3	463.6	483.6	504.5	522.8	541.4	559.6	579.5	595.2	612.0	628.5	648.3	663.6	680.4	697.4	715.4	729.0	
	不燃ごみ	†	61.4	47.3	42.5	65.3	78.8	86.0	45.9	72.7	74.5	76.3	77.2	78.7	79.1	80.3	80.4	80.7	81.1	81.7	81.9	82.4	82.8	82.9	83.0	
		廃プラスチック	†	2.0	30.4	14.9	8.7	13.4	9.0	10.3	9.5	8.9	8.8	8.7	8.6	8.5	8.5	7.8	7.7	7.7	7.6	7.5	7.5	7.4	7.4	7.3
		粗大ごみ(鉄くず含む)	†	59.4	16.9	27.6	56.6	65.4	77.0	35.6	63.2	65.6	67.5	68.5	70.1	70.6	71.8	72.6	73.0	73.4	74.1	74.4	74.9	75.4	75.5	75.7
	資源ごみ	†	0.2	0.6	0.0	0.4	0.3	0.4	0.6	0.6	0.7	0.7	0.8	0.8	0.8	0.8	0.9	0.9	0.9	0.9	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	
		かん・びん、ペットボトル	†	0.2	0.6	0.0	0.4	0.3	0.4	0.6	0.6	0.7	0.7	0.8	0.8	0.8	0.8	0.9	0.9	0.9	0.9	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
事業系		†	1,869.1	1,946.4	1,936.8	1,986.7	1,990.5	1,957.5	1,855.4	1,892.1	1,880.6	1,872.9	1,854.5	1,840.9	1,826.8	1,817.6	1,797.9	1,783.5	1,769.0	1,762.4	1,746.2	1,735.2	1,723.2	1,716.4	1,699.9	
	可燃ごみ	†	1,848.4	1,927.4	1,927.4	1,927.4	1,972.4	1,949.1	1,849.1	1,883.7	1,872.9	1,865.9	1,848.1	1,835.2	1,821.7	1,812.5	1,793.4	1,779.1	1,764.6	1,758.6	1,742.4	1,731.5	1,720.0	1,713.2	1,696.8	
	粗大ごみ(可燃)	†	20.7	19.0	9.4	59.3	18.1	8.4	6.3	8.4	7.7	7.0	6.4	5.7	5.1	5.1	4.5	4.4	4.4	3.8	3.8	3.7	3.2	3.2	3.1	
		粗大ごみ(鉄くず含む)	†	20.7	19.0	9.4	59.3	18.1	8.4	6.3	8.4	7.7	7.0	6.4	5.7	5.1	5.1	4.5	4.4	4.4	3.8	3.8	3.7	3.2	3.2	3.1
計			5,867.9	6,034.8	6,052.7	5,977.1	5,892.2	5,554.9	5,379.5	5,385.5	5,318.5	5,271.9	5,202.2	5,149.5	5,100.4	5,068.2	5,008.7	4,965.0	4,924.1	4,907.3	4,864.8	4,837.6	4,809.4	4,795.9	4,755.4	
	可燃ごみ	†	4,939.0	5,082.2	5,054.2	5,015.0	4,941.5	4,738.3	4,608.9	4,606.3	4,558.1	4,525.9	4,473.1	4,434.3	4,397.7	4,374.7	4,328.8	4,295.7	4,264.5	4,254.8	4,221.7	4,201.7	4,181.5	4,173.0	4,141.4	
	不燃ごみ	†	687.2	733.5	740.9	729.1	746.0	615.4	570.3	593.0	580.0	570.3	557.7	548.9	539.6	533.8	523.8	516.3	509.8	504.5	498.1	493.2	487.3	484.1	477.7	
		廃プラスチック	†	384.4	442.4	443.6	407.6	415.9	379.8	373.4	363.9	355.3	348.9	340.6	334.5	328.4	323.4	316.6	311.2	306.6	302.9	298.1	294.2	290.3	287.7	283.0
		粗大ごみ	†	302.8	291.1	297.3	321.5	330.1	235.6	196.9	229.1	224.7	221.4	217.1	214.4	211.2	210.4	207.2	205.1	203.2	201.6	200.0	199.0	197.0	196.4	194.7
	資源ごみ	†	241.7	219.1	257.6	233.0	204.7	201.2	200.3	186.2	180.4	175.7	171.4	166.3	163.1	159.7	156.1	153.0	149.8	148.0	145.0	142.7	140.6	138.8	136.3	
		かん・びん、ペットボトル	†	190.3	187.4	199.4	180.6	173.3	164.8	160.1	153.4	149.1	145.2	141.8	137.6	135.2	132.6	129.3	127.0	124.1	122.4	120.2	118.1	116.2	115.0	112.8
		鉄くず	†	51.4	31.7	58.2	52.4	31.4	36.4	40.2	32.8	31.3	30.5	29.6	28.7	27.9	27.1	26.8	26.0	25.7	25.6	24.8	24.6	24.4	23.8	23.5
有害ごみ		†	4.2	3.9	4.1	4.5	4.2	3.9	4.1	4.2	4.1	4.1	4.1	4.0	4.0	4.0	3.9	3.9	3.8	3.8	3.8	3.7	3.7	3.7	3.7	
集団資源回収		†	648.5	603.9	510.7	510.1	486.5	434.6	394.8	396.8	380.8	367.1	354.0	340.9	329.1	319.5	308.8	299.7	290.2	283.2	274.3	267.5	260.6	254.8	247.5	
	新聞紙	†	272.4	243.6	186.1	187.8	168.3	154.2	131.8	134.2	127.7	122.2	116.6	112.1	107.6	104.0	99.9	96.2	93.1	90.4	87.3	84.5	82.3	80.2	77.8	
	雑誌	†	212.1	197.6	177.3	171.7	168.4	144.2	134.4	133.7	128.3	123.3	118.9	115.0	111.0	108.0	104.4	101.7	98.6	96.4	93.8	91.5	89.2	87.6	85.1	
	段ボール	†	97.8	94.2	94.2	93.7	94.6	86.1	80.4	79.4	76.3	73.4	70.8	68.4	65.5	63.3	60.9	58.6	56.4	54.5	52.3	50.8	48.8	47.5	45.4	
	紙パック	†	2.8	2.2	2.3	1.8	1.7	1.6	0.8	1.2	1.2	1.2	1.2	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	
	古着類	†	51.8	53.7	38.1	42.7	41.0	37.1	36.6	37.6	37.2	37.0	36.6	35.6	35.3	35.1	34.6	34.3	33.9	33.8	33.4	33.2	32.9	32.7	32.4	
	かん	†	11.6	12.6	12.7	12.4	12.5	11.4	10.8	10.7	10.1	10.0	9.9	9.2	9.1	8.5	8.4	8.3	7.7	7.6	7.0	7.0	6.9	6.3	6.3	
合計		†	6,520.6	6,642.6	6,567.5	6,491.8	6,382.9	5,993.4	5,778.4	5,786.5	5,703.4	5,643.1	5,560.3	5,494.4	5,433.5	5,391.7	5,321.4	5,268.6	5,218.1	5,194.3	5,142.9	5,108.8	5,073.7	5,054.4	5,006.6	

表 3-2 Ⅰ人Ⅰ日平均ごみ排出量の予測結果（現状のまま推移した場合）

		単位	実績							予測																
			H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22	
人口		人	17,735	17,536	17,372	17,192	16,986	16,750	16,497	16,347	16,197	16,047	15,897	15,747	15,597	15,447	15,297	15,147	15,000	14,885	14,770	14,655	14,540	14,425	14,308	
家庭系		g/人・日	543.2	560.1	576.2	572.1	558.4	502.5	499.1	495.5	487.0	479.7	473.4	467.6	462.7	458.1	453.9	450.0	446.5	443.1	440.0	437.2	434.3	431.9	429.4	
	可燃ごみ	g/人・日	412.4	422.1	427.0	438.7	420.8	384.7	379.9	378.6	372.4	367.0	362.3	358.0	354.2	350.7	347.5	344.5	341.8	339.2	336.8	334.6	332.4	330.4	328.5	
	不燃ごみ	g/人・日	101.4	108.9	117.8	104.7	109.7	90.9	92.7	91.3	89.5	88.1	86.8	85.8	84.9	84.1	83.4	82.7	82.2	81.6	81.1	80.7	80.2	79.9	79.5	
		廃プラスチック	g/人・日	59.1	64.2	67.6	63.6	64.9	60.5	60.3	59.4	58.6	57.9	57.2	56.7	56.2	55.7	55.3	54.9	54.6	54.2	53.9	53.6	53.3	53.1	52.8
		粗大ごみ(鉄くず含む)	g/人・日	42.3	44.7	50.2	41.1	44.8	30.4	32.4	31.9	30.9	30.2	29.6	29.1	28.7	28.4	28.1	27.8	27.6	27.4	27.2	27.1	26.9	26.8	26.7
	資源ごみ	g/人・日	29.4	29.1	31.4	28.7	27.9	26.9	26.5	25.6	25.1	24.6	24.3	23.8	23.6	23.3	23.0	22.8	22.5	22.3	22.1	21.9	21.7	21.6	21.4	21.3
		かん・びん	g/人・日	23.2	21.8	23.4	22.1	21.0	20.2	19.8	19.2	18.7	18.3	18.0	17.6	17.4	17.1	16.8	16.6	16.4	16.2	16.0	15.8	15.6	15.5	15.3
		ペットボトル	g/人・日	6.2	7.3	8.0	6.6	6.9	6.7	6.7	6.4	6.4	6.3	6.3	6.2	6.2	6.2	6.2	6.2	6.1	6.1	6.1	6.1	6.1	6.1	6.1
一般 持込		g/人・日	74.6	76.8	72.9	63.8	70.8	84.5	86.1	90.0	94.5	99.0	103.5	108.0	112.3	116.9	121.2	125.5	129.8	134.2	138.5	142.8	147.2	151.4	155.7	
	可燃ごみ	g/人・日	65.1	69.4	66.2	53.4	58.1	70.3	78.4	77.7	81.8	85.9	90.1	94.2	98.3	102.5	106.6	110.7	114.8	119.0	123.1	127.2	131.4	135.5	139.6	
	不燃ごみ	g/人・日	9.5	7.3	6.7	10.3	12.6	14.1	7.6	12.2	12.6	13.0	13.3	13.7	13.9	14.2	14.4	14.6	14.8	15.0	15.2	15.4	15.6	15.7	15.9	
		廃プラスチック	g/人・日	0.3	4.7	2.3	1.3	2.1	1.5	1.7	1.6	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	
		粗大ごみ(鉄くず含む)	g/人・日	9.2	2.6	4.4	9.0	10.5	12.6	5.9	10.6	11.1	11.5	11.8	12.2	12.4	12.7	13.0	13.2	13.4	13.6	13.8	14.0	14.2	14.3	14.5
	資源ごみ	g/人・日	0.0	0.1	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
		かん・びん、ペットボトル	g/人・日	0.0	0.1	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
事業系		g/人・日	288.7	303.3	305.5	316.7	321.0	319.3	308.1	317.1	318.1	318.9	319.6	320.3	320.9	321.5	322.0	322.6	323.1	323.5	323.9	324.4	324.7	325.1	325.5	
	可燃ごみ	g/人・日	285.5	300.3	304.0	307.2	318.1	317.9	307.1	315.7	316.8	317.7	318.5	319.3	320.0	320.6	321.2	321.8	322.3	322.8	323.2	323.7	324.1	324.5	324.9	
	粗大ごみ(可燃)	g/人・日	3.2	3.0	1.5	9.5	2.9	1.4	1.0	1.4	1.3	1.2	1.1	1.0	0.9	0.9	0.8	0.8	0.8	0.7	0.7	0.7	0.6	0.6	0.6	
		粗大ごみ(鉄くず含む)	g/人・日	3.2	3.0	1.5	9.5	2.9	1.4	1.0	1.4	1.3	1.2	1.1	1.0	0.9	0.9	0.8	0.8	0.8	0.7	0.7	0.7	0.6	0.6	0.6
計		g/人・日	906.5	940.2	954.6	952.6	950.2	906.3	893.3	902.6	899.6	897.6	896.5	895.9	895.9	896.5	897.1	898.1	899.4	900.8	902.4	904.4	906.2	908.4	910.6	
	可燃ごみ	g/人・日	763.0	791.8	797.2	799.3	797.0	772.9	765.4	772.0	771.0	770.6	770.9	771.5	772.5	773.8	775.3	777.0	778.9	781.0	783.1	785.5	787.9	790.4	793.0	
	不燃ごみ	g/人・日	106.2	114.3	116.8	116.1	120.1	100.5	94.6	99.4	98.1	97.1	96.1	95.5	94.8	94.4	93.8	93.4	93.1	92.6	92.4	92.2	91.8	91.7	91.5	
		廃プラスチック	g/人・日	59.4	68.9	69.9	64.9	67.0	62.0	62.0	61.0	60.1	59.4	58.7	58.2	57.7	57.2	56.7	56.3	56.0	55.6	55.3	55.0	54.7	54.5	54.2
		粗大ごみ	g/人・日	46.8	45.4	46.9	51.2	53.1	38.5	32.6	38.4	38.0	37.7	37.4	37.3	37.1	37.2	37.1	37.1	37.1	37.0	37.1	37.2	37.1	37.2	37.3
	資源ごみ	g/人・日	37.3	34.1	40.6	37.2	33.1	32.9	33.3	31.2	30.5	29.9	29.5	28.9	28.6	28.3	28.0	27.7	27.4	27.2	26.9	26.7	26.5	26.3	26.1	
		かん・びん、ペットボトル	g/人・日	29.4	29.2	31.4	28.8	28.0	27.0	26.6	25.7	25.2	24.7	24.4	23.9	23.7	23.5	23.2	23.0	22.7	22.5	22.3	22.1	21.9	21.8	21.6
		鉄くず	g/人・日	7.9	4.9	9.2	8.4	5.1	5.9	6.7	5.5	5.3	5.2	5.1	5.0	4.9	4.8	4.8	4.7	4.7	4.7	4.6	4.6	4.6	4.5	4.5
有害ごみ		g/人・日	0.6	0.6	0.6	0.7	0.7	0.6	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	
集団資源回収		g/人・日	100.2	94.1	80.5	81.3	78.5	70.9	65.6	66.5	64.4	62.5	61.0	59.3	57.8	56.5	55.3	54.2	53.0	52.0	50.9	50.0	49.1	48.3	47.4	
	新聞紙	g/人・日	42.1	37.9	29.3	29.9	27.1	25.1	22.0	22.5	21.6	20.8	20.1	19.5	18.9	18.4	17.9	17.4	17.0	16.6	16.2	15.8	15.5	15.2	14.9	
	雑誌	g/人・日	32.8	30.8	28.0	27.4	27.2	23.5	22.3	22.4	21.7	21.0	20.5	20.0	19.5	19.1	18.7	18.4	18.0	17.7	17.4	17.1	16.8	16.6	16.3	
	段ボール	g/人・日	15.1	14.7	14.8	14.9	15.3	14.0	13.3	13.3	12.9	12.5	12.2	11.9	11.5	11.2	10.9	10.6	10.3	10.0	9.7	9.5	9.2	9.0	8.7	
	紙パック	g/人・日	0.4	0.3	0.4	0.3	0.3	0.3	0.1	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	
	古着類	g/人・日	8.0	8.4	6.0	6.8	6.6	6.1	6.1	6.3	6.3	6.3	6.3	6.2	6.2	6.2	6.2	6.2	6.2	6.2	6.2	6.2	6.2	6.2	6.2	
	かん	g/人・日	1.8	2.0	2.0	2.0	2.0	1.9	1.8	1.8	1.7	1.7	1.7	1.6	1.6	1.5	1.5	1.5	1.4	1.4	1.3	1.3	1.3	1.2	1.2	
合計		g/人・日	1007.3	1034.9	1035.7	1034.6	1029.4	977.8	959.6	969.8	964.7	960.8	958.2	955.9	954.4	953.7	953.1	953.0	953.1	953.5	954.0	955.1	956.0	957.4	958.7	

4 .処理・資源化量、最終処分量の予測結果（現状まま推移した場合）

表 4-1 処理・資源化量、最終処分量の予測結果（現状のまま推移した場合）

単位：t

	実績							予測															
	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22
人口（人）	17,735	17,536	17,372	17,192	16,986	16,750	16,497	16,347	16,197	16,047	15,897	15,747	15,597	15,447	15,297	15,147	15,000	14,885	14,770	14,655	14,540	14,425	14,308
総排出量	6,520.6	6,642.6	6,567.5	6,491.8	6,382.9	5,993.4	5,778.4	5,385.5	5,318.5	5,271.9	5,202.2	5,149.5	5,100.4	5,068.2	5,008.7	4,965.0	4,924.1	4,907.3	4,864.8	4,837.6	4,809.4	4,795.9	4,755.4
焼却処理量	5,714.0	5,403.0	5,367.2	3,900.0	4,247.0	4,540.5	4,560.3	4,557.7	4,510.1	4,478.2	4,426.0	4,387.6	4,351.3	4,328.6	4,283.2	4,250.4	4,219.5	4,210.0	4,177.2	4,157.4	4,137.4	4,129.0	4,097.7
焼却量（1号炉）	2,694.0	2,886.0	2,655.5	1,790.0	1,956.0	2,403.2	2,466.8																
焼却量（2号炉）	3,020.0	2,517.0	2,711.7	2,110.0	2,291.0	2,137.3	2,093.5																
資源化量	829.2	788.0	733.4	718.6	674.9	598.5	561.6	550.8	530.0	512.4	495.6	478.4	463.9	451.6	437.9	426.2	414.2	405.7	394.4	385.7	377.1	369.9	360.4
新聞紙	272.4	243.6	186.1	187.8	168.3	154.2	131.8	134.2	127.7	122.2	116.6	112.1	107.6	104.0	99.9	96.2	93.1	90.4	87.3	84.5	82.3	80.2	77.8
雑誌	212.1	197.6	177.3	171.7	168.4	144.2	134.4	133.7	128.3	123.3	118.9	115.0	111.0	108.0	104.4	101.7	98.6	96.4	93.8	91.5	89.2	87.6	85.1
段ボール	97.8	94.2	94.2	93.7	94.6	86.1	80.4	79.4	76.3	73.4	70.8	68.4	65.5	63.3	60.9	58.6	56.4	54.5	52.3	50.8	48.8	47.5	45.4
紙パック	2.8	2.2	2.3	1.8	1.7	1.6	0.8	1.2	1.2	1.2	1.2	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
古着類	51.8	53.7	38.1	42.7	41.0	37.1	36.6	37.6	37.2	37.0	36.6	35.6	35.3	35.1	34.6	34.3	33.9	33.8	33.4	33.2	32.9	32.7	32.4
かん・びん	101.1	125.3	122.6	129.1	121.0	96.3	95.9	92.1	89.3	87.1	85.1	82.4	81.0	79.2	77.3	75.9	74.0	72.9	71.4	70.2	69.1	68.1	66.8
ペットボトル	39.8	39.7	54.6	39.4	48.5	42.6	41.5	39.8	38.7	37.7	36.8	35.6	35.0	34.3	33.4	32.9	32.0	31.6	30.9	30.4	29.9	29.5	28.9
鉄くず	51.4	31.7	58.2	52.4	31.4	36.4	40.2	32.8	31.3	30.5	29.6	28.7	27.9	27.1	26.8	26.0	25.7	25.6	24.8	24.6	24.4	23.8	23.5
小型家電	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
資源化率	12.7	11.9	11.2	11.1	10.6	10.0	9.7	10.2	10.0	9.7	9.5	9.3	9.1	8.9	8.7	8.6	8.4	8.3	8.1	8.0	7.8	7.7	7.6
最終処分量	1,363.9	1,348.1	1,348.3	1,089.9	1,078.4	1,065.4	990.1	1,010.1	993.5	981.5	964.7	952.8	940.6	933.1	919.3	909.1	900.1	894.3	885.2	878.7	871.3	867.5	858.5
焼却灰	723.5	667.6	695.6	436.7	514.7	534.4	479.0	478.7	473.7	470.4	464.9	460.9	457.0	454.7	449.9	446.4	443.2	442.2	438.8	436.7	434.6	433.7	430.4
破碎ごみ・廃プラスチック	640.4	680.5	652.7	653.2	563.7	531.0	511.1	531.4	519.8	511.1	499.8	491.9	483.6	478.4	469.4	462.7	456.9	452.1	446.4	442.0	436.7	433.8	428.1
最終処分率	20.9	20.3	20.5	16.8	16.9	17.8	17.1	18.8	18.7	18.6	18.5	18.5	18.4	18.4	18.4	18.3	18.3	18.2	18.2	18.2	18.1	18.1	18.1

5.ごみ排出量の予測結果（数値目標を達成した場合）

表 5-1 ごみ排出量の予測結果（数値目標を達成した場合）

		単位	実績							予測																
			H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22	
人口		人	17,735	17,536	17,372	17,192	16,986	16,750	16,497	16,347	16,197	16,047	15,897	15,747	15,597	15,447	15,297	15,147	15,000	14,885	14,770	14,655	14,540	14,425	14,308	
家庭系		†	3,516.1	3,594.8	3,653.8	3,589.8	3,462.5	3,080.2	3,005.3	2,935.6	2,866.6	2,806.2	2,731.2	2,664.6	2,598.8	2,540.7	2,469.6	2,406.0	2,343.8	2,293.6	2,231.3	2,176.0	2,121.3	2,072.8	2,013.3	
	可燃ごみ	†	2,669.5	2,709.1	2,707.2	2,752.7	2,609.0	2,358.4	2,287.5	2,231.3	2,175.7	2,126.6	2,066.5	2,012.9	1,959.9	1,912.8	1,855.9	1,804.9	1,754.9	1,713.8	1,663.9	1,619.2	1,575.0	1,535.5	1,487.9	
	不燃ごみ	†	656.5	698.9	747.2	656.9	680.5	557.4	558.3	546.2	534.2	523.9	510.9	499.4	488.1	478.1	465.7	454.6	443.8	435.4	424.6	415.1	405.6	397.4	387.0	
		廃プラスチック	†	382.4	412.0	428.7	398.9	402.5	370.8	363.1	355.3	347.5	340.8	332.3	324.9	317.5	311.0	302.9	295.7	288.7	283.2	276.2	270.0	263.8	258.5	251.7
		粗大ごみ(鉄くず含む)	†	274.1	286.9	318.5	258.0	278.0	186.6	195.2	190.9	186.7	183.1	178.6	174.5	170.6	167.1	162.8	158.9	155.1	152.2	148.4	145.1	141.8	138.9	135.3
	資源ごみ	†	190.1	186.8	199.4	180.2	173.0	164.4	159.5	158.1	156.7	155.7	153.8	152.3	150.8	149.8	148.0	146.5	145.1	144.4	142.8	141.7	140.7	139.9	138.4	
		かん・びん	†	150.2	139.9	148.4	138.7	130.2	123.6	119.4	118.1	117.1	116.3	114.9	113.8	112.7	111.9	110.6	109.5	108.4	107.9	106.7	105.9	105.1	104.5	103.4
	ペットボトル	†	39.9	46.9	51.0	41.5	42.8	40.8	40.1	40.0	39.6	39.4	38.9	38.5	38.1	37.9	37.4	37.0	36.7	36.5	36.1	35.8	35.6	35.4	35.0	
一般 持込		†	482.7	493.6	462.1	400.6	439.2	517.2	518.8	530.5	542.2	555.2	564.9	575.6	586.2	598.1	606.4	616.1	625.4	637.5	646.2	656.1	665.9	677.3	684.7	
	可燃ごみ	†	421.1	445.7	419.6	334.9	360.1	430.8	472.3	482.4	492.5	503.6	511.8	521.0	530.0	540.2	547.2	555.4	563.4	573.9	581.2	589.7	598.1	607.9	614.2	
	不燃ごみ	†	61.4	47.3	42.5	65.3	78.8	86.0	45.9	47.4	49.0	50.8	52.2	53.7	55.2	56.8	58.1	59.5	60.8	62.3	63.7	65.0	66.3	67.9	68.9	
		廃プラスチック	†	2.0	30.4	14.9	8.7	13.4	9.0	10.3	10.0	9.8	9.7	9.4	9.2	9.0	8.9	8.7	8.5	8.3	8.1	8.0	7.8	7.6	7.5	7.3
		粗大ごみ(鉄くず含む)	†	59.4	16.9	27.6	56.6	65.4	77.0	35.6	37.4	39.2	41.1	42.8	44.5	46.2	47.9	49.4	51.0	52.5	54.2	55.7	57.2	58.7	60.4	61.6
	資源ごみ	†	0.2	0.6	0.0	0.4	0.3	0.4	0.6	0.7	0.7	0.8	0.9	0.9	1.0	1.1	1.1	1.2	1.2	1.3	1.3	1.4	1.5	1.5	1.6	
		かん・びん、ペットボトル	†	0.2	0.6	0.0	0.4	0.3	0.4	0.6	0.7	0.7	0.8	0.9	0.9	1.0	1.1	1.1	1.2	1.2	1.3	1.3	1.4	1.5	1.5	1.6
事業系		†	1,869.1	1,946.4	1,936.8	1,986.7	1,990.5	1,957.5	1,855.4	1,815.3	1,775.7	1,741.3	1,698.0	1,659.6	1,621.8	1,588.8	1,547.5	1,510.9	1,475.1	1,446.7	1,410.7	1,379.0	1,347.7	1,320.2	1,285.7	
	可燃ごみ	†	1,848.4	1,927.4	1,927.4	1,927.4	1,972.4	1,949.1	1,849.1	1,809.5	1,770.2	1,736.0	1,692.9	1,654.8	1,617.2	1,584.4	1,543.3	1,506.9	1,471.3	1,443.1	1,407.3	1,375.8	1,344.7	1,317.4	1,283.1	
	粗大ごみ(可燃)	†	20.7	19.0	9.4	59.3	18.1	8.4	6.3	5.8	5.5	5.3	5.1	4.8	4.6	4.4	4.2	4.0	3.8	3.6	3.4	3.2	3.0	2.8	2.6	
		粗大ごみ(鉄くず含む)	†	20.7	19.0	9.4	59.3	18.1	8.4	6.3	5.8	5.5	5.3	5.1	4.8	4.6	4.4	4.2	4.0	3.8	3.6	3.4	3.2	3.0	2.8	2.6
計			5,867.9	6,034.8	6,052.7	5,977.1	5,892.2	5,554.9	5,379.5	5,281.4	5,184.5	5,102.7	4,994.1	4,899.8	4,806.8	4,727.6	4,623.5	4,533.0	4,444.3	4,377.8	4,288.2	4,211.1	4,134.9	4,070.3	3,983.7	
	可燃ごみ	†	4,939.0	5,082.2	5,054.2	5,015.0	4,941.5	4,738.3	4,608.9	4,523.2	4,438.4	4,366.2	4,271.2	4,188.7	4,107.1	4,037.4	3,946.4	3,867.2	3,789.6	3,730.8	3,652.4	3,584.7	3,517.8	3,460.8	3,385.2	
	不燃ごみ	†	687.2	733.5	740.9	729.1	746.0	615.4	570.3	566.6	557.4	549.5	538.6	529.2	520.0	512.2	501.2	492.1	482.7	475.7	466.9	458.7	450.5	444.3	435.0	
		廃プラスチック	†	384.4	442.4	443.6	407.6	415.9	379.8	373.4	365.3	357.3	350.5	341.7	334.1	326.5	319.9	311.6	304.2	297.0	291.3	284.2	277.8	271.4	266.0	259.0
		粗大ごみ	†	302.8	291.1	297.3	321.5	330.1	235.6	196.9	201.3	200.1	199.0	196.9	195.1	193.5	192.3	189.6	187.9	185.7	184.4	182.7	180.9	179.1	178.3	176.0
	資源ごみ	†	241.7	219.1	257.6	233.0	204.7	201.2	200.3	191.6	188.7	187.0	184.3	181.9	179.7	178.0	175.9	173.7	172.0	171.3	168.9	167.7	166.6	165.2	163.5	
		かん・びん、ペットボトル	†	190.3	187.4	199.4	180.6	173.3	164.8	160.1	158.8	157.4	156.5	154.7	153.2	151.8	150.9	149.1	147.7	146.3	145.7	144.1	143.1	142.2	141.4	140.0
	鉄くず	†	51.4	31.7	58.2	52.4	31.4	36.4	40.2	32.8	31.3	30.5	29.6	28.7	27.9	27.1	26.8	26.0	25.7	25.6	24.8	24.6	24.4	23.8	23.5	
有害ごみ		†	4.2	3.9	4.1	4.5	4.2	3.9	4.1	4.2	4.1	4.1	4.1	4.0	4.0	4.0	3.9	3.9	3.8	3.8	3.8	3.7	3.7	3.7	3.7	
集団資源回収		†	648.5	603.9	510.7	510.1	486.5	434.6	394.8	393.3	389.5	387.1	382.5	377.5	374.0	371.6	366.9	363.3	359.7	358.0	354.1	351.4	348.7	346.8	343.2	
	新聞紙	†	272.4	243.6	186.1	187.8	168.3	154.2	131.8	131.3	130.1	129.2	127.7	126.4	125.2	124.4	122.8	121.6	120.5	119.9	118.6	117.7	116.8	116.2	114.9	
	雑誌	†	212.1	197.6	177.3	171.7	168.4	144.2	134.4	133.1	131.8	131.0	129.4	128.2	127.0	126.1	124.5	123.3	122.1	121.5	120.2	119.3	118.3	117.7	116.5	
	段ボール	†	97.8	94.2	94.2	93.7	94.6	86.1	80.4	79.4	78.6	78.1	77.2	76.4	75.7	75.2	74.3	73.5	72.8	72.5	71.7	71.1	70.6	70.2	69.5	
	紙バック	†	2.8	2.2	2.3	1.8	1.7	1.6	0.8	1.2	1.2	1.2	1.2	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	
	古着類	†	51.8	53.7	38.1	42.7	41.0	37.1	36.6	37.6	37.2	37.0	36.6	35.6	35.3	35.1	34.6	34.3	33.9	33.8	33.4	33.2	32.9	32.7	32.4	
	かん	†	11.6	12.6	12.7	12.4	12.5	11.4	10.8	10.7	10.6	10.6	10.4	10.3	10.2	10.2	10.1	10.0	9.9	9.8	9.7	9.6	9.6	9.5	9.4	
合計		†	6,520.6	6,642.6	6,567.5	6,491.8	6,382.9	5,993.4	5,778.4	5,678.9	5,578.1	5,493.9	5,380.7	5,281.3	5,184.8	5,103.2	4,994.3	4,900.2	4,807.8	4,739.6	4,646.1	4,566.2	4,487.3	4,420.8	4,330.6	

表 5-2 1人1日平均ごみ排出量の予測結果（数値目標を達成した場合）

		単位	実績							予測															
			H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22
人口		人	17,735	17,536	17,372	17,192	16,986	16,750	16,497	16,347	16,197	16,047	15,897	15,747	15,597	15,447	15,297	15,147	15,000	14,885	14,770	14,655	14,540	14,425	14,308
家庭系		g/人・日	543.2	560.1	576.2	572.1	558.4	502.5	499.1	492.0	484.9	477.8	470.7	463.6	456.5	449.4	442.3	435.2	428.1	421.0	413.9	406.8	399.7	392.6	385.5
	可燃ごみ	g/人・日	412.4	422.1	427.0	438.7	420.8	384.7	379.9	374.0	368.0	362.1	356.2	350.2	344.3	338.3	332.4	326.5	320.5	314.6	308.7	302.7	296.8	290.8	284.9
	不燃ごみ	g/人・日	101.4	108.9	117.8	104.7	109.7	90.9	92.7	91.5	90.4	89.2	88.1	86.9	85.7	84.6	83.4	82.2	81.1	79.9	78.8	77.6	76.4	75.3	74.1
	廃プラスチック	g/人・日	59.1	64.2	67.6	63.6	64.9	60.5	60.3	59.5	58.8	58.0	57.3	56.5	55.8	55.0	54.3	53.5	52.7	52.0	51.2	50.5	49.7	49.0	48.2
	粗大ごみ(鉄くず含む)	g/人・日	42.3	44.7	50.2	41.1	44.8	30.4	32.4	32.0	31.6	31.2	30.8	30.4	30.0	29.6	29.2	28.7	28.3	27.9	27.5	27.1	26.7	26.3	25.9
	資源ごみ	g/人・日	29.4	29.1	31.4	28.7	27.9	26.9	26.5	26.5	26.5	26.5	26.5	26.5	26.5	26.5	26.5	26.5	26.5	26.5	26.5	26.5	26.5	26.5	26.5
	かん・びん	g/人・日	23.2	21.8	23.4	22.1	21.0	20.2	19.8	19.8	19.8	19.8	19.8	19.8	19.8	19.8	19.8	19.8	19.8	19.8	19.8	19.8	19.8	19.8	19.8
	ペットボトル	g/人・日	6.2	7.3	8.0	6.6	6.9	6.7	6.7	6.7	6.7	6.7	6.7	6.7	6.7	6.7	6.7	6.7	6.7	6.7	6.7	6.7	6.7	6.7	6.7
一般持込		g/人・日	74.6	76.8	72.9	63.8	70.8	84.5	86.1	88.9	91.7	94.5	97.4	100.2	103.0	105.8	108.6	111.4	114.2	117.0	119.9	122.7	125.5	128.3	131.1
	可燃ごみ	g/人・日	65.1	69.4	66.2	53.4	58.1	70.3	78.4	80.9	83.3	85.8	88.2	90.7	93.1	95.6	98.0	100.5	102.9	105.4	107.8	110.3	112.7	115.2	117.6
	不燃ごみ	g/人・日	9.5	7.3	6.7	10.3	12.6	14.1	7.6	8.0	8.3	8.7	9.0	9.4	9.7	10.1	10.4	10.8	11.1	11.5	11.8	12.2	12.5	12.9	13.2
	廃プラスチック	g/人・日	0.3	4.7	2.3	1.3	2.1	1.5	1.7	1.7	1.7	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.4	1.4	1.4
	粗大ごみ(鉄くず含む)	g/人・日	9.2	2.6	4.4	9.0	10.5	12.6	5.9	6.3	6.6	7.0	7.4	7.7	8.1	8.5	8.9	9.2	9.6	10.0	10.3	10.7	11.1	11.4	11.8
	資源ごみ	g/人・日	0.0	0.1	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3
	かん・びん、ペットボトル	g/人・日	0.0	0.1	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3
事業系		g/人・日	288.7	303.3	305.5	316.7	321.0	319.3	308.1	304.2	300.4	296.5	292.6	288.8	284.9	281.0	277.2	273.3	269.4	265.5	261.7	257.8	253.9	250.1	246.2
	可燃ごみ	g/人・日	285.5	300.3	304.0	307.2	318.1	317.9	307.1	303.3	299.4	295.6	291.8	287.9	284.1	280.2	276.4	272.6	268.7	264.9	261.1	257.2	253.4	249.5	245.7
	粗大ごみ(可燃)	g/人・日	3.2	3.0	1.5	9.5	2.9	1.4	1.0	1.0	0.9	0.9	0.9	0.8	0.8	0.8	0.8	0.7	0.7	0.7	0.6	0.6	0.6	0.5	0.5
	粗大ごみ(鉄くず含む)	g/人・日	3.2	3.0	1.5	9.5	2.9	1.4	1.0	1.0	0.9	0.9	0.9	0.8	0.8	0.8	0.8	0.7	0.7	0.7	0.6	0.6	0.6	0.5	0.5
計		g/人・日	906.5	940.2	954.6	952.6	950.2	906.3	893.3	885.1	877.0	868.8	860.7	852.5	844.4	836.2	828.1	819.9	811.7	803.6	795.4	787.3	779.1	771.0	762.8
	可燃ごみ	g/人・日	763.0	791.8	797.2	799.3	797.0	772.9	765.4	758.1	750.8	743.4	736.1	728.8	721.5	714.1	706.8	699.5	692.2	684.8	677.5	670.2	662.9	655.5	648.2
	不燃ごみ	g/人・日	106.2	114.3	116.8	116.1	120.1	100.5	94.6	95.0	94.3	93.6	92.8	92.1	91.3	90.6	89.8	89.0	88.2	87.3	86.6	85.7	84.9	84.1	83.3
	廃プラスチック	g/人・日	59.4	68.9	69.9	64.9	67.0	62.0	62.0	61.2	60.5	59.7	58.9	58.1	57.4	56.6	55.8	55.0	54.3	53.5	52.7	51.9	51.2	50.4	49.6
	粗大ごみ	g/人・日	46.8	45.4	46.9	51.2	53.1	38.5	32.6	33.7	33.9	33.9	33.9	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0	33.9	33.8	33.9	33.8	33.7	33.8	33.7
	資源ごみ	g/人・日	37.3	34.1	40.6	37.2	33.1	32.9	33.3	32.1	31.9	31.8	31.8	31.7	31.6	31.5	31.5	31.4	31.4	31.4	31.4	31.4	31.4	31.3	31.3
	かん・びん、ペットボトル	g/人・日	29.4	29.2	31.4	28.8	28.0	27.0	26.6	26.6	26.6	26.6	26.7	26.7	26.7	26.7	26.7	26.7	26.7	26.7	26.8	26.8	26.8	26.8	26.8
	鉄くず	g/人・日	7.9	4.9	9.2	8.4	5.1	5.9	6.7	5.5	5.3	5.2	5.1	5.0	4.9	4.8	4.8	4.7	4.7	4.7	4.6	4.6	4.6	4.5	4.5
有害ごみ		g/人・日	0.6	0.6	0.6	0.7	0.7	0.6	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7
集団資源回収		g/人・日	100.2	94.1	80.5	81.3	78.5	70.9	65.6	65.9	65.9	65.9	65.9	65.7	65.7	65.7	65.7	65.7	65.7	65.7	65.7	65.7	65.7	65.7	65.7
	新聞紙	g/人・日	42.1	37.9	29.3	29.9	27.1	25.1	22.0	22.0	22.0	22.0	22.0	22.0	22.0	22.0	22.0	22.0	22.0	22.0	22.0	22.0	22.0	22.0	22.0
	雑誌	g/人・日	32.8	30.8	28.0	27.4	27.2	23.5	22.3	22.3	22.3	22.3	22.3	22.3	22.3	22.3	22.3	22.3	22.3	22.3	22.3	22.3	22.3	22.3	22.3
	段ボール	g/人・日	15.1	14.7	14.8	14.9	15.3	14.0	13.3	13.3	13.3	13.3	13.3	13.3	13.3	13.3	13.3	13.3	13.3	13.3	13.3	13.3	13.3	13.3	13.3
	紙パック	g/人・日	0.4	0.3	0.4	0.3	0.3	0.3	0.1	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
	古着類	g/人・日	8.0	8.4	6.0	6.8	6.6	6.1	6.1	6.3	6.3	6.3	6.3	6.2	6.2	6.2	6.2	6.2	6.2	6.2	6.2	6.2	6.2	6.2	6.2
	かん	g/人・日	1.8	2.0	2.0	2.0	2.0	1.9	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
合計		g/人・日	1007.3	1034.9	1035.7	1034.6	1029.4	977.8	959.6	951.7	943.6	935.4	927.3	918.9	910.8	902.6	894.5	886.3	878.1	870.0	861.8	853.7	845.5	837.4	829.2

6 .処理・資源化量、最終処分量の予測結果（数値目標を達成した場合）

表 6-1 処理・資源化量、最終処分量の予測結果（数値目標を達成した場合）

単位：t

	実績							予測															
	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22
人口（人）	17,735	17,536	17,372	17,192	16,986	16,750	16,497	16,347	16,197	16,047	15,897	15,747	15,597	15,447	15,297	15,147	15,000	14,885	14,770	14,655	14,540	14,425	14,308
総排出量	6,520.6	6,642.6	6,567.5	6,491.8	6,382.9	5,993.4	5,778.4	5,281.4	5,184.5	5,102.7	4,994.1	4,899.8	4,806.8	4,727.6	4,623.5	4,533.0	4,444.3	4,377.8	4,288.2	4,211.1	4,134.9	4,070.3	3,983.7
焼却処理量	5,714.0	5,403.0	5,367.2	3,900.0	4,247.0	4,540.5	4,560.3	4,475.5	4,391.6	4,320.2	4,226.2	4,144.5	4,063.8	3,994.8	3,904.8	3,826.4	3,749.7	3,691.5	3,613.9	3,546.9	3,480.7	3,424.3	3,349.5
焼却量（1号炉）	2,694.0	2,886.0	2,655.5	1,790.0	1,956.0	2,403.2	2,466.8																
焼却量（2号炉）	3,020.0	2,517.0	2,711.7	2,110.0	2,291.0	2,137.3	2,093.5																
資源化量	829.2	788.0	733.4	718.6	674.9	598.5	561.6	551.7	545.3	541.4	534.4	527.3	521.9	518.0	511.6	506.1	501.1	498.9	492.8	489.2	485.6	482.4	477.4
新聞紙	272.4	243.6	186.1	187.8	168.3	154.2	131.8	131.3	130.1	129.2	127.7	126.4	125.2	124.4	122.8	121.6	120.5	119.9	118.6	117.7	116.8	116.2	114.9
雑誌	212.1	197.6	177.3	171.7	168.4	144.2	134.4	133.1	131.8	131.0	129.4	128.2	127.0	126.1	124.5	123.3	122.1	121.5	120.2	119.3	118.3	117.7	116.5
段ボール	97.8	94.2	94.2	93.7	94.6	86.1	80.4	79.4	78.6	78.1	77.2	76.4	75.7	75.2	74.3	73.5	72.8	72.5	71.7	71.1	70.6	70.2	69.5
紙パック	2.8	2.2	2.3	1.8	1.7	1.6	0.8	1.2	1.2	1.2	1.2	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
古着類	51.8	53.7	38.1	42.7	41.0	37.1	36.6	37.6	37.2	37.0	36.6	35.6	35.3	35.1	34.6	34.3	33.9	33.8	33.4	33.2	32.9	32.7	32.4
かん・びん	101.1	125.3	122.6	129.1	121.0	96.3	95.9	95.1	94.3	93.8	92.6	91.7	90.9	90.4	89.3	88.5	87.7	87.3	86.3	85.7	85.2	84.7	83.8
ペットボトル	39.8	39.7	54.6	39.4	48.5	42.6	41.5	41.2	40.8	40.6	40.1	39.7	39.3	39.1	38.7	38.3	37.9	37.8	37.3	37.1	36.9	36.6	36.3
鉄くず	51.4	31.7	58.2	52.4	31.4	36.4	40.2	32.8	31.3	30.5	29.6	28.7	27.9	27.1	26.8	26.0	25.7	25.6	24.8	24.6	24.4	23.8	23.5
小型家電	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
資源化率	12.7	11.9	11.2	11.1	10.6	10.0	9.7	10.4	10.5	10.6	10.7	10.8	10.9	11.0	11.1	11.2	11.3	11.4	11.5	11.6	11.7	11.9	12.0
最終処分量	1,363.9	1,348.1	1,348.3	1,089.9	1,078.4	1,065.4	990.1	843.6	829.0	816.6	799.8	785.2	770.9	758.8	742.2	728.1	714.0	703.3	689.6	677.2	664.9	655.1	641.1
焼却灰	723.5	667.6	695.6	436.7	514.7	534.4	479.0	335.8	329.5	324.2	317.1	311.0	304.9	299.8	293.0	287.1	281.4	277.0	271.2	266.1	261.2	256.9	251.3
破碎ごみ・廃プラスチック	640.4	680.5	652.7	653.2	563.7	531.0	511.1	507.8	499.5	492.4	482.7	474.2	466.0	459.0	449.2	441.0	432.6	426.3	418.4	411.1	403.7	398.2	389.8
最終処分率	20.9	20.3	20.5	16.8	16.9	17.8	17.1	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0	16	16.1	16.1	16.1	16.1	16.1	16.1	16.1	16.1	16.1	16.1

河合町一般廃棄物処理基本計画

令和 8 年 3 月

発行：奈良県 河合町

編集：河合町 生活環境部環境対策課

〒636-0061

奈良県北葛城郡河合町大字山坊 683-1

電 話：0745-32-0706

F A X：0745-32-9491

E-mail：kankyou@town.kawai.nara.jp

U R L：<http://www.town.kawai.nara.jp/>